昭島市教育委員会の事務事業に関する点検及び評価報告書（令和７年度分）

令和８年８月

昭島市教育委員会

目　　次

頁

第１章　報告書の作成にあたって
１　点検・評価の実施方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
２　昭島市教育委員会の教育目標及び基本方針・・・・・・・・・・・・・　３
３　昭島市総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

第２章　教育委員会の組織及び活動状況
１　教育委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
２　教育委員会の事務事業を主管する組織・・・・・・・・・・・・・・・　８
３　教育委員会の会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
４　教育委員会の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１

第３章　主要施策の点検及び評価
評価シートの見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

学校教育の推進
基本施策１　確かな学力の定着・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
基本施策２　豊かな心の醸成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
基本施策３　健やかな体の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
基本施策４　輝く未来に向かって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９

生涯学習の推進
基本施策１　文化芸術活動の促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５５
基本施策２　文化財の保護・調査・活用・・・・・・・・・・・・・・・・６２
基本施策３　スポーツ・レクリエーションの振興・・・・・・・・・・・・６６
基本施策４　図書館活動の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７１
基本施策５　生涯を通じた学習活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・７８

第４章　点検及び評価に関する外部評価員の評価と意見・・・・・・・・・８５

第５章　資料
参考資料一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９１

第１章　報告書の作成にあたって

Ⅰ　点検・評価の実施方針

Ⅰ　趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、教育委員会は、効果的な教育行政の推進を図るとともに教育委員会活動の透明性をより高め説明責任を果たすため、毎年、自らの権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に報告し、公表することが義務付けられています。

教育委員会では、教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、更なる教育活動の推進に向けた『昭島市教育振興基本計画（令和４年度～令和８年度)』を策定し、教育施策を推進しています。この計画に基づく教育施策及び事務事業について、学識経験者（以下「外部評価員」という。）の協力を得て、毎年度点検評価を実施し、点検評価報告書（以下「報告書」という。）としてまとめています。

この報告書において課題とされた事項について、更に検討を加え、昭島市の更なる教育施策の推進に向け、学校教育、生涯学習の充実に努めてまいります。

Ⅱ　点検・評価報告書の実施方法

報告書は、「効果的な教育行政の推進」と「市民への説明責任を果たすこと」を目的として作成しています。ＰＤＣＡサイクルを意識して、着実な進行管理のもと、令和４年度を起点とする新たな『昭島市教育振興基本計画（令和４年度～令和８年度)』の実効性を高めていくことを目指し次のとおり実施します。

①　『昭島市教育振興基本計画（令和４年度～令和８年度)』に掲載している全ての「主な取組」を下表のように５段階で評価したうえで、施策ごとの自己評価を決定する。

②　「主な取組」のうち、令和７年度（以下「評価対象年度」という。）における重点取組の取組実績を報告書に掲載する。

③　評価対象年度における実績と課題を総括するとともに、評価基準を設け、分かりやすく記載し、次年度の取組の方向性を示す。

④　教育委員会が委嘱した外部評価員の意見を付す。

⑤　報告書は、市ホームページで公表する。

目安点数	自己評価
3.2以上	A
2.5以上	B
1.5以上	C
0.9以上	D
0.9未満	E

▼①下表

評価割合＝評価重要度／評価重要度合計点

基本施策　番号	主な取組	評価点数	評価重要度	評価割合	目安点数	自己評価
2　基本施策2　豊かな心の醸成						
1 人権教育の推進		12	14	100%	3.000	B
	人権教育の推進	3	3	21.43%	0.643	
	人権教育推進委員会の開催	3	3	21.43%	0.643	
	人権教育全体計画の作成と人権諸課題に関する指導の充実	3	4	28.57%	0.857	
	人権パネル展・人権標語の取組	3	4	28.57%	0.857	

2　昭島市教育委員会の教育目標及び基本方針

昭島市教育委員会は、市民憲章と人間尊重の精神を基調とした教育を推進する。

子どもたちが常に心身ともに健康で生きがいを持ち、創造性に富み、社会の一員としての自覚を有し、多様性を認め合い、人間性豊かな市民として成長することを目指し、その実現に努める。

学校教育においては、学校、家庭、地域の密接な連携のもと、子どもたちが生涯を通して未来社会の変化に対応できるよう、自ら考え判断して行動する力を培い、国際的視野を広げ、豊かな心と健やかな体をはぐくみ、個性を生かすための教育を推進する。

社会教育においては、地域の文化、教育、スポーツ活動を通して市民誰もが、あらゆる機会に、生きる喜び、学ぶ楽しさを得られ、生涯にわたって主体的に学び続けることができ、市民相互と地域のつながりを育てていく生涯学習社会の実現を目指す。

子どもから高齢者までが生涯にわたっていきいきと学習できる環境の充実を図り、もって豊かな文化の創造とふるさと昭島を愛する心を育て、且ついのちの大切さや環境との共生を考え、ひろく国際社会に貢献できる人材の育成を図る。

【令和４（2022）年１月２０日昭島市教育委員会決定】

【学校教育の目標及び基本方針】

1　目標

教育委員会は、市民憲章と人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童・生徒を育成します。また、持続可能な社会づくりに貢献する資質・能力を育むため、全教育活動にSDGｓの目標を関連させた学習を展開し、学校・家庭・地域の密接な連携のもと、ふるさと昭島の自然や文化を愛し、社会に主体的に貢献できる「たくましい昭島っ子」の育成を目指します。

2　基本方針

教育委員会は、日本国憲法及び教育基本法の精神に基づき、人権尊重の理念を正しく理解し、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神を養うための教育を実施するとともに、学習指導要領の理念である「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、昭島市の教育振興基本計画に掲げた４つの施策、「確かな学力の定着」「豊かな心の醸成」「健やかな体の育成」「輝く未来に向かって」を推進します。

学校は、本目標及び基本方針に基づいて、それぞれが立案する教育推進計画の実現に向けて教育活動を推進します。

〇確かな学力の定着

・基礎的・基本的な知識及び技能の習得、思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度を育成するため、ICT を効果的に活用するなど、主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善と、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実現を図ります。

・児童・生徒の発達段階を踏まえ、個に応じた指導を充実させるとともに、児童・生徒の学習習慣の確立を図ります。

〇豊かな心の醸成

・自分の大切さとともに他の人の大切さを認め、多様な価値観を基に自己の生き方を深められるよう人権教育、道徳教育や体験的な学習を充実させ、児童・生徒の豊かな心を育成します。

・児童・生徒の健全育成を図るための取組を推進し、教育相談体制の充実を図ります。

〇健やかな体の育成

・児童・生徒が健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指していけるよう、生涯にわたって運動に親しむ態度や関心・意欲を高める取組を推進し、健やかな体の育成を図ります。

・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けられるよう、食育を推進します。

〇輝く未来に向かって

・義務教育を円滑にスタートさせるため、就学前教育との連携の充実と、義務教育９年間を見通した育てたい児童・生徒像に基づいた小・中学校の連携を図ります。

・国際社会において活躍できるグローバルな人材の育成を図るため、伝統・文化に関する教育、環境教育、国際理解教育を推進します。

・社会に開かれた教育課程を通して学校の教育力の向上を図るとともに、キャリア教育を推進し、将来、児童・生徒が自立できる基礎を培う指導の充実を図ります。

【生涯学習推進の目標及び基本方針】

1　目標

昨今の少子高齢化、高度情報化、グローバル化の進展により、市民を取り巻く生活環境が急激に変化する中、人々のライフスタイルや価値観も多様化し、日常生活全般にわたる様々な課題が生じています。特に、人生100年時代には、SDGｓの理念である“誰一人取り残さない”を基本に、高齢者から若者まですべての人々に活躍の場があり、元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことができる社会をつくる必要があります。

そのためには、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その成果を生活や地域での活動に生かすことができる生涯学習社会の実現へ向けて、市民それぞれの能力や必要性に応じ、「だれもが、いつでも、どこでも」気軽に学習し、互いにふれあい、家庭や地域の教育力を高める多様な学習活動をはじめ、スポーツ、文化芸術など市民の自主性を尊重した生涯学習を推進する必要があります。このような学びを推進するための目標を「市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習」と定めます。

2　基本方針

教育委員会は、市民の生涯学習を推進するための機関として、学習のきっかけづくりから、学習活動の支援、様々な生活課題の解決に向けた自主的な学習、更に文化芸術の振興、スポーツ活動への支援など、市民それぞれのニーズに応じた学習環境の整備を図る必要があります。

そのため、市民の自己実現を求める多様なニーズを的確に把握しながら、市長部局や教育機関をはじめ、関係行政機関・民間活動団体等との連携を図り、昭島市総合基本計画に沿って総合的かつ体系的な施策の展開を図ります。

具体的には、「文化芸術活動の促進」、「文化財の保護・調査・活用」、「スポーツ・レクリエーションの振興」、「図書館活動の充実」、「生涯を通じた学習活動の推進」の５つの施策を推進します。

〇文化芸術活動の促進

誰もが文化芸術を身近に接する機会や活動する場と機会の充実に努めます。

多様で幅広い分野との連携を図りながら文化芸術を中心とした地域の活性化を推進します。

〇文化財の保護・調査・活用

地域の暮らしのなかで守られ、継承されてきた文化財を、先人の知と技の結集と捉え、貴重な地域文化として活用するとともに、その調査・研究と保護・保存の推進を図ります。

〇スポーツ・レクリエーションの振興

市民一人ひとりが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツやレクリエーションに親しみ、交流を深め、心身ともに健康で明るく豊かな生活を送ることができるよう施策を推進します。

〇図書館活動の充実

本と情報を仲立ちとして人が集い、つながり、新たな価値を創造する場となるよう、多様な情報・資料の提供に努めるとともに、図書館を拠点とした活動の支援を図ります。

〇生涯を通じた学習活動の推進

誰もが生涯にわたり自分の意思で自由に学ぶことができる環境を整え、市民相互と地域のつながりと絆を育てます。

基本施策

【学校教育の推進】

基本施策１　確かな学力の定着

１　基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
２　理数教育の充実
３　読書活動の推進と言語能力の育成
４　個に応じた支援の充実

基本施策２　豊かな心の醸成

１　人権教育の推進
２　道徳教育の充実
３　体験活動の充実
４　健全育成の推進

基本施策３　健やかな体の育成

１　体力向上の推進
２　学校給食・食育の充実
３　学校保健安全の推進

基本施策４　輝く未来に向かって

１　幼・保・小・中が連携した教育の充実
２　日本の伝統・文化に関する教育の充実
３　学校、家庭、地域・社会との連携・協働
４　学校の教育力の向上
５　教育環境の整備
６　情報教育の推進
７　環境教育の推進
８　国際理解教育の推進
９　キャリア教育の推進

【生涯学習の推進】

基本施策１　文化芸術活動の促進

１　文化芸術活動への支援
２　文化芸術に接する機会の充実
３　多様な主体と連携した文化芸術活動の促進

基本施策２　文化財の保護・調査・活用

１　文化財の保護・保存・調査・研究の推進
２　文化財の活用と継承の支援

基本施策３　スポーツ・レクリエーションの振興

１　スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進
２　スポーツ・レクリエーション環境の整備
３　人材の育成・地域交流の促進

基本施策４　図書館活動の充実

１　多様な情報・資料の提供
２　図書館利用の促進
３　図書館を拠点とした活動の支援
４　誰一人取り残さない環境の整備

基本施策５　生涯を通じた学習活動の推進

１　学習機会の提供
２　学習活動の支援
３　学習成果の活用

3　昭島市総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正に伴い、地域の実情に応じ、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとなりました。

令和3年12月16日に開催された総合教育会議での協議を踏まえ、基本構想における、まちづくりの理念である「人間尊重」と「環境との共生」のもと、「教育に関する大綱」を定めました。

この大綱により、昭島市教育振興基本計画の確実な実現に努めます。

昭島市教育に関する大綱

基本構想における、まちづくりの理念である**「人間尊重」**と**「環境との共生」**のもと、本市の教育に関する大綱を次のとおり定めます。

○ 市民憲章と人間尊重の精神を基調とした教育を推進します。

○ 子どもたちが常に心身ともに健康で生きがいを持ち、創造性に富み、社会の一員としての自覚を有し、多様性を認め合い、人間性豊かな市民として成長することを目指し、その実現に努めます。

○ 学校教育においては、学校、家庭、地域の密接な連携のもと、子どもたちが生涯を通して未来社会の変化に対応できるよう、自ら考え判断して行動する力を培い、国際的視野を広げ、豊かな心と健やかな体をはぐくみ、個性を生かすための教育を推進します。

○ 社会教育においては、地域の文化、教育、スポーツ活動を通して市民誰もが、あらゆる機会に、生きる喜び、学ぶ楽しさを得られ、生涯にわたって主体的に学び続けることができ、市民相互と地域のつながりを育てていく生涯学習社会の実現を目指します。

○ 子どもから高齢者までが生涯にわたっていきいきと学習できる環境の充実を図り、もって豊かな文化の創造とふるさと昭島を愛する心を育て、且ついのちの大切さや環境との共生を考え、ひろく国際社会に貢献できる人材の育成を図ります。

第２章　教育委員会の組織及び活動状況

教育委員会は、都道府県及び市町村等に置かれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツの振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。

１　教育委員会

令和８年３月３１日現在

職　　名	氏　　名	任　期　期　間	期数
教　育　長	山　下　秀　男	令和７年４月１日から 令和10年３月31日まで	３期
委　　員 （教育長職務代理）	眞　如　むつ子	令和５年４月８日から 令和９年４月７日まで	１期
委　　員	氏　井　初　枝	令和６年４月１日から 令和10年３月31日まで	３期
委　　員	松　本　芳　之	令和４年12月25日から 令和８年12月24日まで	１期
委　　員	花　田　　茂	令和７年７月１日から 令和11年６月30日まで	１期

年度中に退任した教育委員

委　　員 （教育長職務代理）	紅　林　由紀子	令和３年６月24日から 令和７年６月23日まで	６期

２　教育委員会の事務事業を主管する組織

教育委員会事務局　　令和７年４月１日現在

部	課	係	主　な　分　掌　事　務
学校教育部	教育総務課	庶務係	・教育委員会の会議に関すること。 ・条例、規則及び規程に関すること。 ・予算及び経理に関すること。 ・事務局及び課内庶務に関すること等
		学務係	・学齢児童及び学齢生徒の就学並びに児童生徒及び幼児の入学、転学及び退学に関すること。 ・通学区域に関すること。 ・学級編制に関すること。 ・児童及び生徒に係る就学奨励に関すること等
		施設係	・教育施設の建設計画に関すること。 ・教育機関の設置、管理及び廃止の手続きに関すること。 ・教育施設の新営工事及び維持修繕工事に関すること。 ・教育施設関係の補助金に関すること等
		GIGAスクール推進担当	・学校の電子計算組織の管理及び運用に関すること。
	指導課	指導係	・指導事務予算に関すること。 ・教育計画事業の推進に関すること。 ・教科書採択に関すること。 ・教育振興基金に関すること等
		教職員係	・教職員の任免の内申その他人事に関すること。 ・教職員の服務に関すること。 ・教職員の給与、旅費、退職手当等に関すること。 ・教職員の福利厚生に関すること等

部	課	係	主 な 分 掌 事 務
学校教育部	指導課	特別支援教育係	・特別支援教育の推進に関すること。 ・教育相談及び適応指導に関すること。 ・就学、転学等の相談に関すること。 ・巡回相談に関すること等
		指導主事	・教育課程編成、実施に関すること。 ・教育施策の企画、実施に関すること。 ・校内研究等、教職員の研修に関すること。 ・学校教育に関する専門的事項の指導に関すること。
	学校給食課	庶務係	・学校給食の計画に関すること。 ・学校給食共同調理場において調理される学校給食に係る次の事務に関すること。 （１）献立に関すること。 （２）調理に関すること。 （３）食品の管理に関すること。 （４）衛生管理に関すること ・配送に関すること。 ・学校給食運営審議会に関すること。 ・業者登録に関すること等
		学校給食費担当	・学校給食費に関すること。 ・給食物資の支払いに関すること。
		自校給食担当	・給食調理施設を有する学校において調理される学校給食に係る事務に関すること。
生涯学習部	社会教育課	社会教育係	・社会教育及び生涯学習の総合調整に関すること。 ・社会教育及び生涯学習に係る行政相談に関すること。 ・社会教育関係団体の育成及び援助に関すること等
	スポーツ振興課	スポーツ振興係	・スポーツ推進委員に関すること。 ・生涯スポーツの推進に関すること。 ・関係団体との連携及び協働に関すること。 ・スポーツの指導者の研修に関すること。 ・総合スポーツセンターの管理及び運営に関すること等
	アキシマエンシス管理課	管理係	・指定管理業務の評価・モニタリングに関すること。 ・図書の購入及び廃棄の決定に関すること。 ・学校等市内関係機関及び団体との連携調整に関すること。 ・図書館協議会に関すること。
		文化財係	・市史及び文化財の保護、調査に関すること。 ・郷土資料室の管理運営に関すること。
	市民会館･公民館	管理係	・市民会館・公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 ・市民会館・公民館の利用承認並びに使用料の徴収、付属設備等の使用料の免除及び還付に関すること。 ・市民会館･公民館の庶務に関すること。 ・市民会館の自主文化事業に関すること等
		事業係	・公民館運営審議会の庶務に関すること。 ・各対象別、課題別講座等の開設に関すること。 ・討論会、展示会、音楽会、美術展その他の集会に関すること。 ・公民館事業に係る情報収集及び提供に関すること等

3　教育委員会の会議

Ⅰ　教育委員会の活動情報

① 教育委員会開催状況

定例会：12回　臨時会：0回

② 審議事項

ア　議決事項（議案）　19件

イ　協議事項（協議題）　5件

ウ　報告事項（説明あり）　101件

エ　報告事項（資料配布のみ）　23件　※説明を省略し、資料配布のみとした案件

会議の付議案件と結果は下表のとおり

開催日	議案番号等	件名	結果
令和７年４月17日	７号	昭島市学校給食運営審議会委員の委嘱について	可決
5月13日	８号	昭島市学校運営協議会委員の任命について	可決
	９号	昭島市青少年教育協力者感謝状被贈呈者について	可決
	10号	昭島市指定文化財の指定について	可決
	協議	登録文化財制度の創設に関する諮問について	承認
7月17日	11号	昭島市学校給食運営審議会委員の委嘱について	可決
	12号	昭島市民図書館協議会委員の委嘱について	可決
8月７日	13号	昭島市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	可決
	14号	令和８年度昭島市立学校で使用する教科用図書の採択について	可決
	協議	昭島市教育委員会の事務事業に関する点検及び評価報告書（令和６年度分）について	承認
９月18日	協議	学校給食運営のあり方について（諮問）	承認
10月16日	15号	昭島市教育委員会表彰被表彰者について	可決
	16号	昭島市奨学金等支給条例に基づく奨学生の決定について（非公開）	可決
11月20日	17号	令和８年度昭島市立学校における教育課程編成基準について	可決
12月18日	18号	昭島市立学校適正規模適正配置等審議会委員の委嘱について	可決
令和８年２月10日	１号	昭島市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	可決
	２号	令和８年度昭島市公立学校長等の任命に関する内申について（非公開）	可決
	３号	昭島市学校給食の実施に関する規則の一部を改正する規則について	可決
	協議	令和７年度昭島市立学校卒業式告辞及び令和８年度昭島市立学校入学式におけるお祝いの言葉について	承認

開催日	議案 番号等	件名	結果
３月19日	４号	昭島市教育委員会表彰被表彰者について	可決
	５号	令和８年度昭島市立学校の教育課程の受理について	可決
	６号	昭島市青少年委員の委嘱について	可決
	７号	昭島市スポーツ推進委員の委嘱について	可決
	協議	昭島市教育委員会におけるサイバーセキュリティ基本方針(案)について	承認

Ⅱ　総合教育会議（企画政策課所管）

開催日	議　題
令和７年12月11日	コミュニティ・スクールの推進に向けて

4　教育委員会の活動

Ⅰ　教育委員の活動

教育委員は、学校の状況を把握し、教職員と情報共有するために、学校訪問や学校行事への出席のほか、校長会との意見交換会を開催しています。また、東京都教育委員会や近隣市との情報交換、情報共有を行うほか、研修会へ参加し、識見を高め、教育施策の決定等への反映に努めています。

(1) 教育委員の学校訪問、校長会との意見交換会、学校行事への参加

事　業　名	実施日	訪　問　先
校長・副校長・教職員辞令伝達式、 臨時校長会	令和７年 ４月１日	市役所　市民ホールほか
入学式	４月８日・９日	各小・中学校
学校訪問	５月28日・29日 10月９日・23日	東小学校、拝島第二小学校 清泉中学校、中神小学校
市立小中学校長との情報交換会	令和８年１月15日	市役所　市民ホール
特別支援学級合同学習発表会	12月３日	FOSTERホール
昭島市研究指定校研究発表会	１月30日	清泉中学校
卒業式	３月18日・25日	各小・中学校

その他、各校の音楽会、展覧会及び運動会などに参加しています。

(2) 教育委員の教育委員会関係行事への参加

事　業　名	実施日	開　催　場　所
昭島市教育委員会表彰式	令和７年 ４月６日	市役所　市民ホール
昭島市育英会	５月13日	市役所　203会議室
「未来をひらく」発表会	９月６日	市役所　市民ホール
昭島市教育委員会表彰式	11月３日	市役所　市民ホール
食育シンポジウム	11月15日	アキシマエンシス体育館
昭島市はたちのつどい～20celebration～	令和８年 １月12日	FOSTERホール

その他、教育委員会主催事業や後援事業に参加しています。

(3) 教育委員の会議

事　業　名	実施日	開　催　場　所
東京都市町村教育委員会連合会 令和７年度第１回常任理事会及び理事会 令和７年度第１回研修推進委員会	令和７年 ４月28日	東京自治会館　第７会議室 ほか
東京都市町村教育委員会連合会第69回定期総会	５月19日	東京自治会館　講堂
関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会	５月30日	長野県長野市 ホクト文化ホール
東京都市町村教育委員会連合会 令和７年度第２回研修推進委員会	７月１日	東京自治会館　第８会議室
東京都市町村教育委員会連合会 令和７年度第３回研修推進委員会	８月１日	東京自治会館　第７会議室
東京都市町村教育委員会連合会 令和７年度第２回常任理事会及び理事会	８月22日	東京自治会館　第７会議室 ほか
東京都市町村教育委員会連合会 令和７年度第３回常任理事会及び理事会	令和８年 １月14日	東京自治会館　第８会議室 ほか

(4) 教育委員の研修

事　業　名	実施日	内　　容
関東甲信越静市町村教育委員会連合会研修会	令和７年 ５月30日	演題　深宇宙探査の要、信州～はやぶさ２とMMXの紹介～ 講師　JAXA宇宙科学研究所研究開発員 澤田　弘崇　氏
教育施策連絡協議会	オンライン 配信 （4月24日 ～5月31日）	演題　教育のイノベーション～デジタルとリアルの融合で教育の未来を変える～ 講師　デジタルハリウッド大学 佐藤　昌宏　氏 東京都教育監 瀧沢　佳宏　氏

事　業　名	実施日	内　　容
市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会	令和７年 ６月26日 令和８年 ２月６日	分科会形式でグループ協議を実施 １　教育委員会の機能強化・活性化について ２　公立小・中学校の適正規模・適正配置について ３　地域と学校の連携・協働について ４　部活動改革と地域スポーツ・文化芸術環境の整備～今後の方向性等～
東京都市教育長会研修会	７月31日	演題　「チーム・藤原道長家」の力　～『源氏物語』はどのように作られ、読まれたのか～ 講師　大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 中西　智子　氏
東京都市町村教育委員会連合会第１回理事研修会	８月22日	演題　学校におけるこれからの学びについて 講師　東京都多摩教育事務所　指導課長 加藤　治紀　氏
東京都市町村教育委員会連合会管外視察研修会	10月15日	講演及びJAXA筑波宇宙センター施設見学 演題　同機構での事業・業務に関わる内容、小・中学生に対しての教育的支援について 講師　JAXA宇宙教育推進室　室長 谷垣　文章　氏
東京都市町村教育委員会連合会第４ブロック研修会	10月16日	演題　調布市の学校給食物アレルギー対応について 講師　調布市教育委員会教育部学務課長 佐藤　龍　氏 調布市教育委員会教育部学務課保健給食係主任 斉藤　麻千子　氏 調布市教育委員会会計年度任用職員 松村　亜矢子　氏
東京都市町村教育委員会連合会第１ブロック研修会	11月12日	演題　南極観測の魅力を子供たちに 講師　第64次南極地域観測隊　同行者 野田　豊　氏
東京都市町村教育委員会連合会第２ブロック研修会	12月17日	演題　オリンピックで学んだ折れない心の作り方 講師　スポーツコメンテーター・八王子市教育委員 田中　雅美　氏
東京都市町村教育委員会連合会第２回理事研修会	令和８年 １月14日	演題　教育行政の課題とその取組 講師　東京都多摩教育事務所所長 小島　貴弘　氏
東京都市町村教育委員会連合会第２回研修会	２月27日	演題　教育に科学的根拠を 講師　慶應義塾大学総合政策学部 教授 中室　牧子　氏

Ⅱ　教育委員会の活動

(1) 教育委員会表彰

教育委員会では、市の教育文化の振興発展に貢献し、その功績の顕著な方及び他の模範となる成績又は行為のあった方々に対し、毎年11月3日（文化の日）及び4月第一日曜日に表彰を行っています。

表彰式		表彰対象事由および表彰者数	
第1回	令和7年 11月3日	＜児童・生徒等の表彰＞	○　空　　手　：小学生1名 ○　ソフトボール　：小学校1団体 ○　水　　泳　：中学生3名 ○　テ　ニ　ス　：中学生2名 ○　近代二種・三種　：小学生1名
		＜個人・団体の表彰＞	○　スノーボード　：1名 ○　ダ　ン　ス　：1名 ○　ピ　ア　ノ　：1名 ○　バスケットボール　：1名 ○　テ　ニ　ス　：1名 ○　昭島市野球協会 ○　昭島市水泳協会
		＜職員の表彰＞	○　前昭島市立学校歯科医　：2名 ○　前昭島市立学校薬剤師　：1名
第２回	令和８年 ４月５日	＜児童・生徒等の表彰＞	○　空　　手　：中学生1名 ○　フットベースボール：小学校1団体 ○　水　　泳　：中学生1名 ○　陸　　上　：中学生1名 ○　近代二種・三種　：小学生1名 ○　ピ　ア　ノ　：中学生1名
		＜個人の表彰＞	○　バスケットボール　：1名 ○　スノーボード　：1名 ○　テ　ニ　ス　：1名
		＜職員の表彰＞	○　昭島市立学校長　：2名 ○　前昭島市スポーツ推進委員　：1名 ○　前昭島市青少年委員　：3名

(2) 教育・青少年だより「エール」の発行状況

令和3年度まで発行してきた「あきしまの教育」「あきしまの青少年」を統合し、令和4年度より教育広報誌として、「教育・青少年だより　エール」を発行しています。「エール」は、子どもたちの様々な挑戦に「エール＝応援」を送りたいという想いと市のシンボル「くじら」の英語「ホエール」から名付けました。

発行部数	42,580部
規格	A4版　８ページ（3回）、４ページ（2回）
発行月	5月、7月、10月、12月、３月
配布先	児童・生徒及び保護者、市公共施設　ほか

上記配布先のほかホームページでも公開しています。

トップページ ＞ 子育て・教育 ＞ 教育委員会>教育・青少年だより「エール」

https://www.city.akishima.lg.jp/li/020/020/140/040/index.html

▲教育・青少年だより「エール 11 号」

第3章　主要施策の点検及び評価

第3章　主要施策の点検及び評価では、『昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）』に掲載している「主な取組」をすべて評価したうえで、評価基準を設け施策ごとの評価を決定しました。そのうち、評価対象年度における重点取組を、本報告書に掲載しています。また、評価対象年度における実績と課題を総括するとともに、分かりやすく記載し、次年度の取組の方向性を示すこととしました。
また、各施策ごとに外部評価員による総合評価と意見を掲載しました。

評価シートの見方

基本施策１　確かな学力の定着

基本施策１－１	担当課	指導課、教育総務課、学務担当
基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進		

施策の方向性
『昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）』より、施策の方向性を掲載しています

	主な取組【担当課】	取組実績
1	評価対象年度における主な取組を選定しています	評価対象年度の取組実績を記載しています
2		

自己評価		評価理由
	A… 施策の方向性以上の成果がでている	教育委員会にて自己評価を実施し、その理由を記載しています
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C…一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題
評価対象年度の取組に対する主な課題を記載しています

今後の取組の方向性
今後の取組の方向性を記載しています

（参考資料）　各施策・取組の評価や掲載内容に参考となる表や図、写真など資料を掲載しています

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ	自己評価	該当頁
Ⅰ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進		
2 理数教育の充実		
3 読書活動の推進と言語能力の育成		
4 個に応じた支援の充実		

各小項目の自己評価をまとめて記載しています

各小項目の掲載頁です

政策指標	策定年度	前年度	評価対象年度	R8年度目標値
授業に対して、すすんで取り組んでいると回答した児童・生徒の割合（児童・生				

『昭島市教育振興基本計画（令和4年度～令和8年度）』より、策定時の政策指標と目標値を記載し、評価対象年度及び前年度の指標値を記載しています

外部評価員による評価と意見

外部

この章の意見をいただいた外部評価員の氏名

外部評価員の総合評価を5段階で評価しています

外部評価員の総合評価

5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果が
4 … 施策は順調に推進されている。
3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。
2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。
1 … 施策の推進に全く至っていない。

外部評価員の意見

外部評価員の意見を記載しています
各章の外部評価員の意見は、第4章で再掲載しています

学校教育の推進

基本施策１　確かな学力の定着

基本施策１－１	担当課	指導課
基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進		

施策の方向性

これからの変化の激しい時代を生き抜き、生涯にわたり主体的に学び続ける子どもたちを育成するためには、知識・技能の習得に加え、他者と協働しながら課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等及び主体的に学習に取り組む態度を育むことが不可欠です。
子どもたちにこうした資質・能力を育成していくために、全ての教員が「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る指導方法の工夫・改善に取り組むとともに、少人数指導等きめ細かな指導の充実を図ります。
また、各学校はカリキュラム・マネジメントを通して、学校全体の取組として、質の高い「深い学び」を引き出していきます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	教職員の研修の充実 【指導課】	新規採用教員や若手教員に対し、授業づくりの基礎や学級経営に関する研修を体系的に実施した。ミドルリーダーによる研究授業を通じ、実践的な指導力育成を図った。特に、学習指導については、若手人材育成担当が授業観察とその振り返りを行うことで授業力向上を図った。年度当初に、職層研修(新任副校長・新任主幹・新任主任)を行い、該当教員の組織貢献力を高め、校長の経営方針具現化を目指した。
2	若手教員の育成 【指導課】	年間10回のセンター研修、年間5回の課題別研修、若手人材育成担当による年間3回の授業観察を実施した。東京都が定める学習指導力、生活指導力・進路指導力等の4つの身に付けるべき力の育成を図る研修を実施した。
3	大学との連携による授業改善の推進 【指導課】	通常の学級は多摩辺中、特別支援学級（知的障害特別支援学級）は共成小と多摩辺中、特別支援学級（自閉症・情緒障害特別支援学級）は田中小と清泉中、特別支援教室は拝島第三小と瑞雲中において、大学教授等の有識者による授業観察を通して、個々の教員の課題を分析し、教員の授業力の向上に取り組んだ。また、2月には、各学校の取組の成果と課題を発表した。
4	土曜日・放課後補習の実施 【指導課】	土曜補習教室は、小学校全校で8回、2校の中学校で、4～5回実施、放課後補習教室は、11校の小学校で7回程度、中学校では3校が6回程度実施し、学力の定着を図った。英検対策については、市内すべての中学校から参加があり、受験する級についても、上位の級を目指し、努力する参加者が多数を占めた。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	大学教授等を招へいし、職層に応じた研修を実施し、若手教員をはじめ他の教員の授業力向上につながったため。また、土曜・放課後学習や英検対策に関しても、一定数の参加者のもと、実態に応じた対応を行うことができたため。

主な課題

児童・生徒一人一人の主体的な学びを充実させるために、ICTの効果的活用を継続的に推進させる必要がある。引き続き、児童・生徒の多様な学び方に対して、教職員が適切な支援を実施できるよう「個別最適な学び・協働的な学び」を教職員が十分に理解し、その促進を図ることが重要である。

今後の取組の方向性

若手教員育成研修に継続して講師を招聘し、研修の更なる充実を図る中で、自身の取組を認知する機会を設けていく。また、主幹教諭・主任教諭の研修については、各職層に応じた課題を取り上げ、その課題解決の手立てを構築できるような、人材の育成を目指す。

（参考資料）

▼教職員の研修一覧

研修名	研修内容	人数
新任主幹教諭研修	主幹教諭としての役割	9
新任主任教諭研修	主任教諭としての役割	16
新任副校長研修	副校長としての役割	3
初任者研修	学習指導力、生活指導力等	37
2年次研修	学習指導力、生活指導力等	32
3年次研修	外部との連携・折衝力等	20

▼土曜補習授業の様子

基本施策Ⅰ－2	担当課	指導課
理数教育の充実		

施策の方向性

急速に技術革新する現代社会において、科学技術の分野で新たな価値を創造できる人材を育成するためには、子どもたちの理科や算数・数学への関心を高めるとともに、理数教育の一層の充実を図ることが必要です。
各学校において、理科、算数科・数学科の授業改善を行うとともに、地域資源を活用した理科、算数科・数学科授業の充実や、理科教育推進担当教員等の活用を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
Ⅰ	地域資源の活用による授業の充実 【指導課】	多摩川の野草観察及び水生生物観察、移動プラネタリウムによる「月と星」の学習など、各学校において地域資源を活用した学習を計画的に実施した。理科の授業においては、学習者が自ら課題を設定し、実験等の結果を踏まえて、科学的な根拠により課題の解決を図るなど、探究的な学びの視点による授業改善を図った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校が地域の方々と連携して取り組んだ内容の実践が、児童・生徒の関心を高めることにつながった。児童・生徒たちは、より良いものを構築しようと、主体的に活動する姿が見られたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

学級園における植物の栽培に地域の人材や地域資源を活用したり、地域企業の専門家を招聘した授業を充実させたりするなど、 理系教育の継続的な充実を図り、理系離れが助長されないようにする必要がある。
地域資源を活用した取組内容については、学校によって異なるため、市内の小中学校の好取組事例を情報提供し、コミュニティースクールの取組との連携推進が重要である。

今後の取組の方向性

地域人材や企業などの協力を学校が受けた後、その様子を市内の各学校に周知する機会を設け、市内各校が、自身の取組を再構築できるようにする。

（参考資料）
▼〈全国学力・学習状況調査の結果〉
調査対象：全小学校6年生及び全中学校3年生
実施日：令和7年4月16日

	教科別平均正答率					
	小学校			中学校		
教　科	国語	算数	理科	数学	国語	理科※
国平均	66.8	58.0	58.1	54.3	48.3	503
都平均	70	64	60	57	53	506
昭島市	65	55	55	55	48	485

市や都の平均正答率は、平成29年度から整数位での公表
※中学校理科は各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すIRTスコアによる

各教科の分析

各教科において、全国や東京都よりも平均正答率が下回っており、小中ともに、自分の考えを書いたり、説明したりすることに課題が見られた。 具体的には、小学校国語では、「話すこと・聞くこと」の領域において、資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること、小学校算数では、「図形」の領域において基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述できること、中学校国語では、「書くこと」の領域において、目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること、中学校数学では、「数と式」の領域において、式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見いだし、数学的な表現を用いて説明することが課題として明確になった。
今後は具体的に、次のような内容を意識して指導する必要がある。
〇目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う。
〇自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する際に、伝えたい内容が適切に伝わるよう効果的に資料や機器を活用する。
〇様々なグラフの特徴を理解し、目的に応じて複数のグラフから適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え判断し、その判断の理由を表現できるようにする。
〇文字を用いた式の意味を読み取り、事柄の特徴を数学的に説明できるようにする。

▼令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について（令和7年昭島市教育委員会第9回定例会 報告事項2）
https://www.city.akishima.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/009/056/0709houkoku2.pdf

基本施策Ⅰ－3	担当課	指導課
読書活動の推進と言語能力の育成		

施策の方向性

言語能力は、全ての学習の基盤となる資質・能力です。子どもたちの語彙を豊かにし、言語能力の育成を図るには、各教科等における言語活動の充実とともに読書活動の充実を図ることが大切です。
各学校で読書活動全体計画を作成し、学校図書館担当教員、司書教諭 、学校司書及びボランティアなどが連携して、子どもたちの読書活動を一層推進します。
また、学校図書館と市民図書館の利用を促進し、読書活動を通して豊かな感性や情緒を育み、言語能力の育成を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	学校図書館、市民図書館の利用促進 【指導課】	国語科や総合的な学習の時間を中心とした学校図書館の活用を通して、児童生徒が活字に親しむ機会を設定するよう促した。その機会が、教科学習を含めた様々な教育活動の中で、言語能力を高める場となった。備わった言葉の力を用いて、各教科において様々な形態での話合い活動や探究型学習を行い、児童生徒が自身の言葉で表現できるような取組を行った。また、図書館の積極的な活用のために、「図書館を使った調べる学習コンクール」への参加を促し、参加者も引き続き増加傾向にある。
2	学校図書館の蔵書の充実 【教育総務課】	学校図書購入費について、学級数を基準とした文部科学省による学校図書館図書標準を十分満たした上で、予算配当を行い、蔵書の充実が図れるよう、各学校で蔵書を入れ替えた。
3	子どもの主張意見文コンクールの開催 【指導課】	小・中学校全校で取り組み、これからの昭島について考えたことを表現した。応募者数は1563編となった。審査委員会を2回開催し、小・中学校から各15点の入選作品を選定した。9月6日（土）に行った発表会では、123名の来場者があった。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	各学校で読書活動や言語活動の推進を図ることができたため。また、「図書館を使った調べる学習コンクール」への参加者が増え、市民図書館や学校図書館を活用した学習が推進されたため。

主な課題

学校図書館や市民図書館を利用した読書活動の機会を設け、児童生徒の探究的な学びを深める必要がある。計画的な授業計画及び実践の中で、学校図書館を活用した調べ学習の機会を設定する必要がある。また、教科学習を中心としてすべての教育活動の中で、言語能力の向上を目指した取組を継続的に実施する必要がある。

今後の取組の方向性

学校図書館担当教員、司書教諭 、学校司書及びボランティアなどが連携して、子どもたちの主体性を育む読書活動を継続して推進させる。調べ学習の更なる充実を図るために、今以上に学校図書館と市民図書館の利用の促進を図る。

▼学校図書館図書整備状況、貸出状況

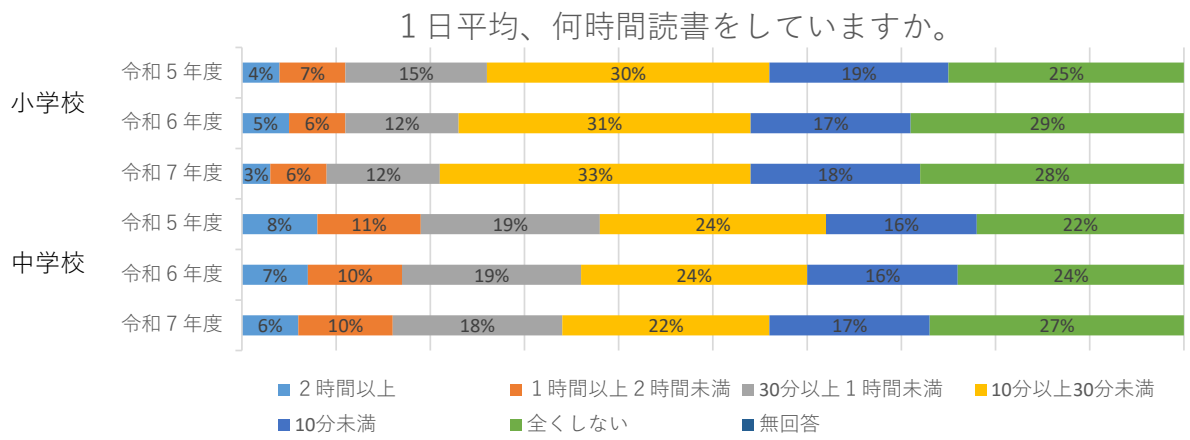
	令和6年度		令和7年度					
	蔵書冊数	1人あたりの貸出冊数	購入冊数	寄贈冊数	除籍冊数	蔵書冊数	1人あたりの貸出冊数	図書標準冊数※
小学校	180,707	43.4	3,750	740	△ 7,994	177,203	40.0	123,520
中学校	85,373	4.4	2,290	249	△ 1,364	86,548	3.9	71,600

※図書標準冊数･･･文部科学省が定めた公立義務教育諸学校の学校図書館に整備すべき蔵書の標準数

https://www.mext.go.jp/a_menu/sports/dokusyo/hourei/cont_001/016.htm

（参考資料）

児童・生徒アンケートの結果　1日平均、何時間読書をしていますか。



【第43回子どもの主張意見文コンクール】

（小学校の部）
最優秀賞「昭島市をゴミの少ない街へ」

（中学校の部）
最優秀賞「挑戦できるまち『あきしま』」

▲「未来をひらく」子どもの主張意見文コンクール入賞者

◀「第43回子どもの主張意見文コンクール作品集」

「子どもの主張意見文コンクール」の入賞作品は冊子にまとめて、入賞者や学校、関係者に配布しています。昭島市民図書館や市役所の行政資料コーナーで閲覧ができます。

【図書館を使った調べる学習コンクール】

▼図書館を使った調べる学習コンクール（公益財団法人図書館振興財団主催コンクールのホームページ）
https://concours.toshokan.or.jp/

▼図書館を使った調べる学習コンクール in アキシマ の結果発表（昭島市民図書館ホームページ）
https://www.library.akishima.tokyo.jp/event/?id=750

▼調べる学習講座の様子

基本施策１－４	担当課	指導課、学務担当
個に応じた支援の充実		

施策の方向性

子どもたち一人ひとりの教育的ニーズを把握し、もてる力を高め、生活や学習上の困難さを改善又は克服するためには、適切な指導及び必要な支援を行い、基礎的な学力を伸ばしていくことが必要です。
各学校は、インクルーシブ教育の理念に基づき、障害のあるなしに関わらず、子どもたち一人ひとりの自立と社会参加に向けた効果的な指導・支援の充実を図るために、全ての教員の特別支援教育への理解を深め、授業のユニバーサルデザイン化、個別指導など、多様な指導方法の工夫を図ります。
また、経済的な理由により就学困難な子どもたちの保護者に、必要な援助を行い、教育の機会均等の保障に努めます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	教員研修の充実 【指導課】	共生社会の実現に向けた特別支援教育の理解を深めるため、特別支援教育全体研修として、東京学芸大学 教職大学院 准教授 増田 謙太郎 氏による「特別支援教室と通常の学級との連携」の講演を行った。
2	特別支援教室における指導の充実 【指導課】	拝島第三小、瑞雲中の特別支援教室において、明星大学客員教授 菅原 真弓氏による特別支援教室巡回指導教員を対象とした研修を各校年3回実施し、児童・生徒の実態把握を基にした授業づくりについて学んだ。
3	特別支援学級における指導の充実 【指導課】	共成小の知的障害特別支援学級において、東京学芸大学講師 村尾 愛美氏、多摩辺中の知的障害特別支援学級及び清泉中の自閉症・情緒障害特別支援学級において、東京学芸大学教職大学院准教授 増田 謙太郎氏、田中小の自閉症・情緒障害特別支援学級において、東京学芸大学特命教授 宮下 佳子氏による特別支援学級担任を対象とした研修を各校年3回実施し、ファシリテートおよびリフレクションによる授業改善について学んだ。
4	就学援助の実施 【学務担当】	小学生690名、中学生369名に対し、9,495万2,720円の援助を行った。（援助率は小学校12.3%、中学校14.2%）また、給付型奨学金は、高等学校等入学予定者11名に合計88万円の入学準備金と、昨年度までに採用した奨学生21名に合計372万1,800円の奨学金を給付した。
5	特別支援教育就学奨励の実施 【学務担当】	特別支援学級や通級指導教室に在籍する小学生74名、中学生54名に対し、631万8,068円の就学奨励費の支給を行った。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	特別支援教育に関する市民向け講演会を実施し、理解・啓発を推進できたため。また、特別支援教育に係る教員研修を実施し、授業力向上を図ることができたため。

主な課題

特別支援教室巡回指導教員、特別支援学級担任、支援に携わる職員の専門性及び授業力向上が継続的な課題である。今年度実施した研修の成果を踏まえ、児童・生徒への関わり方を常に見直し、授業改善につなげる必要がある。また、日本語指導を真に必要とする児童・生徒の早期の把握及び対応が重要である。

今後の取組の方向性

共生社会の実現に向けて、引き続き市民のニーズに応じた内容の講演会を実施していく。招聘する講師に関しては、継続とならないように配慮し、常に今日的な課題を意識したテーマとする。また、特別支援教室及び特別支援学級の教員を対象とした研修では、大学教授などの専門性の高い講師による講義を引き続き実施し、実践力につながる技術を身に付けていく。

（参考資料）

▼特別支援教育に関する市民向け講演会参加人数

開催日	講師	事業名	参加人数
8月30日	東京都立光明学園 副校長 江見 大輔 氏	登校をしぶる子どもたち ～子どもとのかかわり方の一例を通して～	16名
2月7日	国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員 山本 晃 氏	障害による特性の理解をもとにした子供への支援	22名

▼日本語指導員による指導を受けている児童・生徒数

言語	小学校	中学校
中国語	3	
英語	6	2
ネパール語	3	2
タガログ語		3
ベンガル語	1	
ベトナム語	1	
タイ語		1

▼就学援助費支給状況

支給項目	小学校			中学校		
	支給児童数	支出額	1人平均額	支給生徒数	支出額	1人平均額
学用品費・通学用品費	638	8,228,155	12,897	326	7,621,420	23,379
新入学学用品費	33	1,882,980	57,060	12	756,000	63,000
新入学準備金	45	2,567,700	57,060	140	8,820,000	63,000
移動教室費／修学旅行費	131	5,017,763	38,304	113	7,482,226	66,214
校外活動費	513	1,250,709	2,438	193	472,492	2,448
宿泊学習費	122	2,721,089	22,304	134	6,048,753	45,140
通学費	7	186,025	26,575	3	153,320	51,107
柔道着購入費				36	164,700	4,575
学校給食費	640	26,288,216	41,075	322	15,288,572	47,480
医療費	2	2,600	1,300	0	0	0
合計支出額	48,145,237			46,807,483		

就学援助制度について（トップページ ＞ 子育て・教育 ＞ 学校教育 ＞ 就学支援 ＞ 令和7年度就学援助制度のお知らせ）
https://www.city.akishima.lg.jp/kosodate/gakko/1004094/1004097.html

▼就学奨励費支給状況

支給項目	小学校			中学校		
	支給児童数	支出額	1人平均額	支給生徒数	支出額	1人平均額
学用品費・通学用品費	61	412,600	6,764	45	543,205	12,071
新入学学用品費	10	285,300	28,530	16	504,000	31,500
移動教室費／修学旅行費	8	160,270	20,034	16	531,606	33,225
校外活動費	52	46,433	893	40	37,663	942
宿泊学習費	32	294,807	9,213	38	250,873	6,602
通学費	15	661,419	44,095	10	225,260	22,526
柔道着購入費				2	4,200	2,100
学校給食費	61	1,296,844	21,260	44	1,063,588	24,172
合計支出額	3,157,673			3,160,395		

就学奨励費制度について（トップページ ＞ 子育て・教育 ＞ 学校教育 ＞ 就学支援 ＞ 就学奨励費制度）
https://www.city.akishima.lg.jp/kosodate/gakko/1004094/1004096.html

基本施策１　確かな学力の定着

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ	自己評価	該当頁
１ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進	A	17,18
２ 理数教育の充実	B	19
３ 読書活動の推進と言語能力の育成	B	21,22
４ 個に応じた支援の充実	A	23,24

政策指標

		令和3年度（策定時）	令和6年度	令和7年度	令和8年度目標値
授業に対して、すすんで取り組んでいると回答した児童・生徒の割合（児童・生徒アンケート）	小学校	90.0%	91.0%	91.0%	92.0%
	中学校	89.0%	91.0%	91.0%	90.0%

外部評価員の評価と意見	外部評価員	工藤 文三

外部評価員の評価

4	５ … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 ４ … 施策は順調に推進されている。 ３ … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 ２ … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 １ … 施策の推進に全く至っていない。

外部評価員の意見

基本施策１－１　教職員の階層に応じた計画的な研修の実施、各学校における授業改善推進プランの作成と活用、学習規律の徹底、土曜日・放課後補習の実施など、学力の向上・定着を図るための多角的な取組が着実に進められている。今後はこれらの取組の継続・充実を図るとともに、各学校における児童・生徒の学習状況を踏まえた授業改善、家庭との連携による学習習慣の定着などを通して、取組の成果が全国学力・学習状況調査等の結果にも示されていくことを期待したい。

基本施策１－２　各学校における理数教育の取組、地域資源等を活用した授業の推進が図られていることがうかがえる。算数・数学、理科の学習で身に付けた見方・考え方を、実際の生活において生かし、働かせることができるよう一層の授業改善を期待したい。

基本施策１－３　各教科等における学校図書館の活用に加え、「図書館を使った調べる学習コンクール」や「子どもの主張意見文コンクール」への参加・応募も含め、市民図書館や学校図書館の有効活用が進められている。読書活動を通じて、探究する楽しさを味わい、知識・技能を深め、思考力・表現力を豊かなものにしていくことが望まれる。

基本施策１－４　特別支援教育については、教員研修や学習指導の充実、市民向け講演会など多角的な取組が進められている。また、就学援助及び特別支援教育就学奨励についても着実に実施されている。教職員の専門性及び授業力の一層の向上を図り、個に応じた支援の充実につながることを期待したい。

基本施策2　豊かな心の醸成

基本施策2－1	担当課	指導課
人権教育の推進		

施策の方向性

全ての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会を実現するためには、一人ひとりの子どもたちに人権尊重の精神を育むことが不可欠です。
各学校では、あらゆる偏見や差別をなくすために、「人権教育プログラム 」の活用や、人権尊重教育推進校の研究成果等を基に、教育活動全体を通して子どもたちに人権尊重の精神の育成を図る人権教育を推進します。

主な取組【担当課】		取組実績
1	人権教育の推進 【指導課】	9月に、各小・中学校の人権教育推進担当教諭、昭島市人権教育推進委員、中堅教諭等資質向上研修対象者を対象に、大学教授を講師とした人権教育研修を開催した。また、各学校1名の人権教育担当教員が、東京都人権尊重教育推進校の人権教育推進校研究発表会に参加し、人権教育の理解促進に努めた。
2	人権パネル展・人権標語の取組【指導課】	12月に市役所1階ロビーにおいて、人権パネル及び人権標語の展示を行い、各小・中学校が、教科の学習活動はもとより、特別教科 道徳や総合的な学習の時間において取り組んだ人権教育に係る活動について紹介した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	人権教育推進委員会や、人権パネル展、人権標語の作成など、学校全体の人権感覚向上に資する取組を実施し、人権尊重の精神を育み、自他ともに大切にする意識を啓発することができたため。

主な課題

従前より取り組んできた人権課題だけでなく、多様性に関する人権課題についても、知識の拡充や態度の育成を図り、継続的に人権感覚を向上させる必要がある。

今後の取組の方向性

児童・生徒のみならず、教職員の人権感覚を向上させるため、人権教育に関する研修内容の充実を図るとともに、人権教育推進委員会を通して各学校での取組を共有するなど、小・中学校全校で連携した取組を継続して行う。

＊新たな人権課題・・・「個人情報の流出やプライバシーの侵害」
＊新たな人権課題・・・「感染症に関連する偏見や差別意識の解消に向けて」
（参考資料）
▼人権パネル展の様子

基本施策2－2	担当課	指導課
道徳教育の充実		

施策の方向性

子どもたちが、自他の生命の尊重、規律ある生活等、将来、社会において生きていく上で求められる道徳的価値や人間としての生き方に関する意識を深めるために、「道徳授業地区公開講座」等を工夫しながら、学校・家庭・地域、関係機関との連携の下、道徳教育の充実、改善を図ります。
「特別の教科　道徳」（以下「道徳科」という。）においては、発達段階に応じて、答えが一つではない道徳的な課題を、一人ひとりの子どもたちが自分自身の問題と捉え、向き合う「考え・議論する道徳」への転換を図ります。
各学校における道徳科を道徳教育の要の時間と位置付け、道徳教育推進教師を中心に、各教科等における道徳教育との密接な関連を図りながら、計画的、発展的に道徳的価値や人間としての生き方について自覚を深めさせ、道徳性を高めます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	道徳授業の充実 【指導課】	各小・中学校において、全教育活動の中で、道徳教育を推進できた。「考え、議論する道徳」への転換を図り、道徳授業地区公開講座での公開授業や、各校の道徳教育推進教師を中心とした研修を実施できた。その中で、郷土資料の活用やICTを用いた意見共有を通じ、多角的な思考を養う授業づくりを推進できた。
2	道徳授業地区公開講座の充実【指導課】	道徳授業地区公開講座の実施形態を工夫しながら、保護者や地域の方と児童・生徒の道徳性の育成について議論することができた。培った道徳的実践意欲を家庭において実践し定着させ、あらゆる活動等の際に発揮できることを目指しています。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	各学校で工夫を重ねながら、道徳教育の充実を図ることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

道徳教育においては、各校で重点項目を設定している。道徳科の授業では、教科書等を用いて学習を進めているが、児童・生徒が、自分事と捉え、向き合う「考え・議論する道徳」となるよう、教員の意識改革が必要である。そのための継続した工夫の積み重ねが重要である。

今後の取組の方向性

年間指導計画を活用した系統的な指導、教科等横断的な視点での授業改善、ICTの効果的な活用等により、道徳科の授業の質的向上をさらに図る。

（参考資料）
▼道徳授業地区公開講座

基本施策2－3	担当課	指導課
体験活動の充実		

施策の方向性

子どもたちを地域の自然や歴史、文化等に直接触れる郷土学習や、福祉の心を育てるボランティア活動等に参加させるとともに、小学校での移動教室、中学校での職場体験や修学旅行などを通し、子どもたちの発達段階に応じた体験活動の充実を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
Ⅰ	小・中学校における生産体験の実施 【指導課】	市内農家の協力を得ながら、米つくりや梨つくり、拝島ネギつくりなどの農業体験を行った。栽培したものを集荷し、給食等に提供してもらうことで、食への感謝や郷土愛も育むことにつながった。また、中学校では「職場体験」の一環として、地元の製造業や商店での就業体験を取り入れ、働くことの意義や生産の喜びを直接肌で感じる機会となった。 これらの活動は、単なる作業体験に留まらず、教科横断的な学習やキャリア教育の重要な柱として位置付けた。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	全校、移動教室や修学旅行を実施する中で、多くの学校が体験活動を取り入れることができたため。また、地域人材を活用して、学級農園や近隣の田畑を活用した取組の充実を図ったため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

移動教室、修学旅行、生産体験などの体験活動の充実を図り、よりよい人間関係を築く体験を積み重ねることが必要である。なお、体験活動の内容に関しては、児童・生徒が自身で考え検討し決定することで、充実を図る必要がある。その際、学校の特色に応じるとともに、児童・生徒の発達段階にも配慮することが重要になる。

今後の取組の方向性

移動教室、修学旅行は、各小・中学校において実施していく。現地での活動内容などは、各校の実態に合ったものとなるようにする。また、実地踏査において十分な情報収集を行い、安全かつ充実した活動ができるよう、各小・中学校が実施計画を立てる。

（参考資料）

▼移動教室の様子

基本施策2－4	担当課	指導課
健全育成の推進		

施策の方向性
学校は、全ての子どもたちが安心して学び、楽しく学校生活を送ることができる場であることが最も大切です。そのため、教育活動全体を通して、いじめは絶対に許されない行為であることを、子どもたち一人ひとりに徹底して指導し、いじめを生まない、許さない学校・学級づくりを推進するために、いじめの未然防止、早期発見・早期対応等の対策を強化します。また、いじめ問題対策委員会、いじめ問題防止会議において、いじめ問題について協議し、いじめ対策に生かしていきます。 不登校及び不登校傾向にある子どもたちに対し、教育支援室（たまがわ教室、もくせい教室）において、社会的自立に向けた支援を行います。また、不登校等の悩みを抱える子どもたちと保護者への支援に向けて、心理士やスクール・ソーシャル・ワーカー（SSW）の連携を強化し、教育相談体制の充実を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	いじめ問題対策委員会の開催【指導課】	昭島市いじめ防止対策推進基本方針に基づき、7月と12月に委員会を開催した。大学教授、心理士、警察、弁護士から、教育委員会事務局の計画や方針について意見・助言をいただき、昭島市のいじめ未然防止及び対策のためのガイドライン作成に向けた取組を実施した。
2	いじめ問題防止会議の開催【指導課】	昭島市いじめ防止対策推進基本方針に基づき5月、12月、3月に開催し、いじめ防止に係る協議を行った。小・中校長会長や人権擁護委員、PTA関係者、民生児童委員、自治会関係者に参加を依頼し、各担当からの視点で意見をいただき、いじめ問題防止会議だよりの作成を行った。いじめ問題防止会議だよりは学校、地域、保護者に周知し、いじめ防止に関する取組の推進を図った。
3	東京都教育委員会「いじめ総合対策(第3次・子ども版)」の確実な実施【指導課】	中学校の生徒会による「いじめ防止ポスター」の作成 や、児童会・生徒会が交流して具体的実践を話し合う活動を通じ、子どもたちが自らいじめを許さない土壌づくりを推進した。 年3回（7月・11月・2月）の定期的なアンケート調査や教育相談を実施し、学校いじめ対策委員会による組織的な分析・対応を行い、早期発見・早期対応の徹底に努めた。 「いじめ総合対策（第3次・子ども版）」に基づき、すべての各学校・各学年において「子ども版」を活用し、児童・生徒一人一人が自分事として考えることができるよう、学級活動等での啓発を強化した。
4	いじめに関する学校における取組の実施【指導課】	各小・中学校において、「学校いじめ対策委員会」を定期的に開催するとともに、必要に応じて臨時開催することで、いじめの早期発見や早期対応に努めた。また、年3回以上の「いじめに関する研修」、「いじめに関する授業」、「いじめ防止アンケート」を実施し、中学校生徒による「いじめ防止ポスター」の作成では、各学校への配布、自治会掲示板への掲示、ホームページや教育・青少年だより「エール」への掲載などの取組を行った。
5	「SOSの出し方に関する教育」の確実な実施【指導課】	「SOSの出し方に関する教育を推進するための指導資料」（平成30年2月東京都教育委員会）等を活用した「SOSの出し方に関する教育」の授業を、各小・中学校いずれかの学年で実施し、子どもが悩みを抱えたときに助けを求めること等の指導を行った。
6	教育支援室の指導体制と指導内容の充実【指導課】	教育支援室には、小学生17名、中学生16名が通室した。通室児童・生徒に対して、個別指導や小集団指導を継続的に行い、学校復帰及び上級学校への進学、社会的自立を目指した。
7	教育相談体制の充実【指導課】	心理士やスクールソーシャルワーカーを教育福祉総合センターに配置し、学校巡回や家庭訪問する中で、学校及び家庭に対して、丁寧な相談業務を行うことができた。また、地域から相談に関しては、来所だけではなく、電話やメールでも対応することで、相談者の希望に応じた相談方法で応対することができた。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている	教育委員会事務局のいじめ防止対策に関する計画や昭島市いじめ防止対策推進基本方針についての意見、助言を受け、ガイドライン作成に至ったため。また、いじめ問題防止会議では、地域や保護者の意見を取り入れたいじめ問題防止だよりを作成することで、取組を推進できたため。学校においては、「いじめ総合対策(子ども版)を、児童・生徒の実態に応じて活用することができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

児童・生徒が安心して学校生活を送ることができるようにするために、各校でのいじめの未然防止において、保護者や地域との連携推進及び相談体制のよりよい充実が欠かせない。
また、発達支持的生徒指導による各教科の生活指導を充実させ、児童・生徒の教育活動を実りあるものとする。

今後の取組の方向性

いじめ、不登校の対応について、家庭を含む関係機関と、より一層の連携を図り、取組を推進していく。校内別室指導や教育支援室が不登校児童・生徒にとって安心できる居場所となり、学校復帰や自立につながるよう随時環境や指導内容を見直していく。

＊発達支持的生徒指導

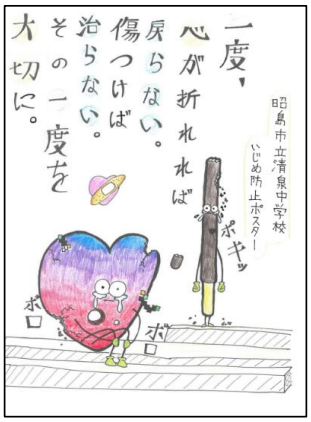
全ての児童・生徒を対象に、学校の教育目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導。児童・生徒への挨拶、声かけ、励まし、称賛、対話、授業や行事を等を通した個と集団への働きかけなど。

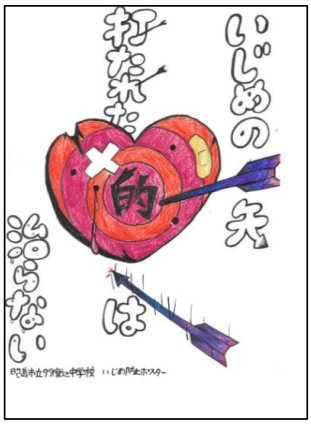
（参考資料）

▼教育支援室児童・生徒在籍状況(令和7年3月末)

区分	小学校	中学校	合計
人数	17	16	33

▼いじめ防止ポスター（教育・青少年だより「エール」15号より）





▼教育支援室のご案内（一部抜粋）

Q 教育支援室とは、どのような教室ですか？

市内に在学している小・中学生で、学校に行けずに悩んでいる児童・生徒の登校や社会的自立を支援する教室です。

Q 教育支援室は、どこにあるのですか？

小学生を対象とする「たまがわ教室」及び中学生を対象とする「もくせい教室」は教育福祉総合センター（アキシマエンシス）校舎棟2階にあります。

教育支援室入室までの流れ

相 談
（各学校・教育支援室・指導課特別支援教育係）
↓
面 談（入室相談）・見 学
↓
体 験 入 室
↓
入室申請書提出 ※学校にご提出ください
↓
入 室 協 議 ※指導課内で協議し入室を決定。
教育支援室が今後の対応を決定。
↓
入室のお知らせ ※教育委員会から入室許可を保護者に通知します
↓
通 室 開 始

詳細は、各学校、教育支援室または指導課特別支援教育係にお問い合わせください。

昭島市教育相談室		☎ 519－2290
教育支援室		
・たまがわ教室	つつじが丘	☎ 543－1935
・もくせい教室	3－3－15	☎ 544－2917
指導課		
特別支援教育係		☎ 519－2290

基本施策2　豊かな心の醸成

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ	自己評価	該当頁
1 人権教育の推進	B	26
2 道徳教育の充実	A	27
3 体験活動の充実	A	28
4 健全育成の推進	A	29,30,31

政策指標

		令和3年度（策定時）	令和6年度	令和7年度	令和8年度目標値
困ったことがあったら、相談してみようと思う大人がいると回答した児童・生徒の割合（昭島市立学校の児童・生徒アンケート）	小学校	86.0%	91.0%	90.0%	90.0%
	中学校	79.0%	86.0%	88.0%	85.0%

外部評価員の評価と意見	外部評価員	工藤 文三

外部評価員の評価

5	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 4 … 施策は順調に推進されている。 3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 1 … 施策の推進に全く至っていない。

外部評価員の意見

基本施策2−1　人権教育に関わる研修の開催や人権教育の理解促進を図る取組、人権パネル展・人権標語等の取組が、児童・生徒の人権尊重の意義の理解を深め、人権尊重の精神のかん養に寄与していることがうかがえる。自他を尊重する心情や態度の育成、人権感覚の醸成を通して、人権が尊重される場としての学校環境を目指した取組の一層の充実を期待したい。

基本施策2−2「考え、議論する道徳」への転換に向け、公開授業や道徳教育推進教師を中心とした研修が実施され、指導方法の工夫・改善が進められている。今後は、道徳的価値に関わる問題解決的な学習や体験的な学習、児童・生徒の主体的な学習など、指導方法の工夫・改善が望まれる。

基本施策2−3　移動教室や修学旅行での体験的な活動、生産体験の活動などが実施されている。小・中学校を通じて豊かな体験活動を積み重ねていくことは、児童・生徒の感性を豊かにし、事象への興味・関心を引き出し、社会性や協調性、規範意識の醸成にもつながることが期待される。引き続き、これらの豊かな体験活動が継続されていくことを期待したい。

基本施策2−4　昭島市いじめ防止対策推進基本方針の下、いじめの未然防止、早期発見、早期対応が徹底して行われるよう、必要な体制整備と取組が実施されている。不登校及び不登校傾向にある児童・生徒に対する教育支援や保護者との連携等も進められている。いじめを生まない、いじめを許さない学校づくり、学級づくりに向けた取組の継続を期待したい。

基本施策3　健やかな体の育成

基本施策3－1	担当課	指導課、教育総務課
体力向上の推進		

施策の方向性

子どもたち一人ひとりが健やかな体をつくり、健康で安全な生活を送ることができるよう、学校・家庭・地域が連携した体力向上策を推進します。
各学校では、東京都の「アクティブプランto2020（総合的な子どもの基礎体力向上方策（第3次推進計画））」に基づき、体力向上に関わる目標や、具体的な取組内容を定めた体育・健康に関する全体計画を策定し、計画的に体力の向上を図ります。
また、体育・健康に関する指導を、学校の教育活動全体を通じて適切に行うことにより、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努めます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	グッドモーニング60分の取組【指導課】	各学校で、長期休業日明けにグッドモーニング60分の内容を踏まえた指導を行い、生活リズムを整える指導を行った。また、元気アップガイドブックのデジタル化に伴い、動きを確認しやすい関連動画を作成し、児童・生徒が本ガイドブックを活用しやすくなった。
2	部活動指導員、部活動指導補助員の充実【指導課】	部活動指導員、部活動補助指導員の配置により、生徒の部活動への意欲と技術力の向上を図った。また、指導員の配置が、教員の業務負担の軽減と働き方改革の推進につながった。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	各学校の体力向上の取組や、実証プログラムの実施など中学校部活動の地域展開等の取組により、児童・生徒の主体的な活動の推進と体力向上に対する意識を高めることができたため。

主な課題

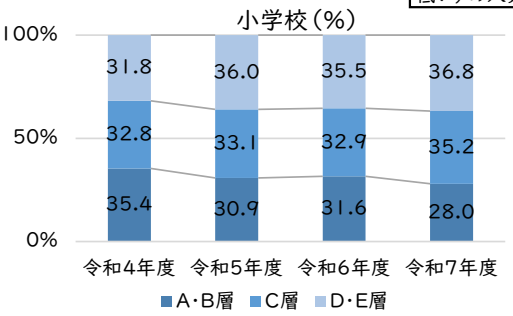
市の体力調査の結果は、小学校・中学校全国平均、都平均よりも低い結果であった。「元気アップガイドブック」デジタル版が令和8年度より活用可能となることで、授業や家庭での取組の充実が図られる。「運動やスポーツをすることが好き」という割合を維持するための工夫も必要となる。学校と地域との連携・協働により、部活動の改革に取り組み、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しめるよう環境整備についても急務である。

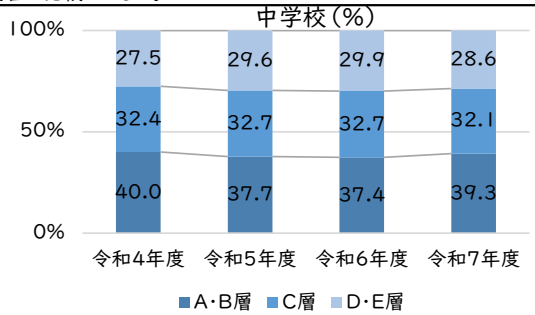
今後の取組の方向性

体力調査の結果を踏まえ、体力向上を図る取組を計画的に実施するとともに、引き続き「運動やスポーツをすることが好き」という児童・生徒を増やす。各学校で中学校部活動については、「昭島市立中学校に係る運動部活動の方針」に基づき、部活動地域展開等を進めていく。また、部活動指導員及び部活動指導補助員を活用して、技術指導の充実を図り、教員の長時間勤務軽減を目指していく。

（参考資料）
体力総合評価（段階別）の経年変化

※下記のグラフは、各種目の個人の記録に応じて1～10点で評価し、合計得点の総合評価を、年齢に応じた一定の得点で5段階に分類したA層(合計得点が高い)からE層（合計得点が低い）の人数の割合を比較したもの。





▼東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査の結果について（体力調査）

調査対象：小学校全学年及び中学校全学年　　実施日：令和7年5月

体格及び体力・運動能力調査結果平均値（昭島市）

	性別	学年①	学年②	人数	身長（cm）	体重（kg）	握力（kg）	上体起こし（回）	長座体前屈（cm）	反復横とび（回）	持久走（秒）	シャトルラン（回）	５０M走（秒）	立ち幅とび（cm）	ボール投げ（m）	体力合計点	児童・生徒の増加量（市）	総合評価基準の増加量（都）
小学校	男子	1	1	502	116.7	21.3	8.7	10.7	27.2	23.9	－	14.9	11.8	109.4	7.1	27.8	－	－
		2	1（R6）	442	116.6	21.4	8.9	10.9	29.0	24.6	－	14.4	11.8	110.7	7.7	28.8	+5.6	+7.0
			2（R7）	448	122.6	23.7	9.9	13.3	27.9	27.5	－	22.3	10.8	119.8	10.6	34.4		
		3	2（R6）	447	122.6	24.4	10.5	13.8	28.7	28.5	－	22.7	11.0	118.5	10.3	34.8	+5.9	+5.0
			3（R7）	453	128.2	27.2	11.9	15.2	30.6	31.6	－	30.4	10.3	129.0	13.5	40.7		
		4	3（R6）	460	128.1	27.4	12.3	15.9	30.0	31.4	－	31.8	10.3	129.1	13.5	41.0	+6.9	+6.0
			4（R7）	460	133.8	30.2	13.9	18.7	33.1	36.2	－	38.7	9.7	139.0	17.2	47.9		
		5	4（R6）	457	133.5	30.9	14.0	18.1	32.3	36.0	－	38.4	9.8	140.3	16.8	47.1	+5.5	+5.0
			5（R7）	463	139.2	34.3	15.6	20.3	33.7	39.9	－	45.4	9.4	148.7	19.8	52.6		
		6	5（R6）	494	139.3	34.7	16.4	19.7	36.2	38.7	－	44.3	9.4	148.7	20.5	52.5	+5.8	+5.0
			6（R7）	484	145.9	38.8	18.8	21.9	36.8	42.4	－	50.9	8.9	162.5	24.1	58.3		
	女子	1	1	425	115.2	20.7	8.1	10.6	29.6	23.3	－	12.1	12.1	103.0	5.1	27.8	－	－
		2	1（R6）	419	116.1	21.0	8.6	11.2	32.1	24.0	－	12.8	12.1	104.8	5.3	29.4	+5.1	+7.0
			2（R7）	412	122.1	23.5	9.3	13.4	30.5	26.7	－	17.7	11.1	111.8	6.8	34.5		
		3	2（R6）	480	121.8	23.5	9.9	13.2	32.6	27.2	－	17.9	11.2	110.5	6.8	35.4	+5.9	+5.0
			3（R7）	475	127.6	26.6	11.3	14.9	34.4	30.3	－	22.9	10.6	120.8	8.6	41.3		
		4	3（R6）	467	127.9	27.4	11.8	15.3	34.5	28.9	－	22.9	10.6	121.9	8.5	41.5	+6.2	+6.0
			4（R7）	476	133.8	30.2	13.4	17.5	36.6	33.6	－	27.1	10.1	131.8	10.6	47.7		
		5	4（R6）	488	134.1	30.1	13.4	17.2	37.3	34.2	－	27.9	10.1	133.2	10.8	48.2	+5.3	+5.0
			5（R7）	491	140.9	34.0	15.4	18.8	39.3	37.3	－	32.9	9.7	142.7	12.6	53.5		
		6	5（R6）	445	141.1	35.0	16.1	19.0	41.5	37.1	－	33.0	9.8	141.6	12.2	53.6	+4.1	+5.0
			6（R7）	437	147.7	39.6	18.6	20.3	43.2	39.0	－	35.8	9.3	150.6	13.7	57.7		
中学校	男子	1	1	401	153.4	44.3	23.8	23.1	40.8	47.2	469.9	64.0	8.6	180.3	17.0	32.9	－	－
		2	1（R6）	386	156.9	46.4	23.8	22.8	40.2	47.2	479.4	59.2	8.7	173.2	17.4	32.2	+7.6	+5.0
			2（R7）	368	161.9	49.8	28.8	25.6	42.3	50.9	419.9	74.3	8.1	193.2	19.4	39.8		
		3	2（R6）	407	160.0	50.5	28.8	25.6	44.7	51.5	413.8	77.8	8.2	197.1	20.9	40.9	+6.6	+4.0
			3（R7）	373	166.4	53.4	33.3	27.8	48.5	53.4	384.5	87.8	7.5	209.8	22.7	47.5		
	女子	1	1	429	152.6	43.8	21.5	20.9	44.9	43.8	347.2	47.5	9.2	164.9	11.1	42.7	－	－
		2	1（R6）	407	152.7	44.5	21.4	20.1	44.3	44.5	342.3	42.6	9.3	157.5	11.0	40.9	+3.9	+5.0
			2（R7）	398	155.2	46.6	22.9	21.3	46.0	45.2	318.3	47.2	9.1	163.6	11.2	44.8		
		3	2（R6）	390	153.6	47.5	23.4	21.2	45.0	45.1	316.5	44.5	9.2	163.0	12.3	45.0	+2.3	+4.0
			3（R7）	367	156.9	48.8	24.1	21.9	46.6	45.5	312.6	47.9	9.0	165.5	12.9	47.3		

※児童・生徒の増加量（市）は、今年度の学年の体力合計点の数値と前年度の学年の体力合計点の数値を比較して算出した数値。

※総合評価基準の増加量（都）は、総合評価基準表（東京都）C段階（平均的な体力水準）の体力合計点の最低値の数値の差を比較して算出した数値。

※網掛けは、総合評価基準表（東京都）C段階（平均的な体力水準）の最低値の増加量を上回る数値。

「新体力テスト9種目の内容」と「体力合計点」について

種目	内容
握力（kg）	左右各2回ずつ握力計で計測する。
上体起こし(回)	30秒間の腹筋運動によって上半身を起こした数を計測する。
長座体前屈(cm)	壁面に背中をつけて長座の姿勢をとり、高さ24cmの計測物を両親指の腹で押し出し、計測物の移動距離を計測する。
反復横とび(回)	1m幅に引いた3本の線を20秒間でまたぎ越す回数を数える。
持久走（秒）	中学生が対象。20mシャトルランと選択できる。男子1500m、女子1000mで計測する。
シャトルラン（回）	20m幅に引いたラインを往復した回数を記録する。（中学生は持久走との選択ができる。）
50M走（秒）	50m直線セパレートコースを全力疾走する。
立ち幅とび（cm）	両足をそろえて前方に跳躍する。
ボール投げ(m)	2mの円内から前方30度の範囲内にソフトボール1号球(小学生)、ハンドボール2号（中学生）を投げる。
体力合計点	項目別得点表により、記録を採点し、合計したもの。

総合評価基準表（東京都）

	小学生						中学生		
段階	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
A	39以上	47以上	53以上	59以上	65以上	71以上	51以上	57以上	60以上
B	33～38	41～46	46～52	52～58	58～64	63～70	41～50	47～56	51～59
C	27～32	34～40	39～45	45～51	50～57	55～62	32～40	37～46	41～51
D	22～26	27～33	32～38	38～44	42～49	46～54	22～31	27～36	31～40
E	21以下	26以下	31以下	37以下	41以下	45以下	21以下	26以下	30以下

基本施策3－2	担当課	学校給食課、指導課
学校給食・食育の充実		

施策の方向性

子どもの健全な発育のため、地元農家の協力を得て、地場野菜を積極的に活用し、安全・安心な学校給食の提供を行います。
また、学校、家庭及び地域等と連携し、食育を推進します。そして、各学校では、「食に関する全体計画」に基づき、食育リーダーを中心とした指導体制を一層充実するとともに、望ましい食習慣など健康的な生活習慣の形成を促進します。

主な取組【担当課】		取組実績
1	学校給食運営基本計画に基づく学校給食の実施 【学校給食課】	令和7年度も昨年度に引き続き学校給食費の無償化を継続して実施し、また更なる安定的な給食の提供に資するため、学校給食費の改定を行った。 新たな調理場の外構工事を実施し、また、つつじが丘小の調理業務委託により更なる安全・安心な給食の提供に努めた。
2	学校給食を通した食育の推進 【学校給食課、指導課】	学校給食の献立を通じて、旬の野菜や伝統的な食文化の継承のため、郷土料理や和食を積極的に取り入れるとともに、新しい給食のメニューの開発にも取り組んだ。食育リーダー会議の年2回の開催や教員との情報交換、学校との連携を図るため、センター校、親子調理方式の学校については、月に1回、食育推進会議（給食主任会）を開催した。 また、食育シンポジウム、小学生・中学生を対象としたLet's食育クッキング教室、学級訪問では、防災力を高める食育を図り、給食だより、市公式インスタグラムを通じた情報発信を行った。
3	地産地消の推進 【学校給食課】	市立小・中学校の児童・生徒が自分が住む地域の理解を深め、愛着が育めるよう、学校給食において地場産食材を積極的に活用するなかで、地場農家と連携し食に関わる指導を実施した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	安全・安心な給食の提供を実施しながら、献立を工夫することにより、より一層、食育の推進を図った。また、食育リーダー会議の開催などにより、更に指導体制が充実した。

主な課題

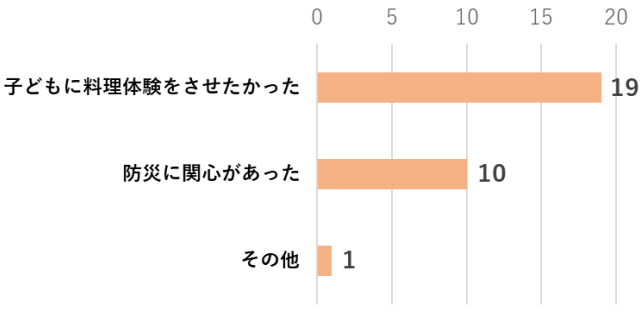
（ア）安全・安心な学校給食の提供について
学校給食の安全性と衛生を確保するため、学校給食衛生管理基準に基づき、さらなる衛生管理体制の確立を徹底するとともに食材選定や調理過程における衛生点検を徹底していく必要がある。また、自校給食校については、調理機器の保守、小学校の給食調理施設の保全改修について計画的な検討をする必要がある。
（イ）食育推進のための連携について
食育を推進するうえで、家庭、学校、地域、生産者との連携をさらに強化する必要がある。

今後の取組の方向性
(ア) 安全・安心な学校給食の提供について 衛生管理に対する意識向上を図り、異物混入や食中毒を防いでいく。食品の選定、納品に係る検収は、より細かく確認することにより、食中毒の防止や安全な食材の調達に努める。さらに、自校給食校の調理機器の保守管理、小学校の給食施設の修繕を計画的に進める。 アレルギー対応給食については、献立の工夫と共に、学校とも緊密な連携を図り、調理中、配膳等において万全な確認体制を構築する。 (イ) 食育推進のための連携について 学校給食を通じた食育を推進するため、家庭・学校・地域が一体となって取り組める体制を整える。また、家庭での食育を推進するため、Let's食育クッキング教室の開催やお弁当の日の取組を家庭に周知し、理解を深めていくとともに、児童・生徒がお弁当づくりを通して、食への関心や食事の大切さなどについて、家庭で考えるきっかけを創出する。 また、地場農産物の生産者と連携し、食に関する概念的な理解が深まるようにする。 調理場の「Let's食育研修室」を活用して、児童向けの見学会だけでなく、様々な取組を企画し、市民に向けた食育の情報発信の拠点とする。

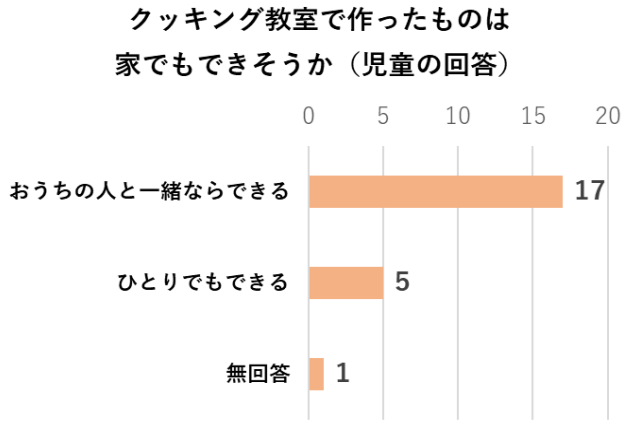
(参考資料)

▼家庭での食育推進(防災力を高める食育)の取組(Let's食育クッキング教室)の様子

▼Let's食育クッキング教室のアンケート



＊複数回答可のため回答件数は延べ３０件



＊児童参加者数　23人

基本施策3－3	担当課	指導課、学務担当、学校給食課
学校保健安全の推進		

施策の方向性

子どもたちの安全・安心の確保や心と身体の健康管理のため、アレルギー疾患対応マニュアルに基づいた対応や、各種健康診断を実施します。
また、子どもたちが自分で自分の身を守れるようにするため、各学校の安全教育全体計画に基づき、家庭や地域と連携して、生活安全、災害安全及び交通安全の3領域について計画的な指導を行います。
また、新型コロナウイルス感染症への対応を教訓として、感染症に対する正しい理解と予防対策を身に付け、感染症のまん延防止に努めます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	アレルギー疾患対応マニュアルに基づいた対応の充実【学校給食課、指導課、学務担当】	小・中学校の全教職員を対象として、動画配信によるアレルギー対応研修会を実施した。 アレルギー疾患対応マニュアルに基づき、共同調理場のアレルギー対応給食専用調理室から全小・中学校への提供を行った。また、アレルギー対応給食の提供方法についての資料を作成し、学校に向けて周知を行った。
2	薬物乱用防止教室の実施【指導課】	小・中学校全校で、学校薬剤師等を活用した薬物乱用防止教室を実施した。薬物乱用の危害に対する正しい知識の普及・啓発を推進し、薬物の正しい活用の仕方について指導した。
3	がん教育の取組の推進【指導課】	中学校全校で、外部講師を活用したがん教育を実施した。派遣講師は、医師や保健師などであり、実施形態は、直接講演だけでなく、外部講師の講義ビデオを活用して取り組んだ学校もある。小学校においても、医師を招へいしてがん教育を取り組んだ学校もある。
4	セーフティ教室の実施【指導課】	小・中学校全校でセーフティ教室を実施し、各学年の児童・生徒の実態に応じて、交通安全、不審者対応、SNSの安全な使い方などについて、外部講師と連携した取組を実施した。さらに、多摩川浸水危険地域の学校については、高台へ避難する訓練も実施した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	各学校において、児童・生徒の実態に応じた取組を実施することができため。また、必要に応じて関係機関との連携推進を図ることができたため。通学路防犯カメラの更新、増設により、更なる安全確保に努めたため。

主な課題

外部講師を招いて活動を行うなどの工夫が図られているが、児童・生徒が取組内容を自分事として捉え、課題解決のために主体的に考えたり話し合ったりする活動の充実について、更に工夫する必要がある。

今後の取組の方向性

外部講師との打ち合わせ等を密に行い、学習活動の充実を図り、学習内容について適切な知識を身に付けることができるようにする。

（参考資料）　▼健康課によるがん教育

基本施策3　健やかな体の育成

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ	自己評価	該当頁
1 体力向上の推進	A	33,34
2 学校給食・食育の充実	A	35,36
3 学校保健安全の推進	A	37

政策指標

		令和3年度（策定時）	令和6年度	令和7年度	令和8年度目標値
運動やスポーツをすることが好きであると回答した児童・生徒の割合（東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣調査）	小学校	90.5%	92.4%	91.8	92.0%
	中学校	81.8%	83.4%	86.0	83.0%

外部評価員の評価と意見	外部評価員	工藤 文三

外部評価員の評価

5	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 4 … 施策は順調に推進されている。 3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 1 … 施策の推進に全く至っていない。

外部評価員の意見

基本施策3−1　令和7年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」から、家庭での起床時間について、児童・生徒と保護者の回答にやや違いがみられる。今後は「グッドモーニング60分」の取組をさらに生かし、家庭との連携を図りながら望ましい生活習慣の定着に向けた取組を期待したい。また、市の体力調査などの結果を踏まえ、体育等の授業における指導方法の工夫・改善等を進めるとともに、日常的に体を動かすことや運動が好きな児童・生徒を育むことに努めていきたい。なお、スマートフォンやタブレットの長時間の使用は、視力の低下のみならず体を動かす機会の減少につながることについても注意を喚起したい。

基本施策3−2　安全・安心な学校給食の推進に向けた取組をはじめ、学校給食の献立の工夫、家庭と連携した食育の推進、地産地消の推進などが着実に進められている。引き続きそれぞれの取組が、より充実したものとなることを期待したい。

基本施策3−3　学校保健安全の推進については、学校として求められる基礎的な取組と同時に、具体的な課題に対応した取組が実施されている。アレルギー疾患への対応や薬物乱用防止教室、がん教育の取組、セーフティ教室の開催など、関係機関等とも連携しながら着実に取組が進められた。今後も、これらの取組を継続・発展させていくことが期待される。

基本施策4　輝く未来に向かって

基本施策4－1	担当課	指導課
幼・保・小・中が連携した教育の充実		

施策の方向性

幼児教育と小学校教育との円滑な接続を行うために、各学校では「昭島市スタートカリキュラム　スタートブック」に基づく取組を実施します。幼保小連携推進協議会では、幼稚園、保育所等や小学校の教職員が集まり、相互に連携し、子どもたちが円滑な小学校生活をスタートできるよう情報共有を行います。
また、義務教育9年間を通して、子どもたちに系統的、継続的な指導を行うため、中学校の学区ごとに小中連携教育を推進します。各中学校区では、年3回小・中連携の日を設定し、生活指導の各学校の状況について情報共有を行ったり、児童会と生徒会が交流を行ったりすることで、取組内容の統一化を図っていきます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	「昭島市スタートカリキュラム スタートブック」に基づく取組の実施【指導課】	各小学校でスタートカリキュラムの実践を継続し、第1学年の入学当初に児童が円滑にスタートできる学習を計画的に実施することができた。 幼稚園、保育所は、アプローチカリキュラムをもとに、教育又は保育の実践していることを各校に周知することで、スタートカリキュラムの取組の充実につなげた。
2	幼保小連携推進協議会の開催【指導課】	年3回の幼保小連携推進協議会において、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校で相互の施設見学等の交流及び市内全体で情報共有をする「情報交換会」を、教育委員会と子ども育成支援課で共催で実施し、関係教職員の交流を図り、連携推進を図った。幼稚園教諭、保育士と小学校教諭との連携の機会を、年2回実施し連携を深めた。
3	小中連携教育の推進【指導課】	6つの中学校区ごとに、年3回以上小中連携日を設定し、教員同士や児童・生徒同士の交流を行い、小学校と中学校の連携を推進した。清泉中学校区においては、児童会・生徒会が連携し、夏季休業期間中に交流会を行った。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	各学校でスタートカリキュラムによる計画的な指導が実施できたため。また、幼保小の施設を実際に見学するだけでなく、教員保育士が対面で、具体的な事柄に対して情報交換する機会を設けることができたため。小中の連携についても継続して実施できたため。

主な課題

4～6月の入学時期に幼稚園・保育所の教員・保育士が、小学校で新1年生の学習の様子を参観した。また、1～3月に小学校の教員が幼稚園・保育所等で5歳児の様子を見学した。見学を踏まえ、各学校・各園でスタートカリキュラム、アプローチカリキュラムの更なる充実を図る必要がある。

今後の取組の方向性

「アプローチカリキュラム」を策定し、市内公立小学校に周知した。市内の公立小学校においては、アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの両者を把握し、円滑な就学と指導を行っていく。また、相互の施設見学を継続するとともに、情報交換の充実を図る。小中連携教育の推進では、中学校区の特徴を生かした行事参観や授業体験、部活動体験などを充実させ、小学校と中学校の連携を更に推進していく。

＊スタートカリキュラム・・・　小学校へ入学した子どもが、幼稚園や保育園などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を作り出していくための教育課程。

＊アプローチカリキュラム・・・　就学前の子どもが、小学校での生活を知ることで、入学前の不安解消につなげたり、入学後の円滑な小学校生活への意向を目指した、幼稚園、保育所の教育指針。

（参考資料）

▼昭島市スタートカリキュラムスタートブック（一部抜粋）

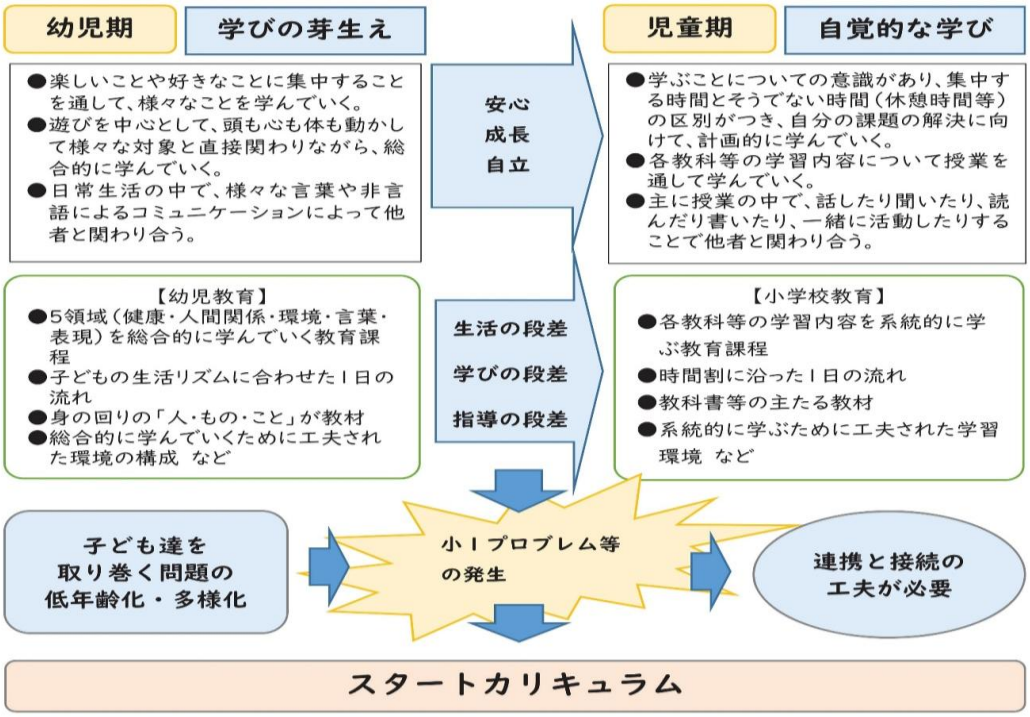
昭島市スタートカリキュラム　スタートブック

～昭島っ子の「学びの芽生え」から「自覚的な学び」をつなぐ～

昭島市教育委員会では、「第2次昭島市教育振興基本計画」に基づき、一人一人の発達や学びを切れ目のないようにつなげ、学びの成果を受け止め、次の段階で一層発展できるように、「昭島市スタートカリキュラム スタートブック」を発行し、小学校段階において円滑にスタートできることを目指した教育を進めています。

Ⅰ　スタートカリキュラムとは

「スタートカリキュラム」とは？
小学校に入学した児童がスムーズに学校生活へ適応していけるように編成した第１学年入学当初のカリキュラムのことです。
入学したばかりの児童に「明日も学校に来たい。」という学校生活に対する意欲と安心感をもたせ、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続をもたらすように、スタートカリキュラムを工夫することが大切です。
入学当初は、「学びの芽生え」から「自覚的な学び」へと連続させることが重要となります。生活科を核として楽しいことや好きなことに没頭する中で生じた驚きや発見を大切にし、学ぶ意欲が高まるように活動を構成することが有効です。



▼幼保小連携推進協議会について

○参加者			
担当幼稚園長	昭島幼稚園　園長	石川　勇	
担当保育園長	昭和保育園　園長	松野　紀代美	
担当校長	光華小学校長	眞砂野　裕	
（事務局）			
子ども育成支援課長、保育所幼稚園係長			
統括指導主事、指導主事			
○議題			
第１回　幼保小の見学について、スタートカリキュラム・アプローチカリキュラムについて			
第2回　幼保小情報交換会の開催について			
第3回　今年度のまとめ及び次年度の取組について			

基本施策4－2	担当課	指導課
日本の伝統・文化に関する教育の充実		

施策の方向性

国際社会で活躍する日本人の育成を図るため、子どもたちの発達段階を踏まえ、各教科等を通じて、日本の伝統・文化、東京都や昭島市の歴史と風土について学ぶ機会の充実を図り、我が国や郷土を愛し、伝統や文化を継承、発展させようとするとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育む教育を推進します。
小学校においては、連合音楽会や連合展覧会を開催し、中学校においては、合唱コンクールを開催し、子どもの豊かな情操を育成します。

主な取組【担当課】		取組実績
1	体験活動を通した伝統・文化に関する教育の推進【指導課】	地域の保存会の協力を得た、無形民俗文化財である「昭島市の屋台行事」への参加や、和楽器体験、茶道体験などの活動を行った。本物に触れる体験を通じ、伝統を継承する人々の思いに触れ、多角的に文化を理解する力を養った。
2	地域との連携による伝統・文化に関する教育の推進【指導課】	中神小では、「熊野神社例大祭」などの地域行事を教育活動に積極的に取り入れた。児童が地域の方々から直接指導を受ける機会を設け、伝統文化の継承者としての自覚を促した。また、総合的な学習の時間や道徳科の授業と連携し、祭りを支える人々の思いに触れることで、郷土愛と豊かな人間性を育んでいる。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	伝統・文化に関する教育や、市主催の各種行事により、児童・生徒の豊かな情操を育むことができたため。学校によっては、取組内容を次の学年が継続して取り組み、より充実した学習となっているため。

主な課題

日本の伝統・文化を体験する機会や世界の文化を知る機会を継続的に設け、多様性の重要性を知る場とする必要がある。また、地域人材の活用や体験活動の機会を増やし、充実した活動を継続させる必要がある。

今後の取組の方向性

小学校音楽会・展覧会においては、芸術を通して地域に広く周知できる機会を継続して設けていく。日本の伝統・文化に関わる体験活動や世界の文化を知る機会を設け、東京都や昭島市などの地域の歴史と文化について、比較検討しながら学ぶ機会を確保できるよう、各学校が小学校6年間、または中学校3年間を見通して、系統的な指導計画を作成するよう引き続き指導・助言し、情操教育を育む。また、地域と連携した取組を継続して実施する。

基本施策4－3	担当課	指導課
学校、家庭、地域・社会との連携・協働		

施策の方向性

社会がますます複雑化、多様化し、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化する中、これからの教育は、これまで以上に家庭、地域・社会と学校との連携・協力の下で進めていくことが不可欠です。
学力の向上には、学校での学習指導とともに、家庭においても基本的な学習習慣、生活習慣を身に付けさせることが重要です。
そのために、学習ドリルや家庭学習のしおりを活用して、家庭での学習習慣の定着を図るとともに、起床から登校までの時間を60分間確保することにより、1日の生活リズムを整える取組を各学校で行い、生活習慣の改善を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	家庭学習の定着 【指導課】	児童・生徒の個別最適な学びに応じて、家庭での学習習慣の定着を図るよう、1人一台タブレット端末を活用した取組を行った。
2	グッドモーニング60分の取組 【指導課】	各学校で、長期休業日明けにグッドモーニング60分の内容を踏まえた指導を行い、生活リズムを整える指導を行った。
3	地域の教育力の活用 【指導課】	市民図書館や地域の企業を活用するなど、地域の人的・物的資源を活用した教育活動を実践した。学校運営協議会委員の協力を得ながら、教育活動を展開することができた。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	学校の特色を生かしながら、家庭と連携した取組や、地域資源を活用した教育活動により、児童・生徒の資質・能力の向上を図ることができたため。また、長期休業日前の保護者会において、学校での学習の振り返りと、家庭での学習のポイントを伝え、次の学期に生かすことができているため。

主な課題

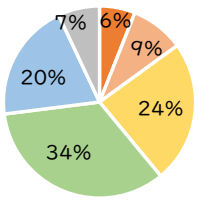
家庭学習の定着を促進させるため、児童・生徒の個々に応じた家庭学習(個別最適な学び)の定着の方策について継続して検討する必要がある。

今後の取組の方向性

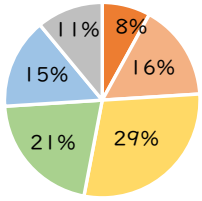
家庭学習に意欲的に取り組むことができるよう、授業などの教育活動において、1人一台タブレット端末の有効活用法を習得させる。その上で、より良い学習習慣を身に付けるられるように、家庭学習の取組を推進させる。

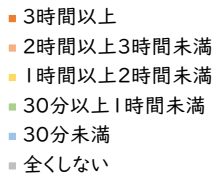
（参考資料）
児童・生徒アンケートの結果　○1日平均何時間勉強していますか。(授業時間はのぞく)

小学校



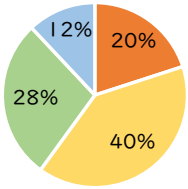
中学校



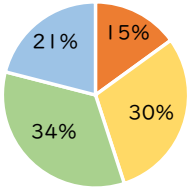


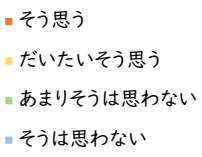
保護者アンケートの結果　○お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていると思いますか。

小学校



中学校





基本施策4-4	担当課	指導課
学校の教育力の向上		

施策の方向性

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と社会で共有し、子どもたちが、社会や世界と関わり合い、たくましく人生を切り拓いていくための資質・能力を育むため、保護者や地域の方々の学校参画を促し、社会に開かれた教育課程を通して学校の教育力の向上を図ります。

教育課程の実施に当たっては、地域資源の活用や社会教育との連携を図り、学校教育その他の学校運営の状況について、自己評価、学校関係者評価を行い、その結果を学校の教育力の向上に生かします。

主な取組【担当課】		取組実績
1	スクールインターンシップ事業の実施 【指導課】	学生が授業の補助や休み時間の児童・生徒との交流、放課後の学習支援などに携わることで、大学での理論を学校現場で実践し、教職への理解を深める貴重な機会となった。その一方、受け入れる学校にとっては、教員のきめ細かな指導体制を補完し、「個に応じた指導」の充実や学力の定着につながった。今年度は、連携協力を希望した小学校5校、中学校2校に配属された。
2	職層に応じた研修や校内研修の実施 【指導課】	職層に応じた研修（4月に新任主幹教諭、新任主任教諭、5月に新任副校長研修）を実施した。また、初任者から3年次教諭を対象に集合研修や授業観察訪問及び指導助言を実施し、授業力の向上等を図った。11年目を超えた教諭を対象に、中堅教諭等資質向上研修を実施し、服務や法規、生活指導など、ミドルリーダーとして必要な資質能力を育成した。
3	持続可能な学校運営の推進 【指導課】	「学校の働き方改革実施プラン」に基づき、学校閉庁日(5日間)や定時退勤時刻の設定、夜間自動応答メッセージ(留守番電話)の活用など、ワーク・ライフ・バランスの実現に努めた。また、スクールロイヤーの拡充、副校長補佐、エデュケーションアシスタント、部活動指導員、部活動指導補助員、スクール・サポート・スタッフ等の配置や通話録音機器の追加などにより、教職員の負担軽減を図った。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	学校経営重点計画や学力調査の意識調査、児童・生徒、保護者アンケート結果により、校内での研修や実践が、教員の指導力向上につながっていると捉えることができたため。 また、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）への全校移行が完了し、学校と地域がより連携できる土台ができたため。

主な課題

探究的な活動実践するためには、地域資源の活用や社会教育との連携が必須であり、地域全体で学校の教育力を向上させていく必要がある。

働き方改革については、外部人材の活用をはじめ、教員の負担軽減を継続して着実に推進させる必要がある。

今後の取組の方向性

地域人材を有効に活用するためには、学校運営協議会(コミュニティ・スクール)委員との連携が欠かせないことから、令和7年度の成果と反省を踏まえ、令和8年度の取組の充実を図る。と同時に、地域学校協働本部設置校については、コミュニティ・スクールとの一体化を図り、学校の教育活動及び地域の取組の一層の推進を図る。

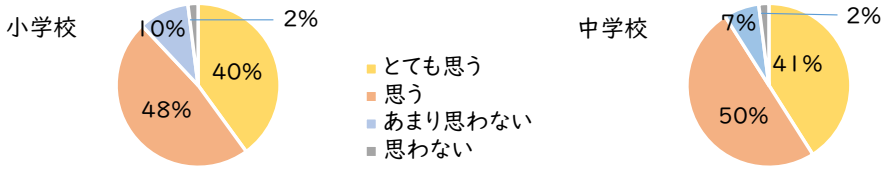
中学校部活動についても、部活動指導員や部活動補助員などの人材育成を進めながら、部活動地域展開等を推進させる。

（参考資料）

▼令和7年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の調査結果
（令和7年昭島市教育委員会第2回定例会　報告事項）

https://www.city.akishima.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/004/258/0702houkoku2.pdf

児童・生徒アンケートの結果　〇これまでの自分の生活を振り返り、よりよくしようと思いますか



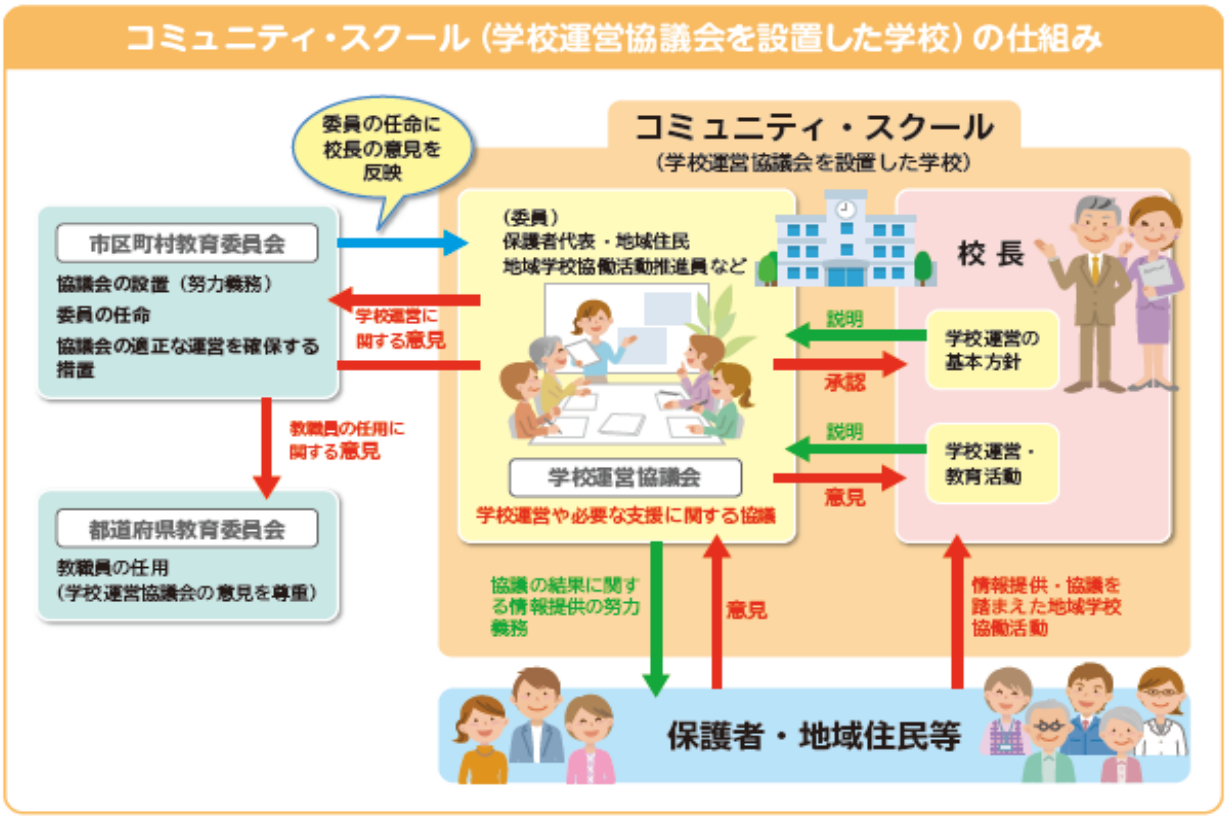
⇒キャリア・パスポート(P.51参照)の活用等を通して学期初めや学期末に各自が目標を立て、学習面や生活面の振り返りを丁寧に行い、それに対して教員が具体的な賞賛や改善に向けた助言を継続的に行ってきたことが、成果として表れている。

▼令和7年度昭島市立学校学校経営重点計画（教育推進計画）年度末評価の結果について
（令和8年昭島市教育委員会第5回定例会　報告事項）

https://www.city.akishima.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/011/817/0805houkoku01.pdf

▼コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、保護者や地域住民等が参画する学校運営協議会を設置し、地域と連携・協働しながら学校運営に取り組む学校です。学校運営協議会は、地域と学校が目標や課題を共有し、「地域とともにある学校づくり」を進めるための仕組みです。



基本施策4-5	担当課	指導課、教育総務課
教育環境の整備		

施策の方向性

子どもたちが安全で快適に学校生活を送り、効果的な学習活動ができるように施設や設備、教材の維持・整備を計画的に行います。
また、国のGIGAスクール構想の実現のため、学校におけるICT機器の整備や情報通信ネットワーク環境のさらなる充実を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	学校施設の大規模改修工事の計画的実施 【教育総務課】	拝島一小及び福島中での便所洋式化改修及び富士見丘小、玉川小、中神小、拝島第三小、拝島中の便所の全面改修、共成小での空調更新などの工事を実施した。
2	校内防犯体制の整備 【教育総務課】	市内小中学校の防犯カメラ設備一式の更新及びIP電話網に対応した非常通報装置の更新作業を実施した。
3	学校ICTの整備 【教育総務課】	GIGAスクール構想第1期に導入した一人1台端末について、導入から5年が経過したことから、全児童・生徒分の更新を行った。(予備機及び教員機を含め9,895台リース)
4	水泳指導の民間企業の活用 【指導課、教育総務課】	武蔵野小、つつじが丘小、光華小、拝島第三小の4校について、民間屋内プール施設及び施設所属の専門指導員を活用した水泳授業を試行実施した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	予定していた事業は全て無事完了することができ、安全で快適な教育環境の維持・整備を行えたため。

主な課題

(ア)学校施設の大規模改修工事の計画的実施
多くの学校施設が建築後60年を迎えることから、大規模改修工事にとどまらず校舎等の建て替えの具体的な計画策定が必要。
(イ)学校ICTの整備
GIGAスクール構想第2期を見据え、一人1台端末の更新を行い、今ある環境を最大限に生かした一人1台端末の活用を推進していく必要がある。
(ウ)水泳指導の民間企業の活用
学校における水泳授業は、天候不順や熱中症予防などにより、計画的な実施が困難となっているため、武蔵野小、つつじが丘小、光華小、拝島第三小で試行実施した本事業を継続して評価・検証していく。

今後の取組の方向性

(ア)学校施設の大規模改修工事の計画的実施
令和5・6年度で実施した建物耐力度調査の結果を踏まえ、校舎等の更新時期の順番等、具体的な計画を策定する。
(イ)学校ICTの整備
安定したネットワーク環境を維持するため、校内ネットワークの運用保守を行う。また都が主導する、統合型校務支援システムの共同調達に向け、必要となるネットワーク環境の検討・準備を進めていく。
(ウ)水泳指導の民間企業の活用
本事業を継続して実施するとともに、小規模校において2学年での指導等の検証を行う。

＊GIGAスクール構想第2期・・・　　第1期で導入した端末の更新に加え、第1期で発覚した問題点の対応や高速大容量の通信ネットワークの整備をさらに発展させるフェーズのこと

（参考資料）

▼中神小便所全面改修工事（洋式化）

▼中神小便所全面改修工事（水飲み場）

▼共成小空調工事（屋外）

▼共成小空調工事（屋内）

基本施策4-6	担当課	指導課、教育総務課
情報教育の推進		

施策の方向性

スマートフォンなどの情報通信技術の向上によるSNSの普及や、人工知能（AI）の急速な技術革新により、人々のライフスタイルや価値観の大きな変化に対応した教育や学習機会を提供することが必要です。
また、平成29（2017）年に告示された学習指導要領においては、初めて「情報活用能力」を学習の基盤となる資質・能力として位置付け、教科等横断的にその育成を図り、必要なICT環境を整え、適切に活用した学習活動の充実を図ることが示されました。
これらを踏まえ、各学校では、GIGAスクール構想による一人1台のタブレット端末の活用により、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された学び の実現を目指します。
また、タブレット端末や図書館を利用した学習を通して、子どもたちの情報活用能力や情報モラルについての指導を推進します。

主な取組【担当課】		取組実績
1	タブレット端末の活用の推進 【指導課】	教務主任会において、「デジタルを活用したこれからの学び」の一環として、各学校においてICTを効果的に活用した授業実践を行った。すべての学校の実践について、教務主任会で共有し、情報交換を行った。各校の実践については、市内教員に展開し、自身の授業力向上の一助にするよう促した。
2	教員研修の充実 【指導課】	教務主任会において、東京学芸大学教職大学院准教授 原口 るみ氏を講師招へいし、探究的な学びを深める工夫について教授いただいた。児童生徒が課題を解決しながら、次への探究へつなげて行くことができるようなファシリテートを、教員に求めていくようにする。
3	情報モラル教育の推進 【指導課】	教務主任会や生活指導主任会において、小・中学校全校で「GIGAワークブックとうきょう」を継続して活用し、情報モラル教育の指導を行った。また、セーフティー教室において、事業者を講師として招へいし、情報モラル教育を実施した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	教務主任会を中心に、小・中学校全校において、教育活動におけるタブレット端末の効果的な活用（デジタルを活用したこれからの学び）を推進したため。

主な課題

授業におけるタブレット端末の活用について、教務主任会で情報交換した各学校の取組を推進させる必要がある。どの学校のどの授業でも、ICT機器を効果的に活用できるように、継続的な情報発信が必須である。

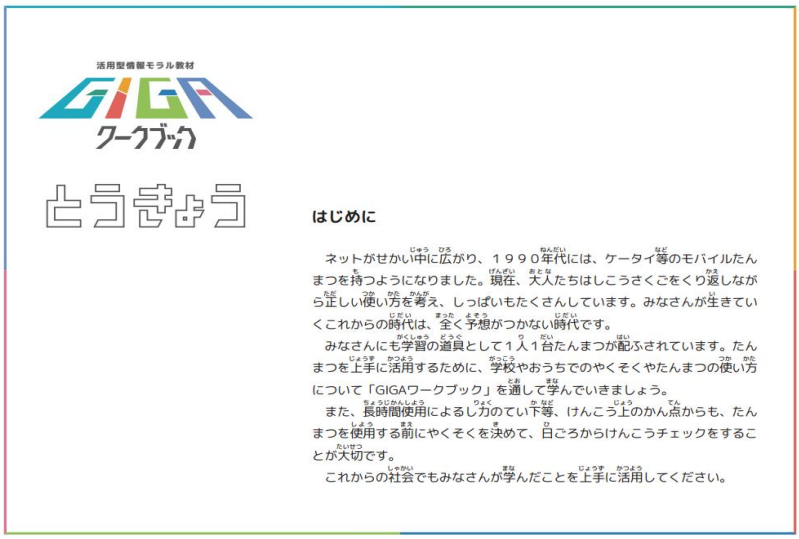
今後の取組の方向性

タブレット端末を効果的に活用し、児童・生徒が主体的に考え、話し合い、実践につなげていけるよう指導の改善をより一層図っていく。また、WEBQUなど、デジタルを活用した取組の推進を図る。

＊WEBQU　（https://manabipocket.ed-cl.com/feature/webqu/）
教員が児童生徒の状態を多角的に知ることができるアンケートツールのこと。構成は、いじめ、不登校、やる気、ソーシャルスキル、部活動、アクティブラーニング、学習意欲の項目で、個人とクラスの状態をアクティブに可視化して表示される。アンケートはweb上で行われる。

（参考資料）
▼GIGAワークブックとうきょう（東京都教育委員会発行のデジタル教材）
https://infoedu.metro.tokyo.lg.jp/snsnote.html

▼「GIGAワークブックとうきょう」教材例



基本施策4-7	担当課	指導課、教育総務課
環境教育の推進		

施策の方向性
自然に親しみ、自然を大切にする心を育成するとともに、地球環境の保全について考え、行動できる教育を推進します。また、学校・家庭・地域の連携・支援体制を確立し、環境教育のより一層の充実を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	持続可能な社会づくりに向けた教育の推進【指導課】	各教科や総合的な学習の時間など、教育活動全体を通してSDGsの視点を考慮した取組を継続して実践した。清泉中学校においては、総合的な学習の時間のテーマをSDG'Sとし、すべての学年でこのテーマに絡んだ取組を実践した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	全ての教育活動において、昭島市の自然を生かした環境教育の実践を図ることができたため。一部に学校において、水についての学習の際に、水道部と連携した学習の推進が図られたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題
グローバルな視点にたった環境教育を実施する中で、地元の自然環境を知り、児童・生徒が試行錯誤しながらも自分自身で取り組むことができるよう情報提供し、持続可能な取組の実践につなげる必要がある。

今後の取組の方向性
教科や総合的な学習の時間等を活用し、児童・生徒が自らの問題として捉えることができるような指導の工夫を継続して行う。さらに、カーボンニュートラル社会の実現に向けて、地域と一体となって実践できる取組を検討していく。

基本施策4-8	担当課	指導課、教育総務課
国際理解教育の推進		

施策の方向性

グローバル化が進展する中で、子どもたちが広い視野をもち、外国の言語や文化について理解を深め、世界の人々と協調しながら生きていく態度を身に付けることを目指し、国際理解教育を推進します。
また、国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる基礎的な力を育てるために、小・中学校において外国語によるコミュニケーション能力の育成を図ります。

主な取組【担当課】		取組実績
1	実用英語技能検定の受検機会の確保 【指導課】	中学校第3学年を対象として、各中学校で実用英語技能検定を実施した。事後に生徒を対象としたアンケートを行い、課題や今後の方向性を明確にした。
2	英語村を活用した実践的活動の充実 【指導課】	小学校第6学年及び中学校第2学年を対象として、英語村（TGG）の施設を活用した体験活動を実施した。また、実施後、児童・生徒対象のアンケートを行い、成果と課題を分析した。
3	平和教育の充実 【指導課】	社会科において、社会の平和の在り方を考えることで、世界各国を知る機会を設けた。2学期に「原爆と人間展」を市内中学校に巡回し、生徒が閲覧できるようにパネルを展示した。広島市長の平和宣言についても、日本語版と英語版を全生徒に配布した。

自己評価		評価理由
A	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	英語村の活用により、英語による積極的なコミュニケーション意欲の向上を図ることができたため。また、英語に関する有用性の意識の向上が、実用英語技能検定等を通して図られたため。

主な課題

英語村体験や実用英語技能検定受験時の児童・生徒の英語に対する学習意欲を持続させ、普段の学習活動に結び付けるために、各学校が授業改善等により工夫した取組を行う必要がある。

今後の取組の方向性

英語村での体験活動や実用英語技能検定を、継続して実施する。中学生海外交流事業は、オンライン交流を視野に入れながら検討する。
英語スピーチコンテストについては、応募者の確保について検討し、作品の質の維持に努める。
平和教育については、教科等の学習を中心に、「原爆と人間展」の実施や中学校人権パネルの巡回展示、外部講師を招いた講演等を今後も活用し推進する。

（参考資料）
▼公費負担により実用英語技能検定を受験した人数

級	1級	準1級	2級	準2級 準2級プラス※	3級	4級	5級	合計
令和7年度	1	2	11	130※	395	157	93	789
令和6年度	2	3	32	123	387	154	134	835
令和5年度		4	33	134	432	140	92	835

※準2級プラス…令和7年度に新設　令和7年度は準2級と準2級プラスの合算

基本施策4-9	担当課	指導課、各課
キャリア教育の推進		

施策の方向性

社会環境がめまぐるしく変化する中で、子どもたちが希望をもって自立的に自分の未来を切り拓いていくためには、社会の変化に対応していく力や態度、望ましい勤労観・職業観を育てていくことが重要です。
各学校では、「キャリア教育 全体計画」に基づき、計画的にキャリア教育を推進し、子どもたちが将来への夢をもてるようにするとともに、望ましい勤労観・職業観を育成します。
中学校では職場体験を引き続き実施し、子どもに働くことの意義について理解を深めさせます。

主な取組【担当課】		取組実績
1	職場体験の充実 【指導課】	中学校全校が多様な事業所を確保し、3日間の職場体験を実施した。
2	キャリア・パスポートの活用 【指導課】	各小・中学校において、学年初めや学期末、学校行事後に、学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返ることで、新たな学習や生活への意欲につなげるために、キャリア・パスポートを活用した。また、小学校から中学校、中学校から高等学校へ引継ぎを行った。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	職場体験の中学校全校実施や職業講話の実施により、勤労観・職業観を育成することができたため。また、キャリア・パスポートの小中の連携した活用について、教務主任会において情報交換するなど、活用内容の把握をすることができたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

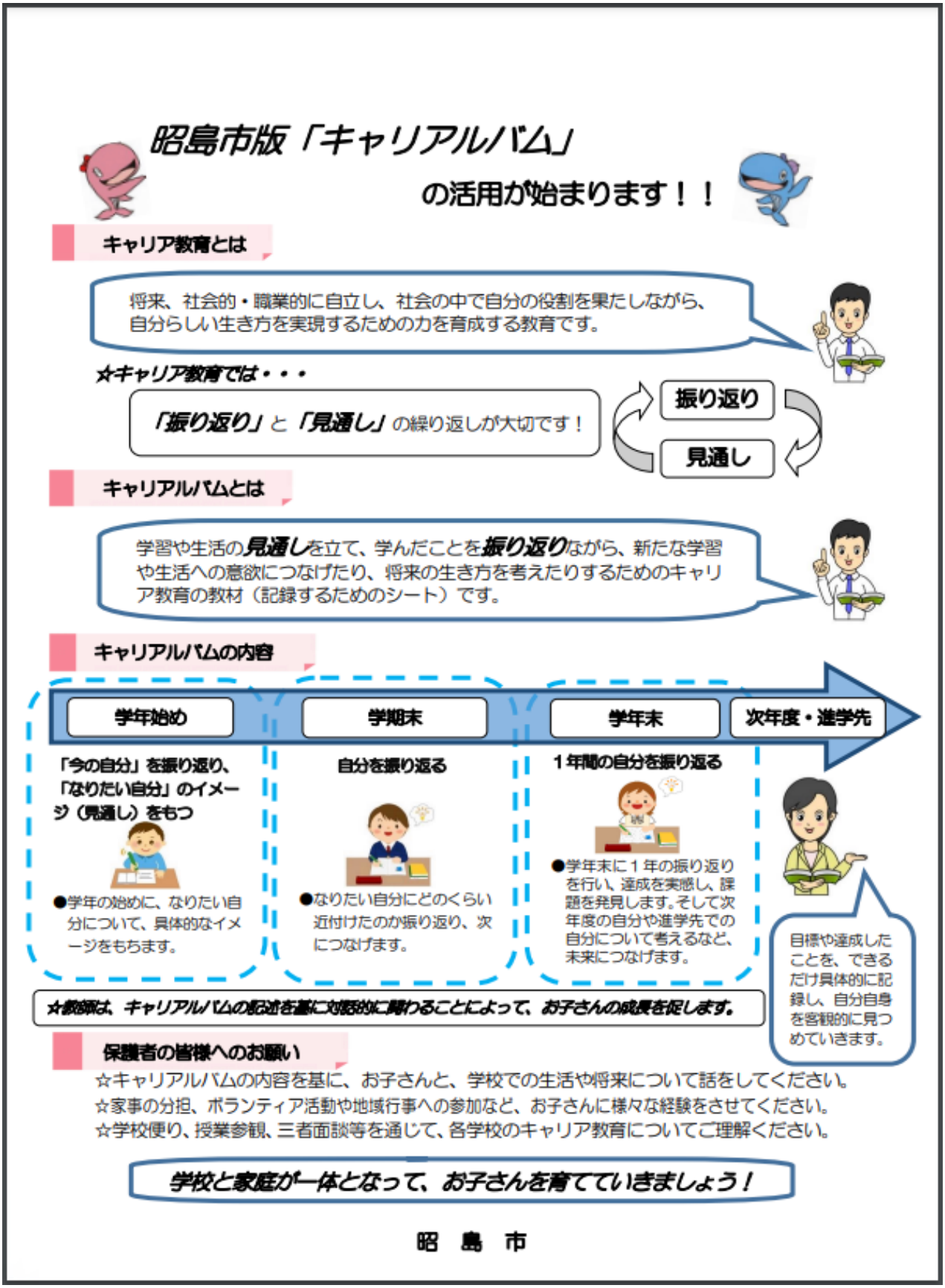
小中9年間を見通したキャリア教育の実践が必要である。昭島市版キャリアルバム（キャリア・パスポート）の活用充実を図り、児童・生徒の進路指導に役立てる必要がある。

今後の取組の方向性

地元の企業や市役所の各課に働きかけるなど、コミュニティスクールを生かし、職場体験時の事業所の確保・拡大を行う。また、職業観や勤労観を学ぶための講師として、地域の方々を招へいし、児童・生徒のキャリア教育を推進する。

（参考資料）

▼キャリアルバム



▼キャリア・パスポート

6学年　学年始め

今の自分

名前

☆今の自分を書いてみよう！

将来の夢
自分の長所
好きなこと
苦手なこと

☆こんな６年生になりたい！

こんな自分になりたい	そのためにやること
学習	
生活	
委員会、クラブ活動、係	
習い事、地域の活動	

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価　まとめ	自己評価	該当頁
１ 幼･保･小･中が連携した教育の充実	A	39,40
２ 日本の伝統･文化に関する教育の充実	A	41
３ 学校、家庭、地域･社会との連携･協働	A	42
４ 学校の教育力の向上	A	43,44
５ 教育環境の整備	A	45,46
６ 情報教育の推進	A	47,48
７ 環境教育の推進	B	49
８ 国際理解教育の推進	A	50
９ キャリア教育の推進	A	51,52

政策指標

		令和3年度（策定時）	令和6年度	令和7年度	令和8年度目標値
自分には、よいところがあると思うと回答した児童･生徒の割合　（全国学力･学習状況調査）	小学校	75.3%	84.5%	84.4%	80.0%
	中学校	79.2%	83.4%	89.8%	80.0%

外部評価員の評価と意見	外部評価員	工藤　文三

外部評価員の評価

5	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 4 … 施策は順調に推進されている。 3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 1 … 施策の推進に全く至っていない。

外部評価員の意見

基本施策4−1　学校間連携の取組の基本は、幼児･児童･生徒の相互交流をはじめ、学校種を越えた教員間の幼児･児童･生徒理解、教育内容･方法等の相互理解にあると考える。また、円滑な接続を促すカリキュラムの実施と学習指導の工夫、連携を促す組織体制も重要である。この点において、連携教育に向けた取組が着実に実施されており、引き続き更なる取組の継続と充実を期待したい。

基本施策4−2　体験活動や地域と連携した伝統･文化に関する教育、小学校の音楽会や展覧会、中学校の合唱コンクールなどが実施され、伝統や文化を大切にし、豊かな情操を育む取組がなされている。今後は、これらの活動が児童･生徒の郷土愛や感性のさらなる育成につながるよう、継続的な推進が望まれる。

基本施策4−4　学校の教育力向上については、学校経営に係る目標−計画−実施−評価−改善のサイクルが確立しており、授業力等の向上を目指す教員研修も計画的に実施されている。「学校の働き方改革」への対応や、教育の充実･支援のためのスタッフ等の配置も進められている。地域人材の活用や地域と連携した学校の教育力の向上については、その具体的な方策をさらに深めていくことを期待したい。

基本施策4−6　生活や社会の変化の中で、情報活用能力の一層の充実が求められている。個別最適な学びや探究的な学びにも生かされるICTの活用の在り方、情報モラル教育の充実など、情報教育を取り巻く状況を踏まえながら、取組の一層の充実を期待したい。

生涯学習の推進

基本施策１　文化芸術活動の促進

施策の方向性

文化芸術は、人々に感動や喜び、精神的安らぎをもたらし、創造性を育むとともに、心豊かな潤いのある生活や、豊かで個性ある地域社会の形成に寄与するものです。それゆえ文化芸術に対する市民の関心と理解を深める必要があります。
そこで、誰もが芸術作品を身近に鑑賞できる機会の充実を図り、文化芸術に係る市民の自主的な活動への支援を行うとともに、文化活動の成果を発表する機会の提供に努めます。
また、昭島市文化芸術推進基本計画に基づき、観光、まちづくり、国際交流、教育、産業、福祉など幅広い分野との連携を図りながら、文化芸術を通して多様な交流を推進します。

基本施策１－１	担当課	市民会館・公民館
文化芸術活動への支援		

主な取組【担当課】		取組実績
１	市民文化祭の実施 【市民会館・公民館】	９月19日から11月３日にかけ演奏、演芸、展示など25部門が参加し実施した。延べ来場者数：9,749人。

自己評価		評価理由
C	A… 施策の方向性以上の成果がでている	10月から空調設備改修工事があり、公民館では展示を９月後半に開催し、市民会館では発表を楽屋等の一部が使用できないなどの制限付きで実施した。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

（ア）来場者について
令和7年度の市民文化祭のチラシを市内に全戸配布し、事業のPRに務めた。ただし、今年は改修工事による休館等のため、開催時期や期間を変更したため、参加団体数も若干少なく、来場者数は昨年度より減少した。
（イ）参加団体数について
参加団体のメンバーの高齢化や、展示は例年より短い期間で実施したため、同日に沢山の部門が出展し、準備など人手の確保が難しい団体も見られた。ただし内容は例年通りの展示や発表が行われ、文化・芸術活動に対する市民の熱意を改めて見ることができた。

今後の取組の方向性

（ア）来場者について
広報あきしま、公民館だより、X（旧ツイッター）、ホームページ、チラシの市内全戸配布等により事業のPRをしている。8年度はアキシマエンシスを会場にして行うため、来場者の方が迷わず参加できるように、日程や会場の周知を様々に工夫して行う。
（イ）参加団体数について
公民館の他に市内の他施設で活動している団体にも積極的に参加を促すとともに、SNSなども利用して参加団体の増加を図る。

（参考資料）

◀@akishima_komin
（昭島市民会館・公民館公式X（旧ツイッター）アカウント）

▲昭島市民文化祭チラシ

▲昭島市民文化祭（写真展）

▲昭島市民文化祭（陶芸展）

▲昭島市民文化祭（美術展）

▲昭島市民文化祭（囲碁大会）

▲昭島市民文化祭（人形劇のつどい）

基本施策Ⅰ－2	担当課	市民会館・公民館
文化芸術に接する機会の充実		

主な取組【担当課】		取組実績
1	文化芸術に関する講座・講演会の実施 【市民会館・公民館】	市民が気軽に音楽に親しむ機会として、小ホールでふれあいコンサート実施した。 ①「デュオ・レア 夏のわくわくコンサート」 参加者数：114人 ②「元気だせ！ LIVE2025 」 参加者数：130人
2	市民会館自主文化事業の充実 【市民会館・公民館】	音楽や劇などの文化事業を通じ、地域文化の向上と市民の交流を図るため、大ホール事業等7、小ホール事業1の計8事業を実施した。（延べ入場者数5,096人） ※下記参考資料参照

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	ふれあいコンサートは毎年2回実施し、事業として浸透している。 自主文化事業においては、工事による休館のため前年度より事業数は減少したものの、子供から大人まで楽しめるコンサートやクラシック、ミュージカル等幅広い分野で実施することができた。

主な課題

（ア）文化芸術に関する講座・講演会の実施について
申込開始から数日で定員を超える程申込がある事業だが、当日の欠席も少なからずあるため、できるかぎりご参加いただく旨をご理解いただいて、多くの方に参加して鑑賞いただけるように工夫する。
（イ）市民会館自主文化事業の充実について
休館により事業数は減少したものの、事業によっては入場者数が当初の想定を大幅に上回る事業もあった。引き続き実施事業の分析を様々な角度で行い、今後も市民のニーズにあった事業を計画・実施していくことが必要である。

今後の取組の方向性

（ア）文化芸術に関する講座・講演会の実施について
令和7年度は市内で活躍する若手の音楽家や、地元を拠点にバンド活動を行う方に演奏してもらった。今後も色々なジャンルの方に演奏していただき、市民の方が気軽に音楽に触れ合う機会の提供を継続する。
（イ）市民会館自主文化事業の充実について
令和8年度も引き続き大ホールの改修工事を実施するため、実施事業数の減少が見込まれるが、市民が必要としている事業を模索しながら、より満足度の高い事業を企画・実施していく。

（参考資料）

▼市民会館自主文化事業（延べ入場者数5,096人）

No.	事業名	開催日時	入場者数	場所
1	劇団四季ファミリーミュージカル「王子と少年」	6月7日	大 人 495人 子ども 190人	大ホール
2	森山良子コンサート2025 Life Is Beautiful	7月19日	942人	大ホール
3	第19回昭和の森音楽祭	9月7日	1,100人	大ホール
4	荒牧陽子&Mr.シャチホコ 歌まね最強スペシャルライブ	9月13日	569人	大ホール
5	東京都交響楽団「SaLaDプレミアムコンサート」	9月25日	820人	大ホール
6	子ども国際交流音楽祭「交流コンサート」（羽村市開催）	2月11日	545人	その他
7	子ども国際交流音楽祭「昭島市交流コンサート」	2月14日	325人	その他
8	昭島夕涼み寄席	8月2日	110人	小ホール

▼劇団四季ファミリーミュージカル「王子と少年」

▼子ども国際交流音楽祭「昭島市交流コンサート」

基本施策Ⅰ－3	担当課	企画政策課、社会教育課、アキシマエンシス管理課、市民会館・公民館
多様な主体と連携した文化芸術活動の促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	文化芸術を通した多様な交流の推進 【企画政策課、社会教育課、アキシマエンシス管理課、市民会館・公民館、各課】	行政・企業・芸術家の協力により設置した「昭島・昭和の森　武藤順九彫刻園」について、引き続き運営支援を行うことにより、文化芸術を中心とした地域の活性化に努めた。 市民文化の啓発や、芸術祭の開催などを実施している昭島市文化協会に対し、補助金を交付した。 地域で暮らす外国の方から母国語を学んだり、ゲームで交流したりなど多文化共生を体験する事業として「HELLO!国際交流!伝えよう・体験しよう・話し合おう」を実施した。日本文化の体験や海外のコミュニケーションも学び交流を図った。
2	文化芸術活動団体への支援 【企画政策課、市民会館・公民館】	昭和の森芸術文化振興会との共催で芸術家の卵展を開催した。（来場者数等は参考資料のとおり）なお、芸術家公募展については、未実施であった。 文化芸術活動を行っている公民館登録団体に対し、公民館使用料（会議室及び付属設備）を免除することによって団体がより積極的に活動できるよう支援した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	彫刻園や芸術家の卵展を通して企業や芸術家等との連携した文化芸術活動の促進という成果を得ることができた。 文化芸術活動団体に対して会議室や付属設備を免除することによって、利用者からは一定の評価をいただいている。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

市内で暮らす外国の方に向けて講座を周知するためには広報や公民館だよりだけでなく、就労先やサロンなどを訪問してチラシを持参し直接呼びかけを行ったり、チラシの裏面に5か国の言語を掲載しPRしたことで、参加者は増加した。外国の方の参加をさらに促進するため、引き続き運営方法などで工夫や検討を行う必要がある。

今後の取組の方向性

（ア）多様な交流の推進について
引き続き彫刻園の運営支援や芸術家の卵展の共催を行い、より多くの人に芸術作品を身近に鑑賞できる機会の充実を図るとともに、多様な主体と連携した文化芸術活動の促進に努める。
（イ）多文化交流講座について
今までの講座に参加した方が新たに企画委員に加わり、講座の企画や運営に関わってもらった。様々な市民の方が意見を出し合いながら、多様な国の文化に触れ、交流ができる機会として継続する。また実施にあたっては外国の方が集まるサークルなどに伺って直接チラシを配るなどして周知を図る。

（参考資料）

「昭島・昭和の森　武藤順九彫刻園」パンフレット ▶

令和7年度来場者数：5,776人
https://www.june9-showa-no-mori-akishima.jp/

▼HELLO!国際交流！伝えよう・体験しよう・話し合おう

No.	事業名	開催日時	参加者数	場所
1	つながる世界、広がるコミュニケーションの窓	11月15日	22	市立武蔵野会館
2	和服で体験！日本の所作と和の心	11月22日	27	アキシマエンシス校舎棟
3	いろいろな国の言語で伝えてみよう	11月29日	23	市立武蔵野会館
4	多文化共生に向けて話し合おう	12月6日	21	アキシマエンシス校舎棟

▼文化芸術活動団体への支援

事業名	展示数	開催日時	来場者数	場所
芸術家公募展	未実施	ー	ー	ー
芸術家の卵展	小学生90作品 中学生221作品	2月21日～3月1日	8,943	モリタウン

▼「HELLO!国際交流！伝えよう・体験しよう・話し合おう」チラシ

（表）

（裏）

英語 Participation fee : 500 yen	HELLO! International exchange! ～Let's tell, let's experience, let's talk～ ❶11/15 (Sat) 16:00-18:00, Municipal Musashino Kaikan 『A connected world, a window of communication that expands』～Learn the differences between common sense in life～ ❷11/22 (Sat) 16:00-18:00, Akishimaensis School Building 『Experience in kimono! Japanese actions and the heart of harmony』～Wearing Japanese clothes and experiencing Japanese culture～ ❸11/29 (Sat) 16:00-18:00, Municipal Musashino Kaikan 『Let's communicate in the languages of various countries』～China, Korea, Ukraine, Nepal, etc.～ ❹12/6 (Sat) 16:00-18:00, Akishimaensis School Building 『Let's discuss multicultural coexistence』～While playing games～
中国語 参加费：500 日元	你好！国际交流！～传达吧、体验吧、讨论吧～ ❶11/15（周六）16 点～18 点，市立武藏野会馆 『连接的世界，扩大的沟通窗口』～学习生活常识的差异～ ❷11/22（周六）16 点～18 点，秋岛恩西斯校舍楼 『穿着和服体验！日本的所作所为和和之心』～穿着和服体验日本文化～ ❸11/29（周六）16 点～18 点，市立武藏野会馆 『用各国的语言 h 传达一下吧』～中国、韩国、乌克兰、尼泊尔等～ ❹12/6（周六）16 点～18 点，秋岛恩西斯校舍楼 『讨论多元文化共生吧』～～边玩游戏
韓国語 참가비：500 엔	HELLO! 국제 교류! ~전하자· 체험하자· 의논하자~ ❶11/15(토) 16 시~18 시, 시립 무사시노 회관 『연결되는 세계, 펼쳐지는 커뮤니케이션의 창』~생활 상식의 차이를 배운다~ ❷11/22(토) 16 시~18 시, 아키시마엔시스 교사동 『기모노로 체험! 일본의 소행과 화의 마음』~기모노를 입고 일본 문화를 체험하다~ ❸11/29(토) 16 시~18 시, 시립 무사시노 회관 『여러 나라의 언어로 전해 보자』~중국· 한국· 우크라이나· 네팔 등~ ❹ 12/6(토) 16 시~18 시, 아키시마엔시스 교사동 『다문화 공생에 대해 의논하자』~게임을 하면서 국제 교류~
ウクライナ語 Плата за участь : 500 ієн	ПРИВІТ! Міжнародний обмін! ～Давайте розповімо, давайте переживемо, давайте поговоримо～ ❶11/15 (Сут) 16:00-18:00, Муніципальний Мусашіно Кайкан 『Пов'язаний світ, вікно спілкування, яке розширюється』～Дізнайтеся про відмінності між здоровим глуздом у житті～ ❷11/22 (Сут) 16:00-18:00, будівля школи Akishimaensis 『Досвід у кімоно! Японські дії та серце гармонії』～Основи японського одягу та досвід японської культури～ ❸11/29 (Сут) 16:00-18:00, Муніципальний Мусашіно Кайкан 『Давайте спілкуватися мовами різних країн』～Китай, Корея, Україна, Непал тощо.～ ❹12/6 (Сут) 16:00-18:00, будівля школи Akishimaensis 『Давайте обговоримо мультикультурне співіснування』～Під час гри～
ベトナム語 Phí tham gia : 500 yên	XIN CHÀO! Trao đổi quốc tế! ~Hãy kể, hãy trải nghiệm, hãy nói~ ❶ 11/15 (That) 16:00-18:00, Thành phố Musashino Kaikan 『 thế giới được kết nối, một cửa sổ giao tiếp mở rộng』~Tìm hiểu sự khác biệt giữa lẽ thường trong cuộc sống ~ ❷11/22 (Thai) 16:00-18:00, Tòa nhà Trường học Akishimaens 『Trải nghiệm trong kimono! Hành động của người Nhật và trái tim của sự hòa hợp』~Mặc quần áo Nhật Bản và trải nghiệm văn hóa Nhật Bản~ ❸11/29 (Thật) 16:00-18:00, Thành phố Musashino Kaikan 『Hãy giao tiếp bằng ngôn ngữ của nhiều quốc gia khác nhau』~Trung Quốc, Hàn Quốc, Ukraine, Nepal, v.v.~ ❹12/6 (That) 16:00-18:00, Tòa nhà trường học Akishimaens 『Hãy thảo luận về sự chung sống đa văn hóa』~Trong khi chơi trò chơi~

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ			自己評価	該当頁
１ 文化芸術活動への支援			C	54,55
２ 文化芸術に接する機会の充実			B	56,57
３ 多様な主体と連携した文化芸術活動の促進			B	58,59
政策指標				
この１年間に、音楽・演劇・美術などを外出して鑑賞したことがある市民の割合 （昭島市 市民意識調査）	令和元年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度目標値
	52.7%	実施なし	46.9%	60.0%
市民文化祭の参加者数	12,625人	11,124人	9,749人	15,000人

外部評価員の評価と意見	外部評価員	倉持 伸江

外部評価員の評価

3	５ … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 ４ … 施策は順調に推進されている。 ３ … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 ２ … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 １ … 施策の推進に全く至っていない。

外部評価員の意見

施策の方向性として「昭島市文化芸術推進基本方針に基づき、観光、まちづくり、国際交流、教育、産業、福祉など幅広い分野との連携」とありますが、連携が進み成果が見える分野と、やや不十分な分野があるようです。国際交流および教育分野においては、「子ども国際交流音楽祭」の開催など、具体的な事業を通じた連携が進み高く評価できますが、観光、まちづくり、産業、福祉などの分野についても、担当部署等と有機的な連携を進め、共同事業の創出を目指して検討してください。

「基本施策１−１ 文化芸術活動への支援」の自己評価Cの理由については、10月からの公民館の全面休館および市民会館の利用制限という改修工事の影響を受けた開催時期や開催形態変更の結果、来場者数が前年を下回ったためということでした。やむを得ない事情とも言えますが、他市でも文化芸術祭への参加団体・参加者が減少傾向であるという話をよく耳にしますので、声かけや周知・PRの工夫に引き続き取り組んでください。

「基本施策１−３ 多様な主体と連携した文化芸術活動の促進」に関連して、昭和の森芸術文化振興会が令和7年9月に休会したことに伴い、第18回目となる予定だった芸術家公募展が未実施だったことは残念です。「HELLO!国際交流!伝えよう・体験しよう・話し合おう」では、チラシを多言語で作成するなど工夫の結果、参加者だけではなく、企画委員にも外国籍の方が参加されたとのことで、努力の成果が表れた事業だと思いました。

基本施策2　文化財の保護・調査・活用

施策の方向性

地域の暮らしの中で守られ継承された文化財は、先人の知と技を伝え、個性あふれる地域文化を育み、昭島の歴史や文化の理解に必要不可欠なものです。また、「ふるさと昭島」づくりにとって重要な資産であるため、次世代に確実に継承していくことが求められます。

そこで、これらの文化遺産を後世に伝え、地域の文化遺産としての活用を図るため、その調査と研究に努め、関連する文化財の総合的な把握と長期的な視野に立った計画的な保護・保存と活用を図ります。

また、埋蔵文化財や古文書、民具等の収集を図り調査・整理・記録・保存に努め、適切な管理とデジタルアーカイブズ化を促進し、学校教育や社会教育などの場においても効果的な活用を図ります。

文化財ボランティアや郷土資料室での展示、デジタルアーカイブズ等を有効に活用し、地域の歴史や文化への理解を促進します。

基本施策2－1	担当課	アキシマエンシス管理課
文化財の保護・保存・調査・研究の推進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	郷土資料室・郷土資料展示室の展示 【アキシマエンシス管理課】	戦後昭島の発展をたどる資料展示や、新市指定文化財「和田哲氏寄贈資料一括」を取り上げた土器等の展示など5つのテーマの企画展を実施した。また、昭島の歴史や文化の理解が深まるICTを活用したコンテンツを上映した。
2	埋蔵文化財の発掘調査 【アキシマエンシス管理課】	埋蔵文化財の散逸を防ぐため、宅地開発等に伴う遺跡範囲の1件の確認(試掘)調査と8件の立会調査を実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	郷土資料室・郷土資料展示室の入場者数が目標値に届いていないものの、企画展の工夫や、ICTを活用したコンテンツの体験等を通じ、昭島の歴史や文化について知識を広げる場を提供することができたため。また、新たに登録文化財制度を創設し、文化財保護や次世代への継承を促進することができたため。

主な課題

郷土資料室・郷土資料展示室入場者数の目標値達成に向けて、企画展の更なる充実に加え、市民向けに広く周知していく必要がある。

今後の取組の方向性

郷土資料室・郷土資料展示室において、様々な分野の魅力ある企画展の充実に努めることで、文化財を身近に親しむことのできる機会を提供する。

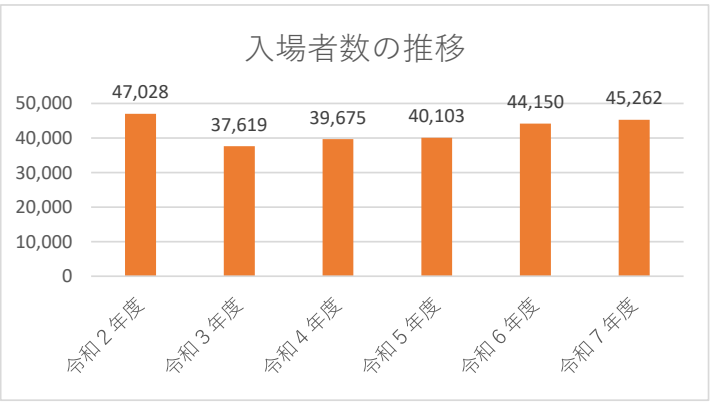
また、埋蔵文化財発掘調査等で出土した遺物や民具、古文書等の収集を図るとともに、整理・記録・保存に務める。更に、新たに創設した登録文化財制度を活用し、貴重な文化財を保存し、次世代に確実に継承していくための方策を進めていく。

（参考資料）

1　郷土資料室・郷土資料展示室の展示

▼郷土資料室・郷土資料展示室入場者数

年度	入場者数
令和2年度	47,028
令和3年度	37,619
令和4年度	39,675
令和5年度	40,103
令和6年度	44,150
令和7年度	45,262
令和8年度目標値	50,000



▼郷土資料室企画展

事業名	展示期間	入場者数
上川原町日枝神社祭礼展示	4月1日～4月27日	2,841
戦後昭島のあゆみ	4月29日～7月27日	11,277
～フィールドのお供～化石・地質調査の道具展	7月29日～10月26日	14,348
新指定有形文化財を紹介!～「和田哲氏寄贈資料一括」を見る～	10月28日～2月1日	8,871
宮沢町諏訪神社祭礼展示	2月3日～3月31日	5,754

▼くじらホールの様子

▼企画展「戦後昭島のあゆみ」

▼～フィールドのお供～化石・地質調査の道具展

▼企画展「新指定有形文化財を紹介!
～『和田哲氏寄贈資料一括』を見る～」

2 埋蔵文化財の発掘調査の様子

基本施策2－2	担当課	アキシマエンシス管理課
文化財の活用と継承の支援		

主な取組【担当課】		取組実績
1	市史・文化財資料図書の発刊・頒布 【アキシマエンシス管理課】	昭島近代史調査報告書の13冊目、「昭島にも空襲があった（戦後80年改訂版）」を刊行した。平成14年度に発行した「昭島にも空襲があった」に、発行後明らかとなった事実や資料などを追加し分かりやすく解説した。
2	デジタルアーカイブズの充実 【アキシマエンシス管理課】	デジタルアーカイブズの新たなコンテンツとして、民具や土器、化石などの郷土資料を分かりやすくまとめたデジタルライブラリのページにCTスキャンで撮影したアキシマクジラの頸椎化石の3D画像を作成し、公開した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	昭島近代史調査報告書の発刊及びデジタルアーカイブズの新コンテンツの公開等を通じて、文化財保護の啓発と地域の歴史や文化への理解の促進に努めることができたため。

主な課題

昭島近代史調査報告書の発刊及びデジタルアーカイブズの新コンテンツ提供を通して昭島の歴史や文化財に親しむ機会を提供することで、文化財保護に対する啓発を広く市民に周知し、継続的に推進していくことが重要である。

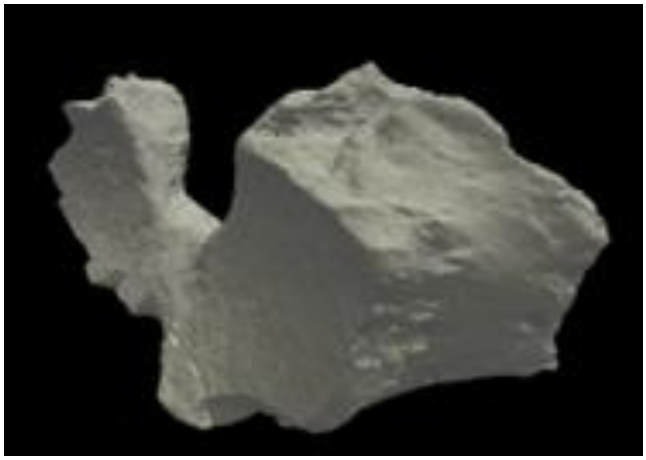
今後の取組の方向性

文化財等への理解促進につながるよう、昭島近代史調査報告書の刊行を実施する。
また、文化財資料のデジタルアーカイブズ化の充実を図ることで、市民共有の財産として保護・保存を図り、次世代に確実に継承していく。

（参考資料）

◀ 1 市史・文化財資料図書の発刊・頒布

昭島近代史調査報告書ＸⅢ 「昭島にも空襲があった（戦後80年改訂版）」
発刊数：700部
頒布数：256部
料金：500円



◀▲ 2 デジタルアーカイブズの充実
「あきしま水と記憶の物語」「アキシマクジラ頸椎化石3D画像」

基本施策2　文化財の保護・調査・活用

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ	自己評価	該当頁
1 文化財の保護・保存・調査・研究の推進	B	61,62
2 文化財の活用と継承の支援	B	63

政策指標

郷土資料室・郷土資料展示室の入場者数	令和2年度（策定時）	令和6年度	令和7年度	令和8年度目標値
	47,028人	44,150人	45,262	50,000人

外部評価員の評価と意見	外部評価員	倉持 伸江

外部評価員の評価

4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 4 … 施策は順調に推進されている。 3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 1 … 施策の推進に全く至っていない。

外部評価員の意見

「基本施策2-1 文化財の保護・保存・調査・研究の推進」について、郷土資料室・郷土資料展示室の入場者数は令和5年度から毎年少しずつ増加しています。アキシマエンシス内の郷土資料室の案内板を分かりやすく目につきやすいように刷新したり、郷土資料展示室に随時職員を滞在させて校舎棟を利用した方等がいつでも入場出来るようにしたりなどの取組も功を奏しているようです。令和8年度目標値の50,000人に向けて、市民へのPRとともに、利用しやすい環境整備、魅力ある展示などに引き続き取り組んでください。
「基本施策2-2 文化財の活用と継承の支援」では、デジタルアーカイブズにアキシマクジラの化石の3D画像といった新たなコンテンツを加えて公開したとのことで、充実がはかられていると思いました。子どもからおとなまでさまざまな学習活動への活用を促すことで、継承を支援してください。

基本施策３　スポーツ･レクリエーションの振興

施策の方向性

スポーツやレクリエーションに親しむことは、体力の向上や精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進につながります。生活が便利になり体を動かす機会が減少した現代社会においては、極めて大きな意義があり特に高齢者においては、外出機会が増えるとともに、仲間づくりなどの一助にもなっています。昨今では、健康志向の高まりにより、生涯にわたりスポーツに親しみ、個々のライフステージに応じたスポーツの楽しみ方が求められ、スポーツ･レクリエーションの種目も多様化しています。
こうした中で、市民が健やかでより豊かな生活を実現するため、「いつでも　どこでも　いつまでも」スポーツ･レクリエーションを親しむ地域スポーツ社会と市民の多様なニーズに応じた活動･普及促進に努め、その環境整備に取り組みます。また、東京2020オリンピック･パラリンピック大会のレガシーとしてスポーツ習慣の定着に取り組みます。

基本施策3－1	担当課	スポーツ振興課
スポーツ･レクリエーション活動の普及･促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	スポーツ推進計画の推進 【スポーツ振興課】	スポーツ推進計画に掲げる数値目標達成に向け、様々なスポーツ･レクリエーション活動を開催した。
2	スポーツ推進委員によるスポーツの推進 【スポーツ振興課】	第144回、第145回市民健康づくり歩け歩け運動、ボッチャ昭島カップ開催に向けたボッチャ体験会、インクルーシブスポーツの体験会としてモルック体験会を開催した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	施設の大規模改修工事により開催回数が減少したことにより、参加人数の減少がみられるが、概ね施策の効果が得られていると評価できるため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

インクルーシブスポーツの参加人数が昨年度より増加しており、継続して事業を実施する。昨年同様屋外での事業については天候等の影響を受け実施回数が減少しているがこちらについても継続実施する。

今後の取組の方向性

屋外のイベントは天候の影響を受け実施が出来なくなることもあるが、今後についてもスポーツ推進委員等と協力をしながら、スポーツ推進計画に掲げる数値目標達成に向け事業を展開していく。障害の有無に関わらず誰でも参加することのできるボッチャやモルックなどインクルーシブスポーツの更なる普及に向け事業を展開していく。

（参考資料）

▼主な取組1、2 参加人数等

事業名	開催数	参加人数	チーム数
スポーツ教室	43教室	10,056人	－
市民健康づくり歩け歩け運動	2回	88人	－
ボッチャ体験会	7回	174人	－
ボッチャ昭島カップ	1回	72人	21チーム
モルック体験会	3回	69人	－

▼ボッチャ昭島カップの様子

基本施策3－2	担当課	スポーツ振興課
スポーツ・レクリエーション環境の整備		

主な取組【担当課】		取組実績
1	運動施設の整備 【スポーツ振興課】	総合スポーツセンターについてはA棟外壁等改修工事、空調機設置工事（A棟剣道場及び柔道場、B棟第一、第二体育室）を実施、また照明機器のLED化やキャッシュレス決裁の導入を進め利用者の利便性向上に寄与し、スポーツ・レクリエーション環境の整備に務めた。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	要望の多かった総合スポーツセンター体育室等への空調機器設置を実施できた。

主な課題

施設の老朽化が進行しているが、老朽化以外にも夏季期間における熱中症対策として屋外運動施設の利用時間の延長なども検討していく必要がある。

今後の取組の方向性

公共施設等総合管理計画に基づき、施設の長寿命化に向けた事業を実施していくとともに、計画に掲載されていない運動施設の整備等についても検討していく。

（参考資料）

▼令和8年度実施予定の主な施設整備等事業

施設名	整備内容
総合スポーツセンター	ロビー等空調機器改修工事
総合スポーツセンター	温水プール塗装修繕
陸上競技場	改修工事設計委託

▼総合スポーツセンター空調機器設置工事

基本施策3－3	担当課	スポーツ振興課
人材の育成・地域交流の促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	市民体育大会の実施 【スポーツ振興課】	第72回昭島市民スポーツ大会を実施。
2	新春駅伝競走大会の実施 【スポーツ振興課】	もくせいの杜周回コースにて、第71回新春駅伝競走大会を開催。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	新春駅伝競走大会においては市内チームの参加が増加し、市民スポーツ大会の種目別大会についても参加者が増加したため。

主な課題

(ア) 市民スポーツ大会
自治会ブロック別大会は開催のための役員の担い手がいない等を原因とし開催を見送るブロックもあった。
(イ) 新春駅伝競走大会
残堀川調節池での実施も定着しつつあると考えられるが、コースの延伸に伴う会場の変更についても検討し参加者増を目指す。

今後の取組の方向性

(ア) 市民スポーツ大会
ブロック別大会については近年、自治会加入率の低下や役員の高齢化によりブロックによっては実施困難な場合があることから開催方法も含めての検討も必要であると考えられる。
(イ) 新春駅伝競走大会
現在のコースではコースの延伸等が難しく、周辺商業施設も賑わっていることから時間延長も困難であるが、新規のチームが参加をしたくなるような取組等についても検討する。

（参考資料）

▼第72回昭島市民スポーツ大会【種目別大会】競技種目、参加人数

種目名	参加人数	種目名	参加人数
陸上競技大会（雨天中止）	0	ソフトボール大会	213
軟式野球大会	1,173	テニス大会	110
卓球大会	246	インディアカ大会	86
ソフトテニス大会	145	ダンススポーツの集い	72
弓道大会	56	ビーチボール大会	112
バレーボール大会	150	ゴルフ大会	267
バスケットボール大会	308	グラウンド・ゴルフ大会	53
剣道大会	172	ターゲット・バードゴルフ大会	24
空手道大会	77	武術太極拳大会	98
クレー射撃大会	11	水泳大会（プール工事のため中止）	0
バドミントン大会	330	YOSOAKOI大会	108
サッカー大会	1,426	フットベースボール大会	365
		計	5,602

▼第72回昭島市民スポーツ大会【ブロック別大会】競技種目、参加人数

ブロック名	会場	参加人数	ブロック名	会場	参加人数
1	共成小学校	550	10	拝島第一小学校	430
2	共成小学校	280	11	中止	285
3	東小学校	200	12・13・18	拝島第二小学校	300
4・21	富士見丘小学校	289	14	開催なし	－
5・6	中神小学校	133	15	武蔵野小学校	158
7	成隣小学校	111	16	田中小学校	97
8・9	光華小学校	490	17・19・20	つつじが丘小学校	600
			計		3,923

▼第71回新春駅伝競走大会　部門、参加チーム数、参加人数

部門名	参加チーム数	（内オープン参加数）
地域の部	99	7
地域女子の部	9	1
壮年の部	10	1
一般の部	29	2
中学生男子の部	20	1
中学生女子の部	23	4

▼第71回新春駅伝競走大会の様子

基本施策3　スポーツ･レクリエーションの振興

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ	自己評価	該当頁
1 スポーツ･レクリエーション活動の普及･促進	B	65
2 スポーツ･レクリエーション環境の整備	B	66
3 人材の育成･地域交流の促進	B	67,68

政策指標

	令和3年度（策定時）	令和5年度	令和7年度	令和8年度目標値
週1回以上スポーツ･レクリエーションを行っている市民の割合　（スポーツ推進計画 アンケート調査）	53.2%	55.0%	未実施	60.0%

外部評価員の評価と意見	外部評価員	倉持 伸江

外部評価員の評価

4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 4 … 施策は順調に推進されている。 3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 1 … 施策の推進に全く至っていない。

外部評価員の意見

「基本施策3-1 スポーツ･レクリエーション活動の普及･促進」では、高齢者向けの筋トレから、主に女性向けのヨガやピラティス、子ども向けのクライミング教室など、多種多様な競技や対象のスポーツ教室が実施されており、幅広い市民ニーズに応えようとしたものと言えます。地域住民全体の体力の向上や健康の維持を底上げするためには、リピーターだけではなく新規参加者を増やすことも意識して事業を展開してください。

「基本施策3-3 人材の育成･地域交流の促進」では、市民スポーツ大会ブロック別大会について、今年度も昨年度同様に、自治会加入率の低下や役員の高齢化によりブロックによっては実施困難な場合が生じているという課題が示されていました。天候に影響を受けずに実施できるよう開催場所を室内としたり、運動会ではなくインドアペタンク大会に変更したりするなど、準備等の負担を軽減して開催するブロックがあるとのことですが、担当課としても負担軽減の事例を紹介したり、相談にのったりするなど、積極的な支援が期待されます。

基本施策4　図書館活動の充実

施策の方向性

昭島市民図書館基本方針・基本計画に基づき、学び成長を応援し、仕事や暮らしに役立つ、また、誰にでも利用しやすい図書館を目指し、地域や学校との連携を図りながら、図書館サービスの充実に努めます。
また、令和7（2025）年度に開設予定の（仮称）市民総合交流拠点施設内に図書館分館を設置し、東部地区における図書館機能の充実を図ります。

基本施策4－1	担当課	アキシマエンシス管理課

多様な情報・資料の提供

主な取組【担当課】		取組実績
1	蔵書の充実 【アキシマエンシス管理課】	・市民の身近な課題解決を支援したり、ブックスタートに適した図書を中心に蔵書の充実に努めた。 ・利用者のリクエストや社会ニーズを考慮した資料の整備に努めた。
2	電子書籍の充実 【アキシマエンシス管理課】	・電子書籍所蔵数　15,954点 ・利用者数　4,894人 ・貸出数　8,372点

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	電子書籍の蔵書数や利用者数に課題があるものの、指定管理者からの提案を踏まえ、施策の方向性に沿った資料の収集を行うことができたため。

主な課題

アキシマエンシス開館以来、登録者も順調に増え、市民の登録率も都内の上位となっている中で、様々な情報要求に応え、課題解決に資することができるレファレンススキルのさらなる向上及び電子書籍も含めた蔵書の充実を課題と捉えている。

今後の取組の方向性

市民の様々な情報要求及び様々な言語に対応できるよう、電子書籍を含めた図書館資料の充実に努める。

（参考資料）

▼主な取組1　蔵書冊数

令和6年度	令和7年度			
蔵書冊数	購入冊数	寄贈冊数	除籍冊数	蔵書冊数
452,626	26,282	583	10,021	469,470

▼主な取組1　リクエストサービス

リクエスト件数	対応内容（件）		
	自館所蔵	購入	借用
161,083	153,613	1,821	5,649

▼主な取組1　レファレンス受付件数

受付件数	内訳				
	窓口受付	電話照会	文書照会	ホームページ	簡易
11,587	103	3	0	9	11,472

▲書架の様子①

▲書架の様子②

▼昭島市民図書館電子書籍サービス
https://web.d-library.jp/akishima/g0101/top/

基本施策4－2	担当課	アキシマエンシス管理課
図書館利用の促進		

主な取組【担当課】		取組実績
1	子ども読書活動推進計画の推進 【アキシマエンシス管理課】	・公益財団法人図書館振興財団主催「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域予選にあたる「図書館を使った調べる学習コンクール in アキシマ」を引き続き開催し、夏休み期間に子ども向け調べもの相談コーナーを開設する等参加を促す取組を実施した。 ・小学校1年生を対象に、市立小学校と連携し希望者に貸出券と貸出中の資料を印字できる「読書の記録」を交付・配布した。 ・「読書の記録」を市内在住・在学の中学生以下の利用者に配布した。 ・おはなし会やものがたりライブ等読書習慣の定着を促す事業を実施した。 ・子ども家庭支援係の依頼で育児講座の講師として、読み聞かせや絵本の紹介等を実施した。
2	学校図書館との連携 【アキシマエンシス管理課】	・市立小中学校の児童・生徒に配布されたタブレット端末から、電子書籍サービス、蔵書検索、予約システムにアクセスできる機能を引き続き設定した。 ・小学校へ職員を派遣し、ブックトークを実施した。 ・小学校及び中学校の司書教諭等を対象とした司書教諭等研修会を実施した。 ・児童・生徒による図書館見学　989 人
3	中学高校生の読書フォーラム 【アキシマエンシス管理課】	・アキシマエンシス体育館において、第1部　中学生によるビブリオバトル、第2部　実行委員によるプレゼンテーション、第3部　記念講演（講師：小幡公春氏）を実施した。 ・会場で市内の中学生が作成したPOP（宣伝と内容紹介が目的の札）を展示した。 ・市内の高校生で構成する実行委員会を立ち上げて実施した。 ・参加人数　70人

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	図書館利用のきっかけとなるよう様々な取組を企画、実施できたため。

主な課題

（ア）子ども読書活動推進計画の推進について
目標達成に向け、効果的な事業を実施する必要がある。
（イ）学校図書館との連携について
司書教諭等研修、ブックトーク等の学校訪問、団体貸出等の学校図書館支援を充実させる必要がある。

今後の取組の方向性

（ア）子ども読書活動推進計画の推進について
次期子ども読書活動推進計画を策定し、計画に基づき様々な事業に取り組むとともに、調べる学習コンクールへの積極的な参加を促す取組を実施していく。
（イ）学校図書館との連携について
司書教諭等研修、ブックトーク等の学校訪問、団体貸出等の学校図書館支援を実施していく。
（ウ）中学高校生の読書フォーラムについて
実行委員会と連携し、引き続き実施していく。

（参考資料）

▼図書館を使った調べる学習コンクールinアキシマの結果発表

小・中学校から456作品の応募があり、審査の結果、次の方が入賞しました。<敬称略>

◇市長賞

「大すきほうれんそう 小学生もびっくり!ベスト8」 石川 実弥（※佳作入選）

「昭島の水×そめ物」 木内 一道（※佳作入選）

「選挙と政策」 来原 恭悟（※奨励賞入選）

「Plastic World ～地球をおびやかすプラスチックの正体～」 坂口 奏実（※佳作入選）

◇教育長賞

徳吉 雛美（※佳作入選）

吉本 優芽（※佳作入選）

石川 愛結（※佳作入選）

◇図書館長賞

福井 愛夏

國廣 結彩

有川 綾音

◇優秀賞

吉本 芽依　本村 花帆　西岡 菜瑚

小島 希美　大村 柊介　水野 紗歌

野本美津希　河野 千春　長谷川志帆

前島 柚希

※印は全国コンクールに推薦され入選された方々です。

昭島市民図書館ホームページ（結果発表ページ） https://www.library.akishima.tokyo.jp/event/?id=750

▼読書の記録

▼中学高校生の読書フォーラム（左：ビブリオバトルの様子 右：小幡公春氏による記念講演）

基本施策4－3	担当課	アキシマエンシス管理課
図書館を拠点とした活動の支援		

主な取組【担当課】		取組実績
1	図書館ボランティアとの協働 【アキシマエンシス管理課】	・音訳者講習会を実施した。 ・読み聞かせ等の活動を引き続き協働して実施した。
2	地域資料の保存 【アキシマエンシス管理課】	地域への関心を高め、地域の良さを知ることを通して「ふるさと昭島」への愛着を育むことができるよう、地域資料の収集・保存に努めた。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	図書館ボランティアの活躍の場の広がりに課題があるものの、音訳者講習会やおはなし会ボランティアスキルアップ講座を実施できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

図書館ボランティアの活動が、従前の排架や読み聞かせにとどまっていることから、今後は、書架案内や読書相談及びイベントへの参画などの新たな活動の場を広げることを課題と捉えている。

今後の取組の方向性

(ア) 図書館ボランティアとの協働について
・広くボランティアを募り、ボランティア講習会等を実施しスキルアップを図る。
・図書館ボランティアと協働し、利用者教育を推進する。
(イ) 地域資料の保存について
郷土の歴史・民俗や行政に関するもの等多様な資料を収集し、適切に保存及び提供する。

(参考資料)

▼主な取組1 図書館ボランティア活動実績

排架		読み聞かせ	
登録数	実施延人数	登録数	実施延人数
12	197	26	190

▼主な取組2 地域資料の所蔵点数

令和6年度	令和7年度		
所蔵数	受入数	除籍数	所蔵数
56,559	529	6	57,082

▼読み聞かせボランティアの活動の様子

▼地域資料コーナー

基本施策4ー4	担当課	アキシマエンシス管理課
誰一人取り残さない環境の整備		

主な取組【担当課】		取組実績
1	多言語・多文化資料の充実 【アキシマエンシス管理課】	・多言語・多文化資料の充実を図るため、英語、中国語、韓国語、ネパール語、ベトナム語、フランス語で記された図書等を購入した。
2	東部地区における分館の設置 【アキシマエンシス管理課】	令和7年12月にイーステラス・サブスリー内に東部分館が開館した。 入館者数　　11,291人 個人貸出冊数　19,132冊 個人貸出者数　　5,958人
3	移動図書館の実施 【アキシマエンシス管理課】	・サービスステーション13か所及び東中神駅南口駅前ロータリーステーション（夜間）において、延べ287回実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	東部分館の開館に伴い、要望が多くあった東部地域の図書館機能の設置が実現した。また、様々な状況でサービスを利用できるよう環境整備を進めるための取組を実施できたため。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

現在、移動図書館の実施においては主に「もくせい2号」を使用している。車体の老朽化が進んでおりイベント開催時等の使用が主となっている「もくせい1号」を活用できる方法を検討する必要がある。

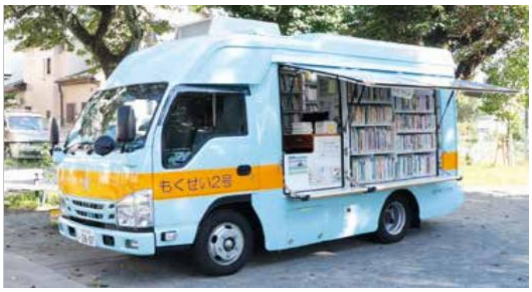
今後の取組の方向性

新たに開館した東部分館は、イーストテラス・サブスリーとも連携した事業を行い、図書館利用を促す。
移動図書館の運行により、図書館に来館することが困難な方にもサービスを提供し、利便性の向上を図る。

（参考資料）

▲イーストテラス・サブスリー内の東部分館

▲多文化コーナーの様子



▲もくせい2号

基本施策4　図書館活動の充実

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ	自己評価	該当頁
1 多様な情報・資料の提供	B	70,71
2 図書館利用の促進	B	72,73
3 図書館を拠点とした活動の支援	B	74
4 誰一人取り残さない環境の整備	B	75

政策指標

	令和2年度（策定時）	令和6年度	令和7年度	令和8年度目標値
市民一人あたりの貸出冊数（年間）	5.6冊	6.2冊	6.1冊	8.0冊

外部評価員の評価と意見	外部評価員	倉持 伸江

外部評価員の評価

4	5 … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 4 … 施策は順調に推進されている。 3 … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 2 … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 1 … 施策の推進に全く至っていない。

外部評価員の意見

「基本施策4-1　多様な情報・資料の提供」について、アキシマエンシス開館以降、図書館登録者数が順調に増え都内上位とのことで、市民が利用しやすい環境は整いつつあります。市民の多様なニーズに応えるためには課題にあげられているように職員のレファレンススキルが不可欠です。研修への参加やレファレンス記録の作成など、現在の取り組みを継続し、向上に努めてください。
「基本施策4-2　図書館利用の促進」について、子どもの図書館利用・読書活動の促進は、子ども読書活動推進計画における目標達成に向けて様々な事業が実施されています。学校図書館との連携について、司書教諭等研修、ブックトーク等の学校訪問について、充実した内容が展開されています。令和7年度の学校訪問は1校のようですが、他の学校にも拡充することでさらなる充実を期待します。
「基本施策4-3　図書館を拠点とした活動の支援」について、おはなし会では、図書館の読み聞かせボランティアと図書館職員で協力し、ボランティアと職員で選書を行うなど連携して取り組まれています。スキルアップ講座の実施とともに、ボランティア同士やボランティアと職員が交流しあって自主的に学びあい、やりがいをもって活動を展開していけるような協働体制を構築してください。

基本施策5　生涯を通じた学習活動の推進

施策の方向性

様々な対象や課題の講座を多様な方法で開催し、「だれもが、いつでも、どこでも」自由に学ぶことができる環境を整えるとともに、公共施設の多目的な活用を進め、多様な学習活動を支援します。
市民に分かりやすい生涯学習情報の提供に努めるとともに、生涯学習サポーターの養成などを促進し、地域で活動する人や団体とのつながりを広げ、市民それぞれのニーズに応じた生涯学習活動への参加を支援します。
また、学習の成果を個人の生活や地域の活動等に生かすことで、学びの意欲が向上されるよう、市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習を推進します。

基本施策5－1	担当課	市民会館・公民館、社会教育課
学習機会の提供		

主な取組【担当課】		取組実績
1	公民館事業の充実 【市民会館・公民館】	子育てセミナー、教育文化セミナー、男女共同参画セミナー、社会文化セミナー、歴史文化セミナー、シニア講座、自主市民講座、地域課題講座、趣味教養講座、夏休みわくわく体験教室等を実施した。
2	パソコン教室等の開催 【社会教育課、 市民会館・公民館】	デジタルデバイド対策として、中高年のためのパソコン教室や、60歳以上の初心者を対象にしたスマホ講座等を複数回、市内全域で開催した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	小学生や親子などの他、シニア世代を対象にした講座や、ニーズを適切に捉えたうえで、デジタルデバイド対策等様々な課題の講座を実施することができた。

主な課題

(ア) 公民館事業の充実について
公民館事業では幅広い年齢層を対象に講座の参加者を想定しているが、高齢者世代の参加が多く、働き盛り世代や若年層世代の参加者が少ない。
(イ) パソコン教室等の開催について
パソコン教室等の開催にあたり、参加者個々のレベルに応じた取組みが課題となっている。

今後の取組の方向性

(ア) 公民館事業の充実について
市民ニーズを的確に判断するための情報収集を行うことと、平日の来館が難しい世代や若年層も参加ができるようにICTを活用した講座や、子育て中の保護者向けに保育室を活用する事業を行い、利用者層の増加を図る。
(イ) パソコン教室等の開催について
パソコン教室等では、参加者の要望やデジタルデバイド解消を踏まえた内容を検討し、参加者に満足していただける教室にしていく。

(参考資料)

【パソコン教室等の開催　参加者数】

事業名	内容	回数	人数
中高年のためのパソコン教室(全3回)	エクセルの基本操作	1	15
ゼロから始めるスマホ教室(全2回)	基本操作、カメラ、LINEの使い方	7	53

【公民館事業の充実】

種別	事 業			時 期	回数	人数	会場
障害のある青年の交流講座				年間	21	31	公民館ほか
市民講座	家庭教育セミナー		子育てセミナー 「親子でEnjoy!英語でレクリエーション♪」(全8回)	4/5~6/14	8	26	公民館ほか
			教育文化セミナー 「発酵プロフェッショナルの管理栄養士から学ぶ発酵食品の効果と腸活」(全4回)	1/29~2/26	4	13	武蔵野会館
	男女共同参画セミナー		~夏休み前のパパに贈る~子どもの「非認知能力」を伸ばすためのセミナー(全2回)	7/5・12	2	28	公民館
	社会文化セミナー		初めてのボイストレーニング~声を出して心身を健康にしよう!~第2弾(全4回)	6/15~7/27	4	20	公民館
	歴史文化セミナー		日本の城 入門講座(全4回)	8/6~9/17	4	45	公民館
	シニア講座		60代からのお金との上手なつき合い方~安心して暮らすための知識と備え~(全4回)	10/8~11/5	4	19	昭和会館
	デジタルデバイド対策講座		スマホで簡単!オリジナルチラシを作ってみよう(全4回)	10/24~11/14	4	9	アキシマエンシス校舎棟
	子ども対象事業	夏休みわくわく体験教室	バードカービング ミニカワセミを作ろう	7/27	1	12	公民館
			プログラミングでオリジナルの楽器アプリを作ってみよう!(全2回)	7/30・8/6	2	5	公民館
			ストームグラスを知って学ぼう	8/2	1	26	公民館
			一年中家族で楽しめる★ライティング✨立体フレームを創ろう!	8/2	1	15	公民館
			ワインコルクでオーナメントを作ってみよう!	8/17	1	22	公民館
		コズミックカレッジ宇宙教室		8/1	1	30	公民館
		冬休み親子工作教室「スピーカー作り」		12/20	1	19	アキシマエンシス校舎棟
		春休み親子教室「ピニャータ(メキシコのくす玉)を作ろう!」		3/15	1	15	アキシマエンシス校舎棟
市民大学	第12期市民大学 ・1年次課程(全21回)			4/19~3/14	21	34	公民館ほか
	第11期市民大学3年次・公開講座		神社と祭り~どんな気持ちで暮らしていきますか?~(全4回)	9/6~10/25	4	34	公民館ほか
			じっくり学ぶ地球温暖化(全5回)	1/31~2/28	5	39	アキシマエンシス校舎棟ほか
	市民大学フォーラム講演会		多摩地域と少年飛行兵31人の証言	8/24	1	78	公民館
地域公民館事業	夏休み親子映画会		FLY!/フライ!	8/8	1	108	公民館
	地域課題講座		HELLO!国際交流!伝えよう・体験しよう・話し合おう(全4回)	11/15~12/6	4	30	武蔵野会館ほか
	趣味教養講座		文章の書き方講座~小説や自分史をつくってみよう~(全2回)	11/15・29	2	32	昭和会館
	時局講演会		父さん子育て奮闘記~父子家庭と共に歩んだ人生の集大成~	1/25	1	17	市役所市民ホール
自主企画事業	自主市民講座		日本の美術史における~日本画・洋画~(全5回)	5/21~6/18	5	37	公民館ほか
			骨盤のゆがみをリセット!骨盤トレーニング実践講座(全8回)	10/16~12/4	8	27	総合スポーツセンター
	講師派遣事業		「戦国合戦の習俗・なぜ戦うのか」と「滝山城開かずの空間」	11/8	1	51	昭和会館
利用者懇談事業	共催事業		公民館まつり・シニアグループ合同発表会	5/10・11	2	21団体	公民館
			公民館まつり学習会「公民館まんなか構想」~ドイツと北欧の生涯学習事情~	5/11	1	71	公民館
	保育室運営		保育者連絡会(全10回)	4/3~3/12	10	9	公民館ほか
			保育者研修会	1/16	1	4	アキシマエンシス校舎棟
	各室運営		公民館利用者全体懇談会	3/14	1	53団体	アキシマエンシス校舎棟

基本施策5－2	担当課	社会教育課、市民会館・公民館
学習活動の支援		

主な取組【担当課】		取組実績
1	生涯学習の機会の提供及び支援 【社会教育課】	市や社会福祉協議会、観光まちづくり協会が実施する講座や教室、相談窓口の情報をまとめた「あきしま学びガイド」を発行し、市内公共施設等での配布やホームページでの公開を実施した。
2	社会教育関係団体の育成 【社会教育課】	社会教育委員と行政が市民の声を聴き、社会教育活動を行うものが互いに情報を共有し繋がりを作る場として、市内のいろいろな活動をする人が取り組みを発表し、振り返り、昭島全体をよくしていくためにどうすればいいか、何が必要かを話し合うことを目的に、あきしま会議を開催した。42人が参加し、その内14人が日頃の活動を発表した。
3	市立会館管理運営事業 【社会教育課】	市民の活動拠点や地域の情報交換の場として市民が快適に利用できるよう、令和9年度の工事実施に向けて、昭和会館除湿温度保持機能復旧等工事設計委託や堀向会館大規模改修工事設計委託を実施した。11会館の令和7年度の利用者は31,150団体、287,465人であった。
4	障害のある青年の交流講座の実施 【市民会館・公民館】	障害のある青年達が集団活動を展開するなかで交流を深め、たくましく生きていく力を身に付けることを目的に、開講のつどいやバス遠足、よさこいソーラン、健康体操、歌や料理、クリスマスのつどいなど年間を通して21回実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている B… 施策の方向性通りの成果を得られた C…一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある E… 施策の成果を全く得られなかった	ソフト、ハード面で生涯学習活動の機会及び情報の提供を行い、市民相互と地域のつながりを育てる生涯学習の推進が図られた。 障害のある青年の交流講座では、くじら祭のパレードでよさこいソーランを披露した。また遠足やバードウオッチングなど館外の活動も実施した。

主な課題

(ア) 生涯学習の機会の提供について
市民団体の活動内容、会員募集などの情報発信について検討が必要である。また、老朽化した施設の改修や備品等の入替が必要である。
(イ) 障害のある青年の交流講座について
障害のある青年の交流講座では職員と数人のボランティアで事業を行っている。令和7年度はバス遠足や電車でのバードウオッチング等の活動を実施することができ、事業の充実が図られたが、参加者に対しボランティアの人数が少なく、安全に活動をするうえでボランティアの存在は大きく、継続して増員を図る必要がある。

今後の取組の方向性

(ア) 生涯学習の機会の提供について
「だれもが、いつでも、どこでも」自由に学ぶことができる環境を整備し、快適に利用できる施設の維持・管理に努める。また、市民のニーズを捉えた情報提供について研究を行う。
(イ) 障害のある青年の交流講座の実施について
障害のある青年の交流講座においては、ホームページや公民館だより、SNSを活用して引き続きボランティアを募り、また大学等の教育機関と連携してボランティアの増員を図る。

＊あきしま学びガイド・・・昭島市等の事業として行われる講座や教室などの情報を掲載した生涯学習情報誌
昭島市HP>文化・スポーツ>生涯学習>あきしま学びガイド
https://www.city.akishima.lg.jp/s122/040/020/080/010/20140912131648.html

（参考資料）
「あきしま学びガイド」▶

令和７年度版

あきしま学びガイド

令和７年４月１日現在の情報で、市民の方が参加できる情報を簡単に掲載しています。
事業によっては、費用負担があります。
詳しくは、各担当へお問い合わせいただくか、「広報あきしま」をご覧ください。
問い合わせ先に電話番号の記載のないものは、昭島市役所　電話　042-544-5111　（担当・係へ）

目次	掲載内容	ページ
子どものための講座・教室、交流事業	各種講座・教室（ｽﾎﾟｰﾂを除く）、公民館・市民図書館・児童センター『ぱれっと』の事業、学習の発表会など	2
おとなのための講座・教室	各種講座・教室（ｽﾎﾟｰﾂを除く）、公民館・市民図書館の事業など	7
乳幼児、子どもの健康・出産・育児	はじめて赤ちゃんのための育児講座、フレッシュママ・パパ学級、親子のための関わり方講座、歯の保健衛生講演会など	12
健康・介護・保健衛生	各種講座・教室、介護に関する交流会など	13
地域活動、防災・減災、交通安全	防災訓練、耐震セミナー、市民のニーズを活かす・つなげる　あきしま会議など	15
ボランティア・福祉	各種講座・講習・イベント、手話通訳者派遣など	16
環境、農業、リサイクル	環境学習講座、犬のしつけ方教室、森林教室、ごみ減量啓発講座、農ウォーク、フリーマーケットなど	17
スポーツ・レクリエーション	子ども向け・おとな向け講座・教室、スポーツ大会・イベント、野外活動支援など	18
各種相談	法律、教育、子育て、健康など、様々な相談窓口一覧	22
展示	昭島市内芸術家展、産業生産品展示ケース、拝島駅自由通路での展示、アキシマクジラ化石等の常設展示、岩泉町フェア、郷土資料室、郷土資料展示室など	24
昭島生涯学習サポーターの会　まなぶン		25
子どもたちの学習支援＆居場所づくり		26
認知症カフェ		27
生涯学習援助協力者　登録・紹介		28
イベントカレンダー	あきしま郷土芸能まつり、市民くじら祭、いきいき健康ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ、産業まつり、青少年ﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙなど	29

【ご注意】施設名を愛称などで表記しています。
- 保健福祉センター　⇒　あいぽっく
- 市民会館　⇒　FOSTERホール

【休館のお知らせ】
市民会館（FOSTERホール）、公民館は、令和７年１０月より休館予定があります。（詳細Ｐ３０）

市公式ホームページでもご覧いただけます

1

▼市民のニーズを活かす･つなげるあきしま会議
（昭島市HP>文化･スポーツ > 生涯学習 > 社会教育委員 > 市民のニーズを活かす･つなげるあきしま会議）
https://www.city.akishima.lg.jp/bunka/shogaigakushu/1004523/1004527.html

▼障害のある青年の交流講座（クリスマスのつどい）

▼障害のある青年の交流講座（開講のつどい）
国営昭和記念公園

基本施策5－3	担当課	社会教育課、市民会館・公民館
学習成果の活用		

主な取組【担当課】		取組実績
1	生涯学習サポーターの養成と活用【社会教育課】	11回目となる生涯学習サポーター養成講座を開催した。また、受講生が結成した「昭島生涯学習サポーターの会まなぶン」との共催で、数楽で脳トレ、音訳入門講座、はじめての染色教室などを開催した。
2	市民大学の実施【市民会館・公民館】	市民としての自治能力を培い、学びの成果を地域で活かせるように、総合的な学びの場として第12期市民大学第1年次課程を実施した。また第11期修了生の企画・運営による公開講座を環境・歴史コースで実施した。

自己評価		評価理由
B	A… 施策の方向性以上の成果がでている	「昭島生涯学習サポーターの会まなぶン」は積極的に事業を企画し、養成講座における学習成果の活用が図られている。 市民大学では、様々な課題を学習することで知識を深め自己実現を図り、地域社会に参加するきっかけとなっており、一定の成果を得られている。
	B… 施策の方向性通りの成果を得られた	
	C… 一部課題があるが、概ね施策の方向性通りの成果を得られた	
	D… 施策の成果を得るのに困難な課題がある	
	E… 施策の成果を全く得られなかった	

主な課題

(ア) 生涯学習サポーターの養成と活用について
生涯学習サポーター養成講座の参加者募集については、広報あきしまのほか、ホームページ、LINE等も活用して参加人数の大幅な増加に至った。今後も継続してこの参加人数を維持していくことが重要である。
(イ) 市民大学の実施について
1年次は基礎的な学習として、生涯学習論や、リスクコミュニケーション、生成AIやフレイル予防など最近の話題から地域の歴史や防災など幅広い分野の学習ができ、第11期修了生による公開講座も実施した。終了後に市民大学フォーラムに加入し学習を継続し、地域活動等につながる参加者が少なく、学びの継続が課題となっている。

今後の取組の方向性

(ア) 生涯学習サポーターの養成と活用について
生涯学習サポーター養成講座の参加者募集については、参加人数の大幅な増加に至ったので、この参加人数を維持できるように周知方法等その要因を研究し、今後も幅広い周知に努める。
(イ) 市民大学の実施について
市民大学各期の卒業生で組織されている市民大学フォーラムでは、市民大学修了生が卒業後もフォーラムに加入し、市民活動や学習を継続して行うためフォーラム会員と市民大学受講生との連携の充実を図っていく。

（参考資料）

生涯学習サポーター養成講座とまなぶン共催事業の参加者数等

事業名	内容	回数	人数	
生涯学習サポーター養成講座（全4回）	市民の声を聞き届けることのできる人材育成と、生涯学習サポーターの活動事例から市民相互をつなげる生涯学習を学ぶ	1	15	
<まなぶン共催事業>				
数楽で脳トレ（全2回）	ニュートン算ほか	2	49	140
数楽で脳トレ（全3回）		2	26	
音訳入門講座（全4回）	音訳を学んでみたい方のための講座	1	9	
小学生リコーダー教室	夏休み～リコーダーをもってあつまれ!リコーダーでパッヘルベルのカノンを吹こう!	1	16	
はじめての染色教室	藍染	2	22	
生花で花育講座	アレンジ用のグッズ等を使用し、個性を表現することを楽しむ	2	18	

▼第12期昭島市民大学(受講生募集チラシ)

第12期 昭島市民大学

受講者募集!

昭島市や社会の課題について知識を深め、仲間と出会い地域社会への参加のきっかけをつかみましょう。

1年次学習過程　＊会場：昭島市公民館他

1	4. 19		開講式 ～オリエンテーション～	昭島市教育長 山下　秀男
2	4. 26	生涯学習	人生100年時代の生涯学習	日本女子大学名誉教授 田中　雅文
3	5. 17	フィールドワーク	多摩川を歩く。～バードウオッチングと植物観察～	NPO 法人自然環境アカデミー専務理事　野村　亮
4	5. 24	一般教養	ファシリテーションを学ぼう	キャリアコンサルタント ふなやま　まい
5	5. 31		もし日本が侵攻されたら～その危機管理とリスクコミュニケーション～	日本大学 危機管理学部教授 福田　充
6	6. 21		人工知能や生成ＡＩとこれからの生活	工学院大学教授 田中　久弥
7	7. 5		デジタルデバイド問題と解決方法	日本メディアリテラシー協会　寺島　絵里花
8	7. 26		健康寿命を延ばすには（フレイル予防）	都立大学准教授 飯塚　哲子
9	9. 6	市制・暮らし	ハザードマップから読み解く昭島の防災	昭島市総務部防災課職員
10	9. 13		昭島の水を知ろう 後半：市民大学フォーラムの紹介	昭島市水道部職員 市民大学フォーラム会員
11	10. 4	歴史	地域を知ろう 「昭島の地理と歴史」	昭島市教育委員会 近代史調査員　三村　拿
12	10. 11		地域を知ろう 「多摩の風土と歴史」	
13	10. 25	福祉	社会福祉の考え方を知る ～歴史的な発展の理解とこれからに向けて～	法政大学教授 宮城　孝
14	11. 22		高齢化の現状と課題	
15	12. 6	歴史	私が出会った史料たち	昭島市教育委員会 近代史調査員　三村　拿
16	12. 20	福祉	災害と地域福祉	法政大学教授 宮城　孝
17	1. 17	交流	地場産拝島ネギで交流	拝島ねぎ保存会会長 井上　茂夫
18	1. 31	環境	地球環境の現状と課題	エコット政策研究センター代表 中岡　拿
19	2. 21		地球環境に考慮したエネルギー政策	
20	2. 28		環境に優しい暮らしを目指して	
21	3. 14	交流	２年次に向けて交流 ～コース選びと懇親会～	職　員

1年次・・・基礎学習(全21回)
令和７年４月～８年３月
2年次・・・コース別専門学習(年間)
令和８年５月～９年３月
「環境」「福祉」「歴史」の３コースに分かれ、助言者と受講生がグループで主体的に学習します。
修了後・・・コース別公開講座の開設、
市民大学フォーラムの学習活動等

▲１年次学習風景

【対　象】40歳以上の市内在住在勤者で
２年間にわたって受講できる方
※再受講可。ただし初めての人を優先。

【定　員】 50名　（多数抽選）
【参加費】 2,000円（各年次）
【申　込】 3月5日（水）～3月26日（水）
までに公民館へ
℡（042）544－1407

＊　詳しい募集要項が裏面にありますので、ご確認ください。

主催／昭島市公民館

自己評価のまとめと外部評価員の評価と意見

教育委員会の自己評価 まとめ	自己評価	該当頁
１ 学習機会の提供	B	78,79
２ 学習活動の支援	B	80,81
３ 学習成果の活用	B	82,83

政策指標

	令和元年度（策定時）	令和6年度	令和7年度	令和8年度目標値
生涯学習講座などの参加者数	2,266人	2,714人	2,938人	2,600人
公民館年間延べ利用者数	119,387人	75,299人	48,636人	130,000人

外部評価員の評価と意見	外部評価員	倉持 伸江

外部評価員の評価

4	５ … 施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。 ４ … 施策は順調に推進されている。 ３ … 一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。 ２ … 施策を推進させるのに困難な課題がある。 １ … 施策の推進に全く至っていない。

外部評価員の意見

「基本施策5-1 学習機会の提供」について、多様な市民のニーズに応える多彩なジャンルの公民館講座が実施されている一方で、高齢者世代の参加が中心になりがちです。昭島市に限った課題ではありませんが、より多くの世代の関心をひきつけ、参加意欲を喚起するような内容・方法・日時の事業展開を期待します。デジタルデバイド対策講座「スマホで簡単！オリジナルチラシを作ってみよう」は、企画時に想定した初心者ではなく、スマホを使いこなしている方々が参加されたとのことですが、新たな参加者層を取り込む可能性のあるユニークな講座だと思いました。パソコンやスマホは身近なツールだからこそ、若い世代がシニアの学習を支援する、あるいは学習した市民が初心者に教えるなど、市民同士で学びあい、学びを継続できるような「学びと活動の循環」のしかけを考えていくことも必要ではないでしょうか。
「基本施策5-2 学習活動の支援」について、「社会教育関係団体登録団体ガイドブック」を多くの市民が目にし、活用できるように、周知方法やレイアウトなど、工夫に取り組んでください。市外からも注目される特徴的な事業である「市民のニーズを活かす・つなげるあきしま会議（通称「あきしま会議」）」は令和7年度までに計10回開催してきたとのことですが、学びを通じた地域の対話の場は重要だと改めて思いました。
「基本施策5-3 学習成果の活用」について、生涯学習サポーターと市民大学は、学びと活動の循環を展開していくうえで核となる事業と思われます。市民との協働が期待される他のさまざまな事業と連動させるなど、事業の拡張や横展開を検討してください。

第４章　点検及び評価に関する外部評価員の評価と意見

【工藤　文三】（学校教育分野）

プロフィール

・浦和大学 こども学部 特任教授 ／ 国立教育政策研究所 名誉所員
　川崎市総合教育センター専門員
　＜主な経歴＞
　東京都立高等学校 教諭 ／国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長／大阪体育大学教育学部 教授・学部長／日本社会科教育学会 会長 ／ 日本カリキュラム学会 理事／昭島市立学校適正規模適正配置等審議会委員

総評

昭島市教育振興基本計画（令和４年度～令和８年度）の学校教育の推進については、学校教育の目標とそれを実現するための基本方針に基づき、４つの基本施策が設定され、それぞれの基本施策はさらに施策の方向性、主な取組として具体化されている。本年度の対象とされた「主な取組」については、いずれも着実に実施され、各施策は順調に進捗していると評価できる。多くの取組が相乗的に働き、児童・生徒の豊かな成長につながっている様子がうかがえる。

各施策に基づく取組には、その成果として児童・生徒の育ちや成長として現れるものもあれば、未然防止や予防、早期対応を目的とする取組もある。いずれにしても、取組の成果がデータとしても示されるものについては、取組の状況と成果及び課題との関係を分析・整理し、その後の改善に向けた取組に具体化していくことを期待したい。

あわせて、社会の変化や学校教育を取り巻く環境の変化に伴って、今後学校教育にどのような施策と取組が求められているのか、これまでの実績も踏まえながら検討していくことを期待したい。

基本施策１　確かな学力の定着　（P.25　再掲載）

評価：４　施策は順調に推進されている。

基本施策１－１　教職員の階層に応じた計画的な研修の実施、各学校における授業改善推進プランの作成と活用、学習規律の徹底、土曜日・放課後補習の実施など、学力の向上・定着を図るための多角的な取組が着実に進められている。今後はこれらの取組の継続・充実を図るとともに、各学校における児童・生徒の学習状況を踏まえた授業改善、家庭との連携による学習習慣の定着などを通して、取組の成果が全国学力・学習状況調査等の結果にも示されていくことを期待したい。

基本施策１－２　各学校における理数教育の取組、地域資源等を活用した授業の推進が図られていることがうかがえる。算数・数学、理科の学習で身に付けた見方・考え方を、実際の生活において生かし、働かせることができるよう一層の授業改善を期待したい。

基本施策１－３　各教科等における学校図書館の活用に加え、「図書館を使った調べる学習コンクール」や「子どもの主張意見文コンクール」への参加・応募も含め、市民図書館や学校図書館の有効活用が進められている。読書活動を通じて、探究する楽しさを味わい、知識・技能を深め、思考力・表現力を豊かなものにしていくことが望まれる。

基本施策１－４　特別支援教育については、教員研修や学習指導の充実、市民向け講演会など多角的な取組が進められている。また、就学援助及び特別支援教育就学奨励についても着実に実施されている。教職員の専門性及び授業力の一層の向上を図り、個に応じた支援の充実につながることを期待したい。

基本施策２　豊かな心の醸成

（P.32　再掲載）

評価：５　施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。

基本施策２－１　人権教育に関わる研修の開催や人権教育の理解促進を図る取組、人権パネル展・人権標語等の取組が、児童・生徒の人権尊重の意義の理解を深め、人権尊重の精神のかん養に寄与していることがうかがえる。自他を尊重する心情や態度の育成、人権感覚の醸成を通して、人権が尊重される場としての学校環境を目指した取組の一層の充実を期待したい。

基本施策２－２　「考え、議論する道徳」への転換に向け、公開授業や道徳教育推進教師を中心とした研修が実施され、指導方法の工夫・改善が進められている。今後は、道徳的価値に関わる問題解決的な学習や体験的な学習、児童・生徒の主体的な学習など、指導方法の工夫・改善が望まれる。

基本施策２－３　移動教室や修学旅行での体験的な活動、生産体験の活動などが実施されている。小・中学校を通じて豊かな体験活動を積み重ねていくことは、児童・生徒の感性を豊かにし、事象への興味・関心を引き出し、社会性や協調性、規範意識の醸成にもつながることが期待される。引き続き、これらの豊かな体験活動が継続されていくことを期待したい。

基本施策２－４　昭島市いじめ防止対策推進基本方針の下、いじめの未然防止、早期発見、早期対応が徹底して行われるよう、必要な体制整備と取組が実施されている。不登校及び不登校傾向にある児童・生徒に対する教育支援や保護者との連携等も進められている。いじめを生まない、いじめを許さない学校づくり、学級づくりに向けた取組の継続を期待したい。

基本施策３　健やかな体の育成

（P.38　再掲載）

評価：５　施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。

基本施策３－１　令和７年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」から、家庭での起床時間について、児童・生徒と保護者の回答にやや違いがみられる。今後は「グッドモーニング 60 分」の取組をさらに生かし、家庭との連携を図りながら望ましい生活習慣の定着に向けた取組を期待したい。また、市の体力調査などの結果を踏まえ、体育等の授業における指導方法の工夫・改善等を進めるとともに、日常的に体を動かすことや運動が好きな児童・生徒を育むことに努めていきたい。なお、スマートフォンやタブレットの長時間の使用は、視力の低下のみならず体を動かす機会の減少につながることについても注意を喚起したい。

基本施策３－２　安全・安心な学校給食の推進に向けた取組をはじめ、学校給食の献立の工夫、家庭と連携した食育の推進、地産地消の推進などが着実に進められている。引き続きそれぞれの取組が、より充実したものとなることを期待したい。

基本施策３－３　学校保健安全の推進については、学校として求められる基礎的な取組と同時に、具体的な課題に対応した取組が実施されている。アレルギー疾患への対応や薬物乱用防止教室、がん教育の取組、セーフティ教室の開催など、関係機関等とも連携しながら着実に取組が進められた。今後も、これらの取組を継続・発展させていくことが期待される。

基本施策４　輝く未来に向かって　（P.54　再掲載）

評価：５　施策は順調に推進され、ねらい以上の成果がでている。

基本施策４－１　学校間連携の取組の基本は、幼児・児童・生徒の相互交流をはじめ、学校種を越えた教員間の幼児・児童・生徒理解、教育内容・方法等の相互理解にあると考える。また、円滑な接続を促すカリキュラムの実施と学習指導の工夫、連携を促す組織体制も重要である。この点において、連携教育に向けた取組が着実に実施されており、引き続き更なる取組の継続と充実を期待したい。

基本施策４－２　体験活動や地域と連携した伝統・文化に関する教育、小学校の音楽会や展覧会、中学校の合唱コンクールなどが実施され、伝統や文化を大切にし、豊かな情操を育む取組がなされている。今後は、これらの活動が児童・生徒の郷土愛や感性のさらなる育成につながるよう、継続的な推進が望まれる。

基本施策４－４　学校の教育力向上については、学校経営に係る目標－計画－実施－評価－改善のサイクルが確立しており、授業力等の向上を目指す教員研修も計画的に実施されている。「学校の働き方改革」への対応や、教育の充実・支援のためのスタッフ等の配置も進められている。地域人材の活用や地域と連携した学校の教育力の向上については、その具体的な方策をさらに深めていくことを期待したい。

基本施策４－６　生活や社会の変化の中で、情報活用能力の一層の充実が求められている。個別最適な学びや探究的な学びにも生かされるＩＣＴの活用の在り方、情報モラル教育の充実など、情報教育を取り巻く状況を踏まえながら、取組の一層の充実を期待したい。

【倉持　伸江】（生涯学習分野）

プロフィール

・東京学芸大学教育学部教育学講座生涯教育学分野　准教授

＜主な経歴＞

目黒区生涯学習推進協議会委員　／　所沢市公民館運営審議会委員

東京都生涯学習審議会委員

総評

生涯学習の推進にかかわる５つの基本施策―「文化芸術活動の推進」「文化財の保護・調査・活用」「スポーツ・レクリエーションの振興」「図書館活動の充実」「生涯を通じた学習活動の推進」―に基づく主な取組について昭島市教育委員会の事務事業に関する点検および評価報告書で確認し、同意見交換会で詳しい説明を受けました。「基本施策１文化芸術活動の促進」における「基本施策１－１　文化芸術活動への支援」のみ自己評価がＣで、残りはすべてＢであり、令和７年度もおおむね順調に事業が実施されていることを確認しました。昭島市らしい事業も充実しており、地域の資源や特徴を生かした取組が行われていると思います。

現在、中央教育審議会生涯学習分科会では、「地域コミュニティの基盤を支える今後の社会教育の在り方について」諮問への答申案をとりまとめていますが、そこでは社会教育人材と社会教育施設・団体等が社会教育の推進を図る基本的な方向性の柱として位置づけられています。どのように生涯学習の講座等に参加した人の意欲や関心を引き出しつつ地域人材として育成するか、どのようにボランティアや協力者、支援者としてかかわる人々をつなぎ、広げ、活動を活性化させるか、といった視点での事業計画や運営、評価が重要になってきます。また、市民文化会館、公民館、図書館、郷土資料室・郷土資料展示室、総合スポーツセンターなどの施設が、地域の学びの拠点としてどのような役割をこれから果たしていく必要があるのか、改めて検討していく必要があります。

基本施策１　文化芸術活動の促進　（P.61　再掲載）

評価：３　一部課題があり工夫が必要だが、施策は概ね順調に推進されている。

施策の方向性として「昭島市文化芸術推進基本方針に基づき、観光、まちづくり、国際交流、教育、産業、福祉など幅広い分野との連携」とありますが、連携が進み成果が見える分野と、やや不十分な分野があるようです。国際交流および教育分野においては、「子ども国際交流音楽祭」の開催など、具体的な事業を通じた連携が進み高く評価できますが、観光、まちづくり、産業、福祉などの分野についても、担当部署等と有機的な連携を進め、共同事業の創出を目指して検討してください。

「基本施策１－１　文化芸術活動への支援」の自己評価Ｃの理由については、10月からの公民館の全面休館および市民会館の利用制限という改修工事の影響を受けた開催時期や開催形態変更の結果、来場者数が前年を下回ったためということでした。やむを得ない事情とも言えますが、他市でも文化芸術祭への参加団体・参加者が減少傾向であるという話をよく耳にしますので、声かけや周知・PRの工夫に引き続き取り組んでください。

「基本施策１－３　多様な主体と連携した文化芸術活動の促進」に関連して、昭和の森芸術文化振興会が令和７年９月に休会したことに伴い、第１８回目となる予定だった芸術家公募展が未実

施だったことは残念です。「HELLO！国際交流！伝えよう・体験しよう・話し合おう」では、チラシを多言語で作成するなど工夫の結果、参加者だけではなく、企画委員にも外国籍の方が参加されたとのことで、努力の成果が表れた事業だと思いました。

基本施策２　文化財の保護・調査・活用

（P.65　再掲載）

評価：４　施策は順調に推進されている。

「基本施策２－１　文化財の保護・保存・調査・研究の推進」について、郷土資料室・郷土資料展示室の入場者数は令和５年度から毎年少しずつ増加しています。アキシマエンシス内の郷土資料室の案内板を分かりやすく目につきやすいように刷新したり、郷土資料展示室に随時職員を滞在させて校舎棟を利用した方等がいつでも入場出来るようにしたりなどの取組も功を奏しているようです。令和８年度目標値の 50,000 人に向けて、市民への PR とともに、利用しやすい環境整備、魅力ある展示などに引き続き取り組んでください。

「基本施策２－２　文化財の活用と継承の支援」では、デジタルアーカイブズにアキシマクジラの化石の３D 画像といった新たなコンテンツを加えて公開したとのことで、充実がはかられていると思いました。子どもからおとなまでさまざまな学習活動への活用を促すことで、継承を支援してください。

基本施策３　スポーツ・レクリエーションの振興

（P.70　再掲載）

評価：４　施策は順調に推進されている。

「基本施策３－１　スポーツ・レクリエーション活動の普及・促進」では、高齢者向けの筋トレから、主に女性向けのヨガやピラティス、子ども向けのクライミング教室など、多種多様な競技や対象のスポーツ教室が実施されており、幅広い市民ニーズに応えようとしたものと言えます。地域住民全体の体力の向上や健康の維持を底上げするためには、リピーターだけではなく新規参加者を増やすことも意識して事業を展開してください。

「基本施策３－３　人材の育成・地域交流の促進」では、市民スポーツ大会ブロック別大会について、今年度も昨年度同様に、自治会加入率の低下や役員の高齢化によりブロックによっては実施困難な場合が生じているという課題が示されていました。天候に影響を受けずに実施できるよう開催場所を室内としたり、運動会ではなくインドアペタンク大会に変更したりするなど、準備等の負担を軽減して開催するブロックがあるとのことですが、担当課としても負担軽減の事例を紹介したり、相談にのったりするなど、積極的な支援が期待されます。

基本施策４　図書館活動の充実

（P.77　再掲載）

評価：４　施策は順調に推進されている。

「基本施策４－１　多様な情報・資料の提供」について、アキシマエンシス開館以降、図書館登録者数が順調に増え都内上位とのことで、市民が利用しやすい環境は整いつつあります。市民の多様なニーズに応えるためには課題にあげられているように職員のレファレンススキルが不可欠です。研修への参加やレファレンス記録の作成など、現在の取り組みを継続し、向上に努めてください。

「基本施策４－２　図書館利用の促進」について、子どもの図書館利用・読書活動の促進は、子ども読書活動推進計画における目標達成に向けて様々な事業が実施されています。学校図書館との連携について、司書教諭等研修、ブックトーク等の学校訪問について、充実した内容が展開されています。令和７年度の学校訪問は１校のようですが、他の学校にも拡充することでさらなる充実を期待します。

「基本施策４－３　図書館を拠点とした活動の支援」について、おはなし会では、図書館の読み聞かせボランティアと図書館職員で協力し、ボランティアと職員で選書を行うなど連携して取り組まれています。スキルアップ講座の実施とともに、ボランティア同士やボランティアと職員が交流しあって自主的に学びあい、やりがいをもって活動を展開していけるような協働体制を構築してください。

基本施策５　生涯を通じた学習活動の推進

（P.84　再掲載）

評価：４　施策は順調に推進されている。

「基本施策５－１　学習機会の提供」について、多様な市民のニーズに応える多彩なジャンルの公民館講座が実施されている一方で、高齢者世代の参加が中心になりがちです。昭島市に限った課題ではありませんが、より多くの世代の関心をひきつけ、参加意欲を喚起するような内容・方法・日時の事業展開を期待します。デジタルデバイド対策講座「スマホで簡単！オリジナルチラシを作ってみよう」は、企画時に想定した初心者ではなく、スマホを使いこなしている方々が参加されたとのことですが、新たな参加者層を取り込む可能性のあるユニークな講座だと思いました。パソコンやスマホは身近なツールだからこそ、若い世代がシニアの学習を支援する、あるいは学習した市民が初心者に教えるなど、市民同士で学びあい、学びを継続できるような「学びと活動の循環」のしかけを考えていくことも必要ではないでしょうか。

「基本施策５－２　学習活動の支援」について、「社会教育関係団体登録団体ガイドブック」を多くの市民が目にし、活用できるように、周知方法やレイアウトなど、工夫に取り組んでください。市外からも注目される特徴的な事業である「市民のニーズを活かす・つなげるあきしま会議（通称「あきしま会議」）」は令和７年度までに計 10 回開催してきたとのことですが、学びを通じた地域の対話の場は重要だと改めて思いました。

「基本施策５－３　学習成果の活用」について、生涯学習サポーターと市民大学は、学びと活動の循環を展開していくうえで核となる事業と思われます。市民との協働が期待される他のさまざまな事業と連動させるなど、事業の拡張や横展開を検討してください。

第５章　資料

参考資料一覧

Ⅰ　昭島市教育関連計画

【参照 URL、公開場所】

① 昭島市ホームページ トップページ >子育て･教育 >教育委員会 >大綱と計画
https://www.city.akishima.lg.jp/kosodate/kyouiku/1004229/index.html

② 昭島市ホームページ トップページ > 市政情報 > 企画･政策 > 分野別計画
>大綱４ 文化芸術、スポーツの振興を図るまち
https://www.city.akishima.lg.jp/shisei/keikaku/1005203/1011390/index.html

計画名	主管課／作成者	公開場所
昭島市教育振興基本計画	教育総務課	①
昭島市特別支援教育推進計画	指導課	①
昭島市子ども読書活動推進計画	アキシマエンシス管理課	①
昭島市スポーツ推進計画	スポーツ振興課	①
昭島市文化芸術推進基本計画	企画政策課	②
昭島市民図書館基本方針・基本計画	アキシマエンシス管理課	①

Ⅱ　参考資料

教育委員会の開催日時・場所、各回の議案・協議事項・報告事項、議事録を市公式ホームページで公開しています。（議事録等は市役所でも閲覧可能です。）

昭島市ホームページ トップページ >子育て･教育 >教育委員会 >教育委員会定例会
https://www.city.akishima.lg.jp/li/020/020/140/020/index.html

資料名	主管課／作成者	参照 URL、公開場所
令和７年度「昭島市立学校の児童・生徒及び保護者アンケート」の調査結果	指導課	令和８年昭島市教育委員会第１回定例会　報告事項２ https://www.city.akishima.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/010/453/0801houkoku2.pdf
令和７年度　昭島市立学校学校経営重点計画（教育推進計画）年度末評価の結果について	指導課 （各学校）	令和８年昭島市教育委員会第５回定例会　報告事項１ https://www.city.akishima.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/011/817/0805houkoku01.pdf

昭島市教育委員会の事務事業に関する点検及び評価報告書（令和７年度分）

発行年月　令和８年８月
発　　行　昭島市教育委員会
編　　集　昭島市教育委員会 学校教育部 教育総務課
〒196-8511
東京都昭島市田中町 1-17-1
電　話 042-544-5111（代表）
ＦＡＸ 042-541-4337